



# MOMO

特別養護老人ホーム モモ  
ショートステイ モモ  
ケアハウス モモ  
デイサービスセンター モモ  
居宅サービスセンター モモ



# PINO

コミュニティホーム ピノ  
ショートステイ ピノ  
コミュニティセンターピノ



# NaNa

フレイグラントオリーブ ナナ  
ケアステーション ナナ

社会福祉法人蒼生会 高齢者福祉施設  
2020年度 事業報告

 Sosaykai



## 目 次

新型コロナウイルス感染症対策 _____	1
これからの課題 _____	7
施設ケアマネジメント（モモ） _____	13
特別養護老人ホームモモ _____	15
ショートステイモモ _____	25
施設ケアマネジメント（ピノ） _____	31
コミュニティホームピノ _____	33
ショートステイピノ _____	41
ケアハウスモモ _____	47
フレイグラントオリーブナナ _____	51
デイサービスセンターモモ _____	55
コミュニティセンターピノ _____	59
栄養と調理 _____	63
居宅サービスセンターモモ _____	73
ケアステーションナナ _____	85
委員会活動 _____	97
パブリックリレーション _____	105



## 新型コロナウイルス感染症対策

2019年度終盤（2020年2月17日の午前中）に、相模原市内で初となる新型コロナウイルス感染症の発症例が確認された。

施設系事業所である特別養護老人ホームモモおよびコミュニティホームピノでは、市内初発症の翌日（2020年2月18日）より、法人ホームページや電話連絡を経て以下対応を周知した。

- ① 面会制限を開始  
居住フロアへの入館制限（1階に入居者をお連れしてのご面会）
- ② 施設見学等での入館をお断り  
居住フロアではない1階（主に通所介護）部分の見学は可
- ③ マスク着用のない方の入館はお断り

在宅系事業所である通所介護（デイサービス）・短期入所（ショートステイ）については、環境消毒や手指清潔保持等を強化しつつ、可能な限り居住階への職員移動を抑えながらそれまで通り運営。

利用者およびその家族には、利用前の体温測定など体調確認に今まで以上の理解・協力をお願いした。

翌月（2020年3月）からは、上記に以下対応を追加。

- ④ 入館者の検温を実施
- ⑤ 約束の無い方の入館は原則お断り

以降も、入館制限等につき法人ホームページで対応変更を発信した。

### 1. 緊急事態宣言下での入館に対する方針

- ① 2020年4月7日～2020年5月25日
- ② 2021年1月8日～2021年3月21日
  - やむを得ぬ事情がある場合を除き面会は原則お断り
  - 事前約束の無い方の入館は不可
  - 入館は電話などで対応困難である用件のみに限定
  - 予約時の用件次第で入館をお断り
  - 入館前には必ず検温  
（37.5度以上の発熱がある方はお引き取り頂く）
  - 入館時には必ず体調チェックシート記入/提出
  - 身近に「新型コロナウイルス感染の可能性があり、診察またはPCR検査を受けている方」が居られる場合には、その結果（陰性）が確認されるまで入館をお断り
  - 入館後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症された場合は保健所の指示に従うとともに、施設への連絡も依頼

## 2. 緊急事態宣言解除後の入館に対する方針

- ① 2020年5月26日～2021年1月7日
  - ・ 全来訪者に対し緊急事態宣言下同様の内容を継続
- ② 2021年3月21日～
  - ・ 以下に留意頂く事を前提に入所者家族の面会制限のみ一部緩和
  - ・ その他の来訪者については緊急事態宣言下同様の内容を継続

### 【留意事項】

- ・ 面会の「事前予約」は継続
  - ※自宅とのオンライン面会も可能
- ・ 一度に入館可能な人数を「原則2人以下」とする
  - ※小さなお子様連れでの来訪（含：別場所待機）は不可
- ・ 入館前には、検温/手指消毒/マスク着用
  - ※37.5度以上の発熱がある方、同症状を有する方が身近に居られる方はこの対応を経ても入館不可
- ・ 面会場所は、入居者自室（その他生活空間）は不可
  - ※1階に別室を用意。入居者との適切な距離を保って面会。
- ・ 換気を優先し面会場所の室温設定などは希望に沿う事ができない場合あり
- ・ 事業所の状況によりやむを得ず面会の直前キャンセルあり

## 3. 日常的な業務における感染症対策

- ① 3密（密閉・密接・密集）回避
  - ※集団でのレク活動などを変更
  - ※カシオペア祭の中止（法人決定）
  - ※児童福祉施設との世代間交流を中止
- ② マスクは常用・咳エチケット等を徹底
  - ※職員個々に「サージカルマスク」の定期支給を開始
- ③ 手洗い・手指の消毒
  - ※職員個々に「携帯用消毒薬（含：携行バッグ）」を配布
- ④ 毎日の健康確認
  - ※職員は出勤前・入館前の検温を必須事項とする
- ⑤ 十分な換気（含：送迎車両）
  - ※冬季は寒気流入による弊害にも留意
- ⑥ 要所の消毒・清潔保持
  - ※実施頻度は見直し
  - ※環境は汚染していると考え環境に触れたら手指消毒
- ⑦ 職員の不要な事業所（フロア）間移動を避ける
  - ※デイサービス職員等の入居階への出入り制限
  - ※児童福祉施設との世代間交流を中止

## 4. 感染症対策を目的とした環境整備

### ① 陰圧装置設置（特別養護老人ホーム モモ）

「介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業（陰圧装置設置）の申請」を経て4台分の補助金交付が決定。

2階の個室3部屋（210号室・211号室・212号室）および3階の静養室には、補助金対象として「簡易陰圧装置（含：ダクト工事）」の設置（施工）が完了した。

これに加え、残された個室3部屋（207号室・208号室・209号室）に「予備室ダクト自費工事」および「差圧計設置自費工事」を追加し、4台導入された陰圧装置の「移動式の利」を活かし、稼働に際しその自由度の向上を図った。

※207～209は全て「短期入所」用の部屋として使用中。

※有事の際、本入所者が在園している211・212は隔離部屋としての使用が非現実的と想定。

### ② 関連備品の配備強化など

「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護分）感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業申請」を経て、通常の介護サービスの提供時では想定されないものと判断できる「かかり増し経費」が補助される事となり、高齢者福祉施設の全事業所それぞれの状況に応じて、以下の備品導入や環境整備が完了した。

A：日常の業務及び病院受診付添い時などの感染予防用具の配備

1.消毒薬 2.マスク 3.手袋 4.ガウン 5.フェイスガード

B：抗菌仕様・アルコール消毒可能な物にする事で衛生管理を強化

1.ベッドマット 2.ベッド柵カバー

C：感染者発生時の「専用備品」として使用する機器の配備

1.非接触体温計 2.SPO2計測器 3.血圧計

4.オーバーテーブル 5.介護ベッド

D：感染症蔓延予防のための館内環境整備用具の配備

1.加湿/空気清浄機 2.乾燥機 3.間仕切り用アクリル板  
4.スチームクリーナー 5.洗濯機

E：入館前に屋外で手洗いをする事で手指清潔を強化

モモ拠点の玄関脇に簡易流し台（屋外用）の設置  
※ピノ拠点は既存設備あり

F：書類返却の為の再訪問など他者との接触頻度を減少

ハンドスキャナーの配備  
※居宅介護支援事業所

G：公共交通機関を介せずに長距離移動を可能とする

電動アシスト自転車の配備

H：入館時の自己検温で変調確認強化/館内職員との接触頻度を減少

顔認証型体温計の設置（玄関・職員通用口）

I：オンライン面会や拠点間会議（拠点間移動の減少）などに活用

ノートパソコン

J：換気強化（工事）

共同トイレの換気扇を既存器具よりも大型機種へ変更

## 5. 新型コロナウイルス感染症の影響

### ①入所系事業所

特別養護老人ホームでは、家族等に施設へお越し頂いてのケアカンファレンスやそれに伴うケアプラン作成が困難になり、介護支援専門員による家族等との電話連絡/意向確認で暫定計画を立案し、それを郵送/確認/同意（署名・捺印）という過程を経て完成させた。

自立型施設では、不要不急の外出・外部交流を控えるよう呼びかけたが、利用している入居者にとって訪問・通所系サービスは日常生活に必要かつ重要であり、感染予防に十分配慮してその継続に努めた。

また、介護認定期間が特例で延長される事となり、認定申請・調査の延期も目立った。

医療面に関しては、緊急性の低い「定期受診」の予定が、施設・家族・医療機関それぞれの意向も踏まえ、延期となる事もあった。

### ②通所・短期入所事業所

年度当初は、感染を懸念して「利用を見送る」意向を示す利用者・家族が現れたが、全体に占める割合はさほど多くは無かった。

反面、入所系事業所とは異なり「外部からの高齢者を受け入れる」という事業の性質上、活動エリアの入念な清潔保持のみならず、家族へも働きかけ「利用前体調確認」を徹底しての運営が求められた。

利用者宅を訪問してのカンファレンス参加等は、ほぼ無くなった。

### ③居宅介護支援事業所

月間予定（利用票）や様子確認の為の自宅訪問が困難となり、介護支援専門員は、電話連絡や室内に入らず玄関先で対応するなどした。

新規介護サービス導入時をはじめとした「ケアプランの見直し」についても、関係者全員を招集してのカンファレンスにはリスクが伴い、状況に合わせて照会などを交えながらマネジメントを進めた。

認定調査については、相模原市をはじめとした各保険者からの代行依頼そのものが大幅に減少（実施事業所で前年度比：0.6%）した。

## 6. 今後の課題

環境整備のみならず、通常業務に加え職員による感染症予防に向けた日々の実践、自立型施設入居者・在宅系サービス利用者およびその家族の協力に基づく体調管理の強化、老人ホーム入所者家族の面会制限に対する理解など、多くの関係者の努力により、2020年度中にはモモ・ピノ・ナナすべての拠点において新型コロナウイルス感染者は生じていない。

2021年3月下旬には、2度目且つ延長を繰り返した緊急事態宣言が解除されたものの、翌4月入ると「変異株感染の増加」や「まん延防止等重点措置実施」などが連日報道されるようになり、今後も油断はできず、先の見えない不安やそれに伴う対応変更の必要性は続く予測される。

これまで行ってきた対応が正解か否かは誰にも絶対的判断は出来ぬが、少なくとも職員のみならず各事業所に関わる多くの方々がこれまでに努力してきた「感染を拡げない日頃からの生活」を続け、それをより改善していく事で、2021年度も感染予防に努めていく必要がある。

ワクチン接種などへの対応については、施設独自でどうにかできる事ではなく、一日も早く対応が出来るよう、行政機関から発信される最新情報を常に把握しながら、施設で出来る準備を進めていき、法人が外部・施設間交流再開の目安として掲げている以下状況の確立を願うばかりである。

### ●外部・施設間交流を伴う活動の再開可能基準（目安）

- ・特効薬や有効なワクチンが完成している事
- ・上記薬品やワクチンが一般的に入手可能で、医師により処置される状況になっている事

## ● 感染を拡げない日頃からの生活（2021年度事業計画より抜粋）

### ① 3密（密閉・密接・密集）回避

「窓を開ける」「換気をONにする」「大勢で集まるレク・リハをしない」  
「人と人が距離をあける」ようにし、送迎の車中も気をつける。

### ② マスクは常に着用・咳エチケット等を徹底

「マスクをつけられる人は全員着用する」「マスクを外して会話しない」  
「マスクできない人に近づくときはフェイスシールドを装着する」ことを徹底する。

また、布マスクや布エプロンの利用は避け、手や体が汚れる場合は手袋やガウン・エプロンを装着し、介護ごとに廃棄する。

### ③ レクリエーション

レクリエーションは声を出さないものを基本とするが、マスクをしていてもみんなで声を出すと、細かい飛沫がたくさん発生し、感染リスクが高まる事を念頭に、集合せずに、定位置で行なえる娯楽を計画する。

### ④ 手洗い・手指の消毒

「顔を触る前に手洗い・手指消毒」「トイレ後・食事前の手洗い」「ケア前後の手洗い・手指消毒」を実施。  
手洗いは石鹸と流水、消毒はアルコールを用いる。

### ● 必要ない感染対策の例

- ・ 次亜塩素酸水の使用（加湿器・環境消毒）  
※次亜塩素酸水は消毒効果が限定的であるため、使用しない。
- ・ 足ふきマットや足カバー/ヘアキャップ  
※足は触らないようにする。  
※ケア中に頭に触れない。
- ・ 何度も手すりや机を消毒する。  
※環境は汚染していると考え、環境に触れたら手指消毒する。

### ⑤ 毎日の健康確認

毎日の健康確認を職員と入所者に実施。

「健康確認→熱、鼻汁、咳、咽頭痛、食欲不振や下痢もチェック」「体調不良時は出勤・利用を中止」を徹底する。

### ⑥ 食事

食事中は感染しやすい事を念頭に、「会話しない」「つばが飛んでも届かない距離をあける」「換気する」ことを徹底する。

### ⑦ 感染発生時の予行演習

職員の感染対策、施設の区域分け、人員配置、衛生物資の確保、ゾーニングの具体的な手順など、事前にシミュレーションを行なう。

必要物資は1日当たりの使用数を事前に把握し、一定数を備蓄しておく。

### ⑧ 十分な換気

食堂・廊下・浴室など、入居者/利用者の体感温度に留意しつつ、1時間に2回以上換気（2方向の窓を1回数分程度全開に）する。

例：食事中 ⇒ 廊下や居室の換気

食事後 ⇒ 食堂の換気

また、施設の換気設備は常時ONにしておく。





# Future Subject

## これからの課題

### ●モモ拠点

1998年10月の開設以来、2020年度末で22年6ヶ月が経過した建物は、細部に老朽化も目立ち、今後は大規模な修繕や突発的な改修の必要性がこれまで以上に増加していくと思われる。

2021年度は、予測される事柄には計画的に対処できるよう、また、突発的な事柄にも即時対応できるようにし、高齢者福祉施設のみならず、法人の本体施設としての機能を失う事が無いよう、収支の安定はもとより、児童福祉施設とも協力し、本部業務上の役割分担・情報管理の強化・設備の有効活用などにも努めていく。

### 1. 特別養護老人ホームモモ

2021年2月1日より、ショートステイ定員の半分（8床）を本入所へ転換できた（定員が62床となった）事に加え、2021年4月1日からは介護報酬改定に伴う収入増額が見込める為、稼働率の更なる向上・維持に努め、収支の改善・安定を図っていく。

2019年度稼働率（90.4%）と比較し、定員変更前であっても2020年度稼働率（92.6%）は向上の兆しを見せつつはあったが、未だ目標値（97.8%）には達していない。

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う弊害（直接的な面接が困難・健康診断書等の書類作成/入手に例年より時間を要する等）により、予定していた入所スケジュールを維持・確保する事が出来なかった為、今後もこの影響は継続すると見込み、例年より早い段階で対処していく必要がある。

2019年度より開始となった「看取り介護」については、呼吸停止発見から医師の死亡診断および葬儀場等への搬送までは円滑に進める事が出来ており、家族等にも安心して頂ける形となってきている。

但し、現状では医務室・静養室を有する3階フロアでの対応が主となっており、今後の課題として2階フロア（入所者自室）でも看取りを行える環境を整備し、居室を移動する事なく、慣れ親しんだ場所で最期を迎えて頂けるような対応が可能となるよう努めていく。

介護職員不足は数年にわたり続いており、それにより職員個々の心身疲労が増加している。職員補充に注力しつつも、既存職員の能力向上も必要であり、介護士としてプロ意識のある職員を育てていくことを目標とし、教育体制の強化を図っていく必要がある。

また、新たに入職してくる職員が辞めない職場環境を作る為にも、マニュアルの見直し・新規作成のみならず、日常的な情報共有など自分たちができる事をきちんと行ない、働きやすい環境を自ら構築していく必要がある。

## 2. ショートステイモモ

2020年度は、2019年度比の年間稼働率が95%と減少している。

新型コロナウイルス感染症の影響で、感染者数の増加や緊急事態宣言等が報道されると、既往歴がある利用者の場合、新規契約や利用を控える傾向があった。今年度はそれに加えショートステイ定員の半分を本入所へ転換した為、年度末（2021年2月から）の長期利用予定の新規契約をお断りせざる負えない状況となった事も、稼働率の減少に大きく影響した。

2020年度のショートステイ利用者についても、2019年度に引き続き、問い合わせを頂いた新規利用希望者の多数が、医療依存度や医療的な観察が不可欠な症状のある方や認知症によるBPSD症状のある方々であり、今後、安定した稼働率を維持する上でも、他施設で対応困難なBPSD症状のある方や、病状の経過観察が求められる方、在宅看取り対応中の方でも受け入れられるような看護・介護の体制を作る事が急務と言える。

その為にも、専門性を持ち直接的な身体介護を行える介護職員数の育成、既存職員への他職種連携の在り方指導などが必須である。

## 3. ケアハウスモモ

安定した施設サービス水準の維持と向上の為、年度を通して定員16名満床とした目標は達成できたが、現入居者の殆どが後期高齢者となり、足腰の痛みや、病気の進行、体力・意欲・理解力の低下、不安、認知症等が生活に様々な影響を及ぼし、年々、今までのような生活を送る事が厳しくなってきたており、新たな介護サービスを増やして自立生活を保っている方が多い。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自粛や他者交流の減少により、高齢者にとって大切な体力づくりや、趣味活動などの生きがい・周囲との繋がりの機会が減少しており、室内で出来る運動の推進や入居者同士の交流、イベントの実施などで意欲低下を防いでいくことが課題となる。

また、外出時の転倒事故も多発している為、リスクマネジメントにより事故防止に努め、新しい生活様式に沿った感染症予防を徹底していき、入居者・家族・介護支援専門員・関係事業所等との連携を強化し、健康で末永く自立生活を営む事ができるように、施設環境を整えていく必要もある。

## 4. デイサービスセンターモモ

2020年度は、新型コロナウイルス感染症による感染者数の増加や緊急事態宣言の影響等があり、新規利用者の受け入れがなかなか出来ず、在籍中の一部利用者に関しては利用を控える傾向も見受けられた。

毎年、季節などの影響による平均参加人数の変動は年内でも生じているが、その幅を少なくし、かつ一定に保つ事が今後の目標となる為、引き続き他部署・他事業所と連携し、新規獲得・既存利用者の増回に努め、総合事業である「第1号通所事業」への正確で柔軟な対応も継続する。

2021年度は、日々の業務内容や一日の流れの修正、必要な職員人数などにつき効率化を図っていく過程で、対応できる職員が限定される送迎業務については通所課としてどう見直していくのかが課題となる。

稼働率の維持と同時にサービスの質の維持・向上に努め、コミュニティセンターピノとの連携も円滑にし、双方の実績向上を図っていく。

## 5. 居宅サービスセンターモモ

長年目標にしていた特定事業所加算の算定には、2021年度の報酬改定で新たな加算が創設されたが、結局は常勤介護支援専門員と主任介護支援専門員を合わせて実人数3名以上の配置が必要であるという要件であった。

ケアマネジャーが2人体制になってから1年以上が経ち、3人目の募集が続いているが、採用に繋がらない状況が続いている為、引き続き3人目のケアマネジャーを配置し、加算の取得が出来るように働きかけていく。

団塊の世代が後期高齢者を迎えるなど、いわゆる2025年問題を迎えるにあたり、地域包括ケアシステム導入への準備を進めるため、各高齢者支援センターとの連携を強化していく。

新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、通常の訪問やサービス担当者会議の開催は困難であったが、感染対策の定着に比例し、その影響は徐々に緩和してきており、引き続き感染防止に留意したうえでケアマネジメントの質が低下せぬように努めていく。

同時に、自法人施設系事業所の空き状況を把握し、入居相談・紹介等を行ない、各事業所の稼働率向上・安定にも協力出来るようにしていく。

## ●ピノ拠点

地域密着型特養・認知症対応型通所介護といった、報酬単価が高めの事業が集約されている一方、小規模であるが故に稼働率の低下が収入に与える影響はモモ拠点の比ではない。

また、報酬単価が高いという事は、従来型特養・通常デイとは異なる価値を見出す事が出来なければ、入居・利用希望者は集まらない。

2021年度はモモとは異なる価値を見出す為にも、職員配置をはじめ、今まで以上に様々な加算取得を視野に入れた運営が求められる。

## 6. コミュニティホームピノ

地域密着型特養として、地域に根差し、地域に開かれた施設作りが今後も重要となる。

2013年4月の開設から8年が経過し、開設年度から入居者されている方は3名となっており、その心身状況も低下している。

新規に入居される方も介護度は高く、入居時から全介助の方も増えている。ユニット体制としての職員配置もユニット1人対応が主とならざるを得ない現行の体制では、サービス提供・リスク回避に限界が見られている。

2019年度より可能となった看取り対応も、今後は加算取得が可能となる状態まで実施プロセスを構築し、一層の質の向上を図る必要がある。

雇用情勢も厳しい為、派遣職員が多数を占めている状況の中、サービスの質の向上・運営面の見直しが必要となっている。

待機者の減少も継続した課題であり、申込者における「将来的に入所希望」の方の割合が過半数を占めている状況ではあるが、それは時に「申込後即入所が可能」な場合もあるので、これを利点として訴求していきたい。

## 7. ショートステイピノ

2020年度の年間稼働率(72.2%)は2019年度(64.6%)よりも若干ながら向上し、特に8月以降は目標稼働率(80.0%)近くで安定(平均:80.3%)した。

長期利用希望者を多く受け入れることで稼働率は向上傾向となっているが新規利用人数は減少している。また、リピーターであったご利用者が利用日数を増やされる事が多かった事も、新規利用者獲得の減少に繋がった。

近年、医療的管理が必要な方や、認知症状の進行が著しく徘徊や暴力行為などが見られる方の受入れ依頼も多くあり、現在の体制では受入れが困難な場合が多く、新規利用者の獲得に繋がらぬという影響もある。今後は、現在の勤務体制の見直しや介護の質の向上が必要である。

また、派遣職員が多い中で、情報共有やケアの統一方法に関する問題点も浮き彫りとなってきており、職員間でのコミュニケーション不足を改善していかなければならない。

## 8. コミュニティセンターピノ

認知症対応型通所介護として2013年4月の開設より8年が経過したが、2020年度も厳しい運営状況であった。

年度を通して稼働率は常に50%を下回ってしまい、利用者登録数14名・1日平均利用者数4.8名と低迷しているため、利用者登録数の増加、利用日の増回を直近の課題と考え、対応していく必要がある。

新規獲得の他、2021年度は定員（1日12名）の中で既存利用者の臨時参加受け入れの推進や増回依頼などのニーズにも柔軟にこたえつつ、デイサービスセンターモモとの連携を図り、課題解決に取り組まなければならない。

## ●ナナ拠点

ケアハウスモモを有する当法人にとっては、同じ自立型施設ではあっても、費用負担面でケアハウスよりも高額となるフレイグラントオリーブナナの入居率を高める為には、先述の「ピノ拠点がモモ拠点とは異なる価値を見出す」以上の努力が必要になる。

また、サービス付き高齢者向け住宅という点、世間一般では「身体介護サービスを必要な時に必要な分だけ受けられる事ができる」印象が強く、24時間365日スタッフが常駐している施設も少なくない。

2021年度も、入居者獲得の為には「ケアハウスモモ以上」且つ「近隣のサ高住以上」の優位性を確立していく必要がある。

その為には、地域密着型拠点の「ピノ以上」に、地域に根差し、地域に開かれた施設作りが求められる。

## 9. フレイグラントオリーブナナ

2021年3月末時点の入居者数は、一昨年末と同じく18名。

新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予定していた見学会などを中止せざるを得ない年度となり、定員維持率目標である稼働率90.6%（入居者数29名）どころか、採算ベースである稼働率70%以上（入居者数23名）の入居も達成することができなかった。

感染症対策を強化したうえで満室に向けた見学会を開催していく等、引き続き施設の認知度を上げる努力が必要である一方、入居者の安心・満足度を高める対策に取り組まなければならない。

## 10. ケアステーションナナ

新規依頼も順調で、2021年3月末時点で45名の登録者がおり、2019年12月より稼働率は常に安定して90%超を維持している。

2018年9月の居宅介護支援事業所としての再開以降、開設4年目となる2021年度も、引き続き積極的に新規獲得を目指し、稼働率100%を目指していく。

自法人在宅サービスであるデイサービス・ショートステイの利用者が増えているが、モモ・ピノとも特定事業所集中減算の適用を考慮しても利用できる枠は未だ残されているため、公平中立を念頭に置いて質の高いケアマネジメント・利用者のニーズに合ったサービスの提供を行なっていく。

同時に、自法人施設サービスの特別養護老人ホームモモ・コミュニティホームピノ・ケアハウスモモ・フレイグラントオリーブナナの空き状況も把握し、需要がある方型への入居相談・紹介等を通して各施設の稼働率安定に協力出来るようにする。

介護保険法の改正があり、2021年4月より事業所の管理者が主任介護支援専門員でなければ事業継続が出来なくなる予定であったが、猶予期間が5年延長されている為、期間内の主任介護支援専門員の資格取得研修参加にも注力し、将来的な事業の継続に繋げていく。





## 施設ケアマネジメント(モモ)

### ●会議開催日数

平均して3回/月、延べ39日/年の開催日数にて推移した。

2020年度は新規入所が14名と、2019年度と比べ2名の増加に留まっているが、状態変化に伴い臨時開催を必要とするケースが増えた事により開催日数の増加に繋がったと思われる。

2021年度も、利用者及びその家族主体でのスケジュールリング（介護保険更新時期との連動及び状態変化による）を継続していく。

### ●ケース会議の役割

家族の平均出席率は24%に留まっている。

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、緊急性のある方以外の会議を紙面開催とした事で、大幅な出席率低下に繋がっている。

ケース会議を日常生活の様子を家族に伝える場、家族から入居前の生活歴等を伺う場として活用し、今後のケアに繋げ、これまで同様に家族と施設職員との情報交換の場としての役割を担い、家族と職員間のコミュニケーションを図る場として重要な会議と位置づけ定期開催していく。

ケース会議は本人・家族の意向を確認し、今後のケアの方向性を定め、具体的に提供するサービスを提案し、同意を得る契約の場でもある。

欠席の場合は直接説明後に同意を頂き、やむを得ず郵送でやり取りする場合でも、ポイントを電話にて説明した後に送付する事としている。

### 会議開催日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2020年度	3	3	3	5	3	3	4	4	2	3	3	3	39
2019年度	2	4	4	3	5	4	3	3	3	2	4	4	41
2018年度	2	2	3	3	4	4	2	4	4	4	3	4	39

### ※紙面開催含む

### 計画作成回数

単位：人

	初回	2回目	3回目	4回目	5回以上	延べ
2020年度	14	15	10	7	27	73
2019年度	12	13	6	3	25	59
2018年度	19	13	1	6	26	65

### 対象者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2020年度	7	5	6	9	7	5	6	5	5	5	5	8	73	6.0
2019年度	2	6	7	6	8	7	3	3	3	6	4	5	60	5.0
2018年度	4	4	6	6	7	8	3	5	6	6	5	7	67	5.6

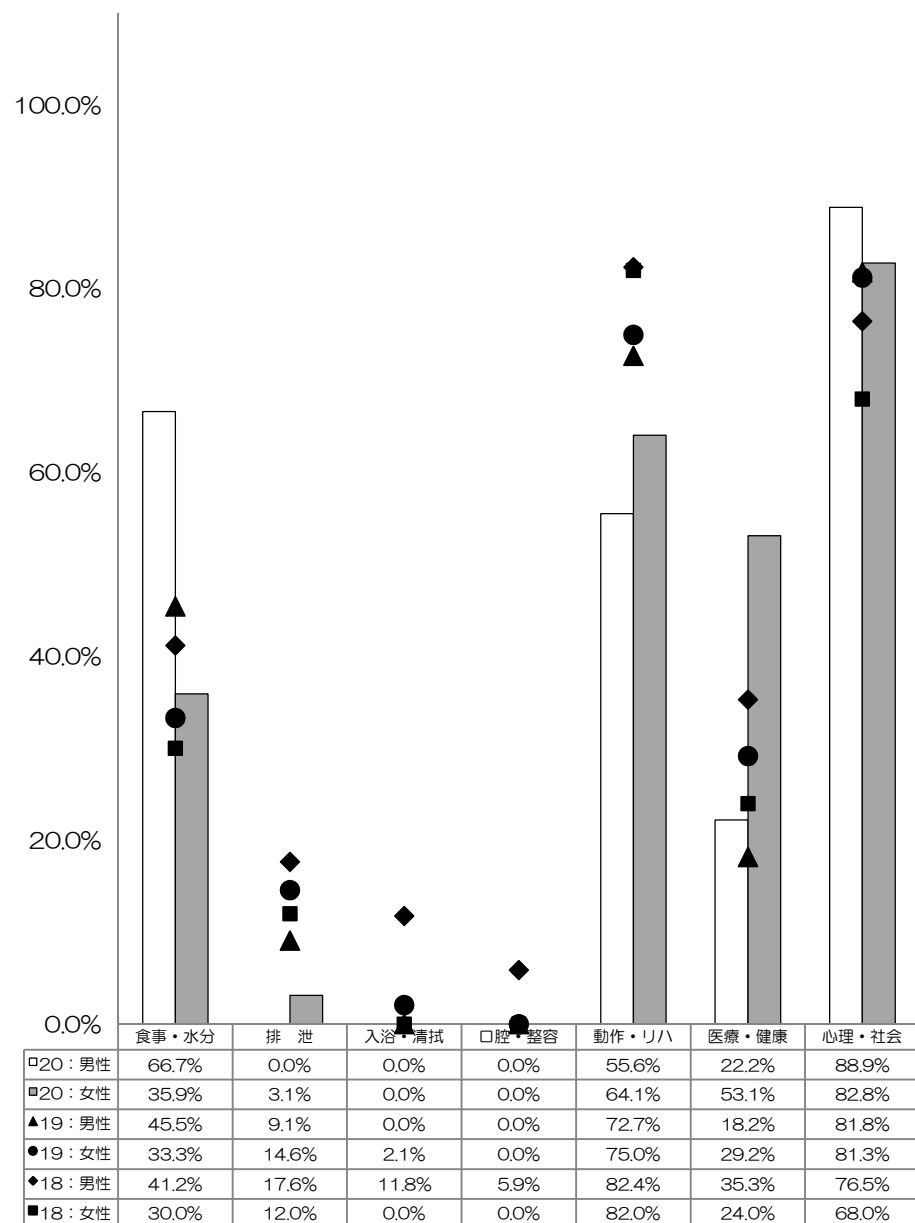
### 家族（含：後見人等）出席率

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	0	0	33	0	14	80	83	80	0	0	0	0	24
2019年度	100	100	86	83	88	100	67	100	100	100	75	60	88
2018年度	75	100	83	100	86	88	67	100	83	83	100	100	89



項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



## ●ケアプラン立案傾向からみた入居者像

三団体方式における「ケアチェック表」を基に、当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハビリ」「心理・社会」面のニーズ（課題立案）の割合は2019年度同様に非常に高くなっている。

「動作・リハビリ」面では認知症の進行とそれに伴うADL低下により、転倒・転落リスクが高い方が引き続き多い事を表している。

「心理・社会」面では精神的な面でのフォローが必要な方に加え、余暇活動等による日常生活の充実を求める方が多い事も背景にあると思われる。

「食事・水分」面のニーズも2019年度とほぼ同様の割合を示しており、入所者の高齢化に加え、看取り介護の実施により経口摂取が難しくなっている方の入所継続が可能となった事が要因と思われる。

「医療・健康」面のニーズは2019年度と比べ大幅に増加している。看取り介護の実施・件数の増加に伴い、吸引や褥瘡など医療的処置の必要な方が増加した事が要因と思われる。

物理的にも心理的にも介助量が多い入所者の増加は継続しており、また、重度化も進んでいる。加えて、看取り介護の実施により、重度者の割合は今後さらに増えていくと思われる。

# N Home ursing

## 特別養護老人ホームモモ

新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中で、2020年度も入所者・職員共に感染者ゼロで経過した。

職員等が日々の業務において注意・対応出来ている結果と思われるが、いつ感染者が発生してもおかしくはない状況ではある為、日々対策の継続や適宜見直しを図り、全員が対応を取れるよう強化していく必要がある。

2020年度は、稼働率・新規入所者数で2019年度を上回り、退所者数・入院者数で2019年度を下回る事が出来ている。

入院者数に関しては半数程度に抑えられており、尚且つ1ヶ月を超える長期入院者数も1名となっているが、稼働率において目標値を上回る事は出来ていない点に関しては、改善すべき今後の課題である。

看取り介護も定着し、職員も落ち着いて対応する事が出来ており、呼吸停止発見からご遺体の搬送まで円滑に進める事が出来ていると思われる。

しかし、職員不足は数年続いている問題であり、職員一人ひとりの業務負担増加も続いており、モチベーションの低下にもつながっている。職員採用もなかなか難しい状況が続いているが、新規採用と同時に、現在の業務内容の見直し、業務の効率化を率先して行なっていく必要がある。

## ●2020年度重点課題への達成度

### ① 空床ゼロに向けた待機者管理

2020年度は、新規入所者が19名、退所者が12名となり、退所人数を新規入所者数が上回ったが、年度通し満床には至らず。

満床が近づくと新規入所後に看取りや急変によるご逝去等が生じてしまうという状況が続き、退所を見越して入所面接等を進めてはいたが、コロナ禍で病院や施設への面接訪問不可や健康診断書等の書類発行に時間を要するなど、円滑に進める事が出来ない状況が見られた。

2019年度と比べ稼働率は向上したものの、目標値達成には至っておらず、新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くものと捉え、より円滑な空床管理が出来る様にしていく。

### ② 看取り介護体制の構築

2020年度は看取り介護体制を定着する事ができ、年度内で8名の方を円滑にお見送りさせて頂いている。

しかし、諸条件を満たす事ができず、加算取得には至っていない為、2021年度の加算取得に向けて勉強会実施等を推進していく。

### ③ 職場環境・業務改善、職員の人員確保

2020年度も引き続き職員不足が続いており、派遣契約や非常勤雇用などを行なうも、なかなか長期間続く状況には至らず。

引き続き職員の確保に努め、職場環境の整備、風通しのよい職場作りに注力していく必要がある。

業務改善に関しては、できる事を行ってきたがまだまだ十分な成果とならず、利用者の状態の変化等により今まで行なっていた業務ができなくなった場合などに、すぐに対応変更することができず後手に回ってしまうことも多くあった。随時対応できるようにしていく為にも、職員同士コミュニケーションをたくさんとり、状況の変化にすぐに対応できるように日々尽力していく。

# 1. 入所待機状況

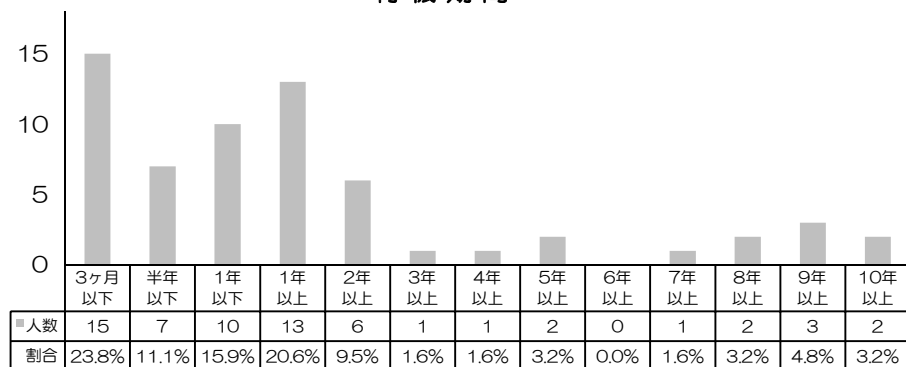
## a. 地域別・待機期間別待機者

待機者数：63人（男性：27名・女性：36名）

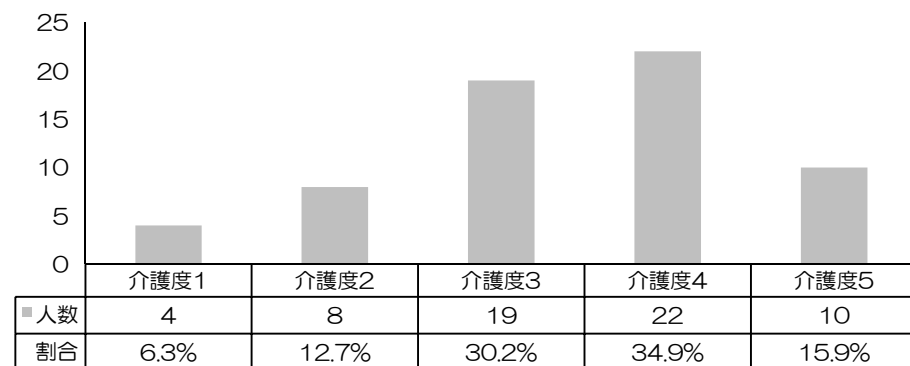
地域別数：区内/45人・市内/13人・市外/5人

（2020年度申込者：32名）

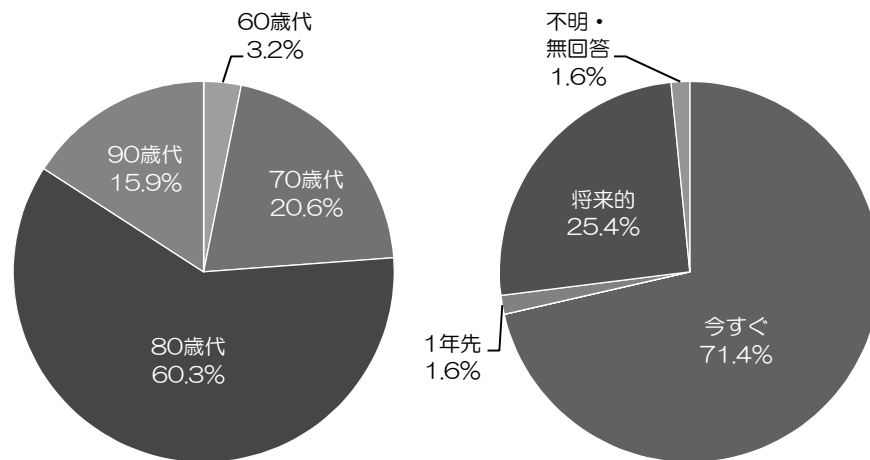
待機期間



## b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



## c. 待機者年齢・入所希望時期



入所希望時期 介護度別構成

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入所したい	1	3	15	19	7	45
半年先ぐらいには入所したい	0	0	0	0	0	0
1年先ぐらいには入所したい	0	0	0	1	0	1
将来的に必要なになった時に入所したい	2	5	4	2	3	16
不明・無回答	1	0	0	0	0	1
合計	4	8	19	22	10	63

※2020年度新規入所者19名における待機期間

平均：120.8日間（最長：691日間・最短：16日間）

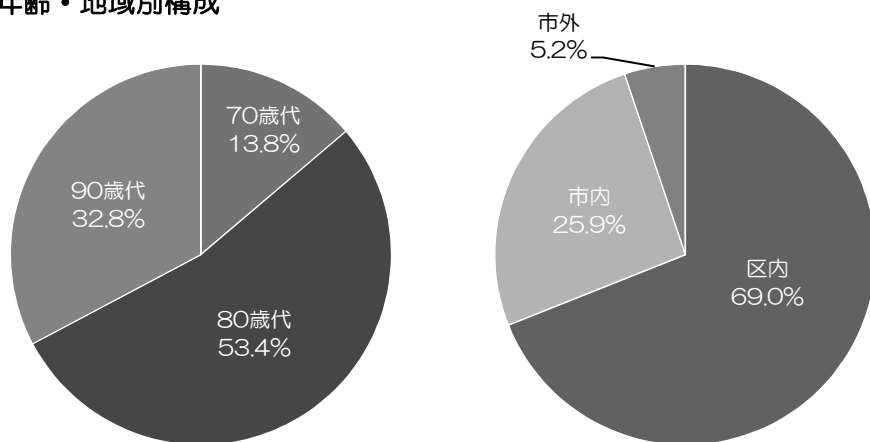
※2021年3月31日現在の最長待機日数：6940日間

## 2. 入所者の現況

(2020年度実績者延べ：70名)

平均介護度・平均年齢共に2019年度と殆ど変わりは見られていない。看取り対象者を3階で対応している関係もあり、3階入所者の平均介護度が4.02と比較的高くなっている。今後の課題としては、2階でも看取りができる環境を整える事で、全体の平均介護度の上昇が見込めると思われる。

### a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / ( ) 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	1 (1)	2 (3)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	12 (13)
女性	0 (0)	0 (0)	6 (7)	28 (19)	22 (23)	2 (4)	58 (53)
全体	0 (0)	1 (0)	8 (10)	36 (27)	23 (24)	2 (4)	70 (66)

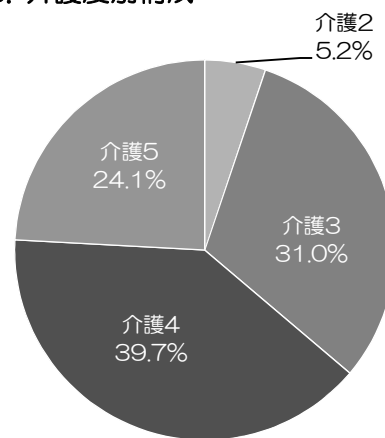
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原	12 (13)	55 (50)	67 (63)
その他	0 (0)	3 (3)	3 (3)
合計	12 (13)	58 (53)	70 (66)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	92歳(89歳)	68歳(68歳)	82歳5ヶ月(81歳07ヶ月)
女性	108歳(108歳)	73歳(72歳)	88歳2ヶ月(87歳11ヶ月)
全体	108歳(108歳)	68歳(68歳)	87歳3ヶ月(86歳11ヶ月)

※ ( ) 内は前年度数値

### b. 介護度別構成



新規入所者の平均介護度は4.05となっているが、全体平均介護度3.90は2019年度の3.91と大差なし。

3階平均介護度4.02に比べ2階平均介護度は3.70と低くなっている。理由は、3階が重度身体介護者、2階が重度認知症者という方針で受け入れを進めている為である。

#### 全体

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0	0	4	5	3	3.91(4.08)
女性	0	3	15	25	15	3.89(3.87)
合計	0	3	19	30	18	3.90(3.91)

※ ( ) 内は前年度数値

#### 2F（特養入所・短期入所混在）

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	1	0	0	3.00	1
女性	0	2	7	9	5	3.73	23
合計	0	2	8	9	5	3.70	24

#### 3F（特養入所のみ）

単位：人（延べ）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	3	5	2	3.90	10
女性	0	1	7	17	11	4.05	36
合計	0	1	10	22	13	4.02	46

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	1	1	0	1	0	0	3
女性	4	2	0	0	0	0	6
合計	5	3	0	1	0	0	9

内訳	肢体 不自由	心臓機 能障害	言語 障害	視覚 障害	聴覚 障害	精神 障害	合計
	4	2	0	1	1	0	

※重複認定障害者 4 名有り

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
		被扶養者	医療扶助	
65	3	0	2	70

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階	第四段階	合計
2	8	21	39	70

### 3. 入所者の生活状況

2020年度の新規入所者数は前年（17名）を上回り、退所者数は前年（15名）を下回る形となり、稼働率も2019年度の90.4%から92.6%へと向上した。

看取り対応が可能となった事もあり、入院者数が2019年度の半数程度に抑えられていた点も稼働率上昇の要因となっているが、目標（稼働率97.8%）の達成には至らず。

退所者12名の内訳では、施設看取りが8名で全体の6割以上を占める事となり、入院や療養型施設転院などの延命を希望している家族が非常に少ない状況になっていると推察できる。

#### a. 入退所状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	0	1	2	2	0	1	1	0	1	4	4	3	19
退所	2	0	0	2	0	0	3	2	0	2	1	0	12

※退所理由：看取り / 8名  
 療養型医療施設転院 / 1名  
 長期入院 / 1名  
 救急搬送後死亡 / 1名  
 施設内死亡 / 1名

#### b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	91	女	4	720日	2020. 4.15 (12:37)	2020. 4.15 (13:18)	2020. 4.15 (14:00)	水 日中
2	94	女	4	1012日	2020. 7.26 (21:20)	2020. 7.26 (21:55)	2020. 7.26 (23:00)	日 夜間
3	108	女	5	2125日	2020.10. 8 ( 4:20)	2020.10. 8 ( 5:06)	2020.10. 8 ( 6:50)	木 夜間
4	91	女	4	246日	2020.10. 8 (17:15)	2020.10. 8 (18:11)	2020.10. 8 (19:36)	木 夜間
5	84	女	4	871日	2020.10. 9 ( 6:40)	2020.10. 9 ( 8:49)	2020.10. 9 (10:00)	金 夜間
6	89	男	4	784日	2020.11.22 ( 1:00)	2020.11.22 ( 1:58)	2020.11.22 ( 3:00)	日 夜間
7	82	男	3	723日	2021. 1.24 (20:50)	2021. 1.24 (21:59)	2021. 1.24 (22:45)	日 夜間
8	101	女	4	2188日	2021. 2.24 ( 8:28)	2021. 2.24 ( 8:59)	2021. 2.24 (10:28)	水 日中

看取り対応は開始2年目となった。

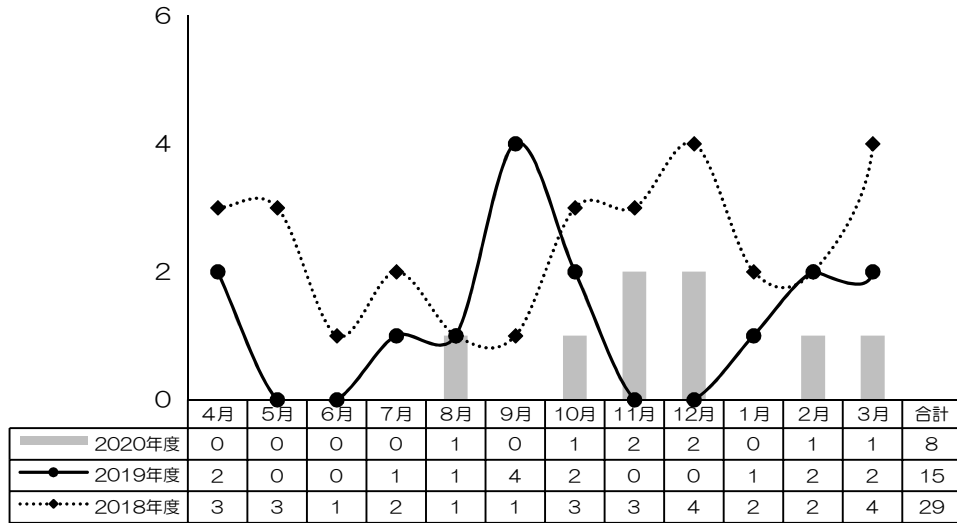
対象者8名のうち夜間の呼吸停止発見が6件あったが、宿直者とも円滑に連携・協働できた。また、2日間（2020年10月8日～9日）に3名のお見送りが続く事もあったが、家族をはじめとした全関係者の協力により、呼吸停止発見からご遺体搬送までは滞りなく対応出来ている。

新規入所契約時に延命の希望について家族等に確認をとるが、殆どの方が延命対応ではなく看取りを希望されている。

2021年3月31日現在で、嘱託医・施設と看取りに対する同意書を交わしている入所者は、58名のうち10名となっている。

c. 入院状況

単位：人



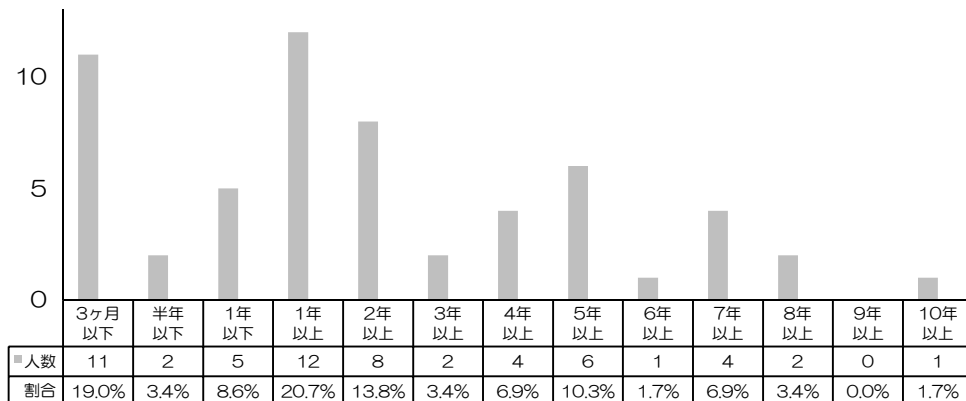
※2020年度延べ入院日数 151日

2019年度と比べ、入院者数が約半数程度に低下しており、1ヶ月を超える長期入院者も1名という状況。延べ入院日数も3分の1まで抑える事が出来ている。

要因としては、家族等の看取り対応希望の増加による病院受診回数低下の他に、嘱託医の緊急住診が24時間可能という事もあり、直ぐに体調不良者への対処(薬の処方等)ができたことにより、入院に至らなかったケースが多い事も挙げられる。

d. 入所期間

単位：人



e. 在籍状況(入院・外泊を含む)

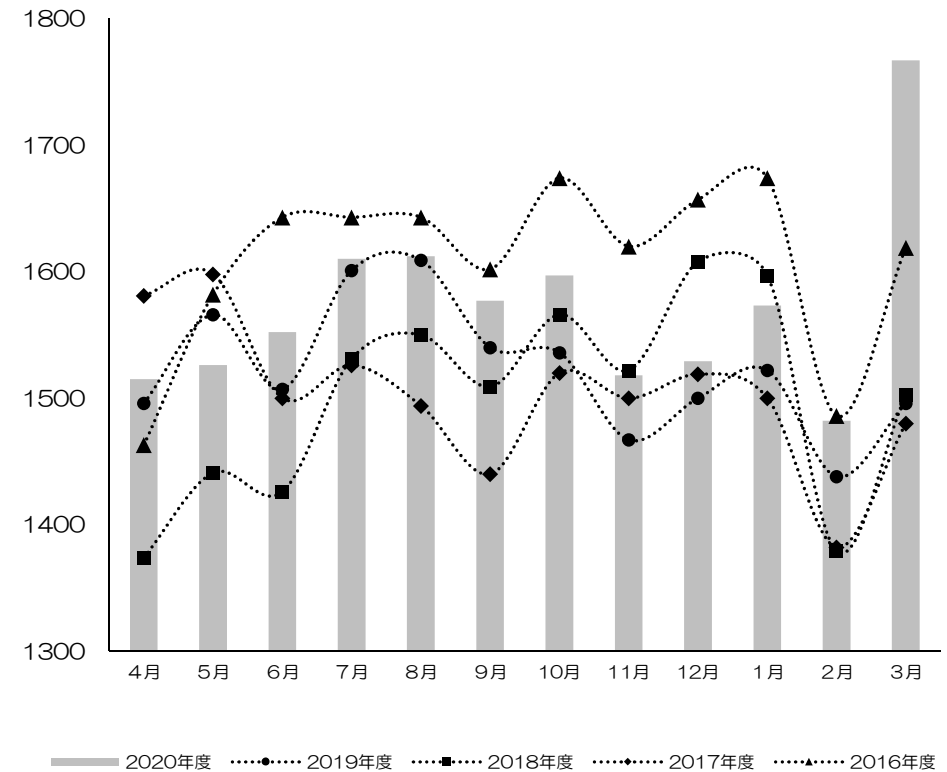
単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年度	1515	1526	1552	1610	1612	1577	1597
2019年度	1496	1566	1507	1601	1609	1540	1536
2018年度	1374	1441	1426	1531	1550	1509	1566

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2020年度	1518	1529	1573	1482	1767	18858	103.2%
2019年度	1467	1500	1522	1438	1496	18278	101.5%
2018年度	1522	1608	1597	1379	1503	18006	99.8%

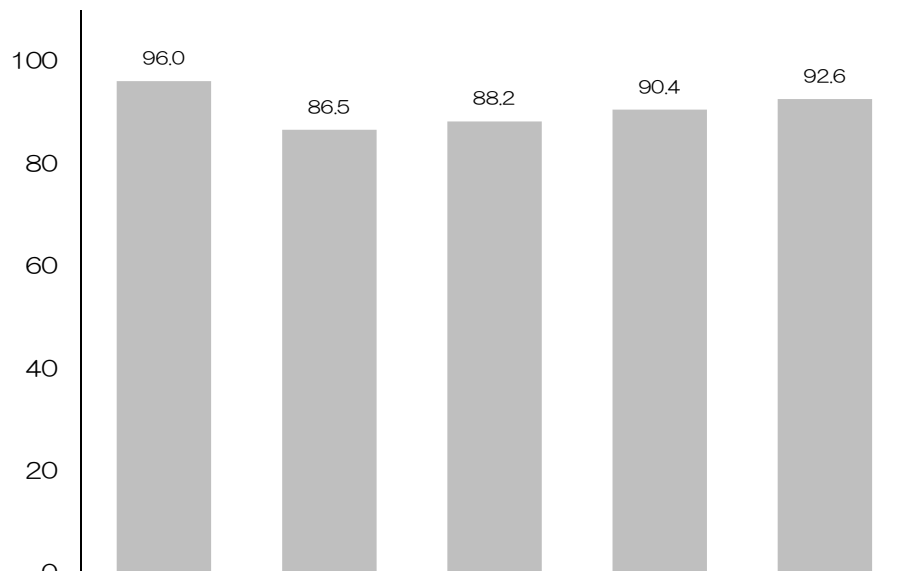
単位：人(延べ)



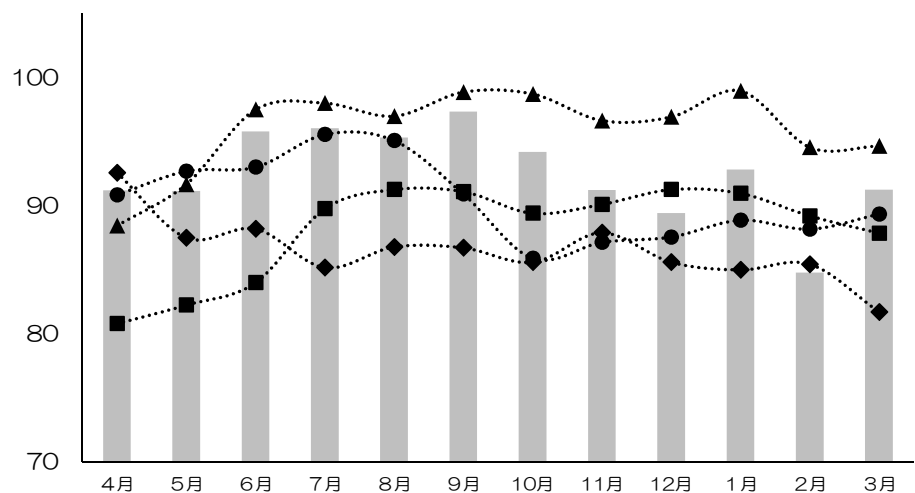
※3月の数値向上は「短期入所ベッドの本入所転換」による影響である。

f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

（年間平均稼働率） 単位：%



（月間稼働率） 単位：%



— 2020年度    ●●●● 2019年度    ■■■■ 2018年度    ◆◆◆◆ 2017年度    ▲▲▲▲ 2016年度

g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R 得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~ 26点	25~ 21点	20~ 16点	15~ 11点	10~ 6点	5~ 0点	不能・ 未検査	
6月								
8月								
12月								

※2020年度：未実施

h. 日常生活動作状況

単位：人

2019年度と比べ、看取り介護の実施・2021年2月1日からの入所定員増加（短期入所ベッド転換）に伴う介助量の増加傾向が見られる。

項目	状態及び人数					
	普通/不明	55	弱視	2	全盲	1
視力	普通/不明	55	弱視	2	全盲	1
聴力	普通	46	やや難聴	11	難聴	1
言語	普通	55	やや不自由	2	不自由	1
意思疎通	普通	38	多少困難	10	困難	10
食事	自立	38	一部介助	7	全介助	12
入浴	自立	5	一部介助	36	全介助	17
着脱衣	自立	5	一部介助	39	全介助	14
排泄	自立	8	一部介助	35	全介助	15
オムツ等	なし	7	パット等	51	オムツ	38
移動	自立	3	杖・歩行器	10	車椅子	46

※パット・オムツ併用者・夜間オムツ対応者あり

i. 外出・外泊の状況

単位：人

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下の制限等に伴い、面会回数は低下している。外出・外泊に関してはご遠慮頂いており0件。

来訪回数	0~ 10回	11~ 20回	21~ 30回	31~ 40回	41~ 50回	51~ 60回	61回 以上
		61	8	0	1	0	0

※差し入れの持ち込み時での来訪等含む。

外泊	年未年始	0	その他	0	合計	0
外出	年未年始	0	その他	0	合計	0

※外出は家族・関係者によるもの。施設行事による外出は含まず。



### j. 月例行事催行状況

種別	実施頻度	行事内容
誕生会	月1回(第4水曜日)	当月の誕生者(短期入所含む)を祝福。
家族食事会	月1回(第4日曜日)	誕生者家族を招いて昼食を個別に楽しむ
レクリエーション	毎日	風船バレー・体操・談話・カラオケ・合唱 囲碁・将棋・オセロ・ボール遊び など
理髪室	月1回(第2月曜)	利用希望者(散髪・髭剃り(女性のみ))
喫茶室	月1回(第1日曜日)	普段とは変わった飲み物や甘味類を楽しむ
合唱会	月2回(第1・3日曜日)	昔懐かしい曲等伴奏に合わせての合同合唱

※コロナウイルス感染防止に伴い、家族食事会・喫茶室・合唱会は2020年度通して中止となる。

### k. クラブ活動(月例)

種別	実施頻度	実施場所
生け花	月2回(第1・3水曜日)	3階リハビリコーナー・ボラ講師指導
書道	不定期開催	3階リハビリコーナー
音楽クラブ	月3回(第1・3水曜日)	1階いろいろ部屋・ボラ講師指導

※コロナウイルス感染防止に伴いボランティア来訪中止の為、2020年度通して生花クラブのみ実施となる。

### l. 会議(定例/含:職員向け)

種別	開催頻度	検討内容
特養課会議	月2回(第2・4金曜日)	介護・看護・栄養・短期入所 各部署間の連絡調整及び認識統一
リーダー会議	月1回(第2金曜日)	各フロアの状況報告・部署内連絡事項・予定/改善事項を検討
給食会議	月1回(第4水曜日)	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月1回(第2金曜日)	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月1回(第2金曜日)	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年1回/一人 基本 状況変化時は随時	入所者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1回/3ヶ月(第2金曜日)	食中毒への対策・予防の検討
施設部会	月1回(毎週火曜)	特養/ケアハウスの施設における状況や結果及び今後の対応策の検討

### m. 苦情

2020年度は0件。

### n. 年間行事/その他予定(入所者の生活に直接関わるもの)

開催日	行事	内容
4月予定	花見外出	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
6月予定	風船バレー大会	
9月予定	神輿見学	
9月予定	カシオペア祭	入所者と一緒に夏祭り・おやつ作り
9/27	夏祭り・おやつレク	
10月予定	施設対抗運動会	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
10/5	秋季健康診断	入所者の健康診断
12/23	クリスマス会・おやつレク	入所者と一緒におやつ作り。プレゼントの提供
12/24		
1/1~3	初詣	新型コロナウイルス感染防止に伴い中止
1月予定	餅つき大会	

※季節/祝日等に伴う「祝膳」は特養課行事としての記載を省略:栄養課報告にて代替え

※コロナウイルス感染防止の為、行事等中止が多く見られている。

※12/7に協力医療機関によるインフルエンザ予防接種実施

#### 4. 医務室

##### a. 疾患状況

単位：人（延べ）

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	11 (15)	歯科疾患	48 (41)
消化器疾患	5 (3)	ガン疾患	4 (2)
脳神経疾患	2 (2)	糖尿病	3 (5)
精神科疾患	17 (16)	高血圧症	17 (15)
整形外科疾患	13 (11)	慢性間接リウマチ	2 (0)
腎機能疾患	1 (2)	ホルモン疾患	0 (0)
肝機能疾患	1 (2)	老人性認知症	48 (38)
脳血管障害	8 (10)	泌尿器科疾患	3 (1)
呼吸器疾患	2 (3)	皮膚科疾患	8 (14)

※（ ）内は前年度数値

##### b. 看護処置

単位：人（延べ）

処置内容	人数
創処置	7 (10)
軟膏塗布	48 (47)
点眼	20 (20)
坐薬挿入	2 (1)
湿布	2 (1)
フランドルテープ	1 (0)
吸入	0 (0)
フットバス	0 (0)

※（ ）内は前年度数値

##### c. 服薬管理

単位：人（延べ）

時間帯	人数
朝食時	53 (48)
昼食時	38 (30)
夜食時	53 (45)
就寝前	14 (14)
便秘時	52 (40)

※（ ）内は前年度数値

##### d. 認知症行動障害

単位：人（延べ）

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0 (0)	人物誤認	0 (0)
夜間せん妄	2 (0)	作話	1 (2)
興奮・奇声	0 (5)	摂食異常	2 (1)
徘徊	3 (1)	盗癖・収集癖	3 (3)
攻撃的行為	3 (2)	被害妄想	3 (2)
不潔行為	7 (6)	躁鬱状態	0 (0)

※（ ）内は前年度数値

##### e. インフルエンザ予防接種

単位：人

入所者数	接種数
50	48

※1名入院・1名家族希望により2名未接種。

##### f. 医療管理者

単位：人（退居者含）

処置内容	人数
胃瘻（造設者含む）	0 (0)
留置カテーテル	2 (1)
膀胱瘻	0 (0)
喀痰吸引	9 (5)
褥瘡	7 (7)

※（ ）内は前年度数値

##### g. 定期診察

提携医	精神科医	相明会歯科
木曜日/月2回	月2回	毎週水士



# S Stay hort-term

## ショートステイモモ

2020年度の年間稼働率は59.7%で、2019年度比で+3.4%と、新型コロナウイルス感染症対策および本入所ベッド転換の準備に伴い、新規契約の一時中止はあるも、長期利用者の確保により稼働率が微増している。

2019年度は18名であったが特養本入所移行者が、2020年度は14人（うち長期利用者7名）と減少している。

2021年4月7日より発令された緊急事態宣言の影響で、新規利用希望の問い合わせが無くなり、長期滞在者以外の利用が激減してしまったが、緊急事態宣言解除が決まると、徐々に新規の問い合わせも増え、利用を中断していたリピーターも利用を再開するようになった。

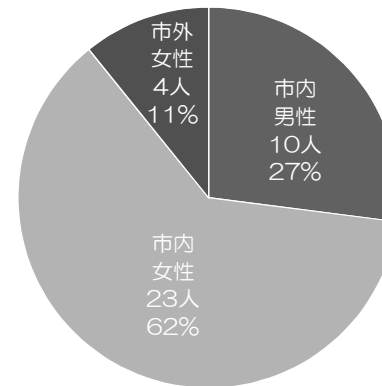
稼働率も徐々に回復していたが、2021年2月からのショートステイベッドの特養本入所転換準備に伴い、リピーターの利用希望日程の確保を優先したことで、新規の長期利用受け入れは中止せざるを得なくなってしまった。

2月を迎えると、市内の他特養もベッド転換を行なった事もあり、新規問い合わせは多くなったが、やはりリピーターの利用希望日程の確保を優先せざるを得ない状況は続き、新規獲得が行なえず伸び悩んだ結果となった。

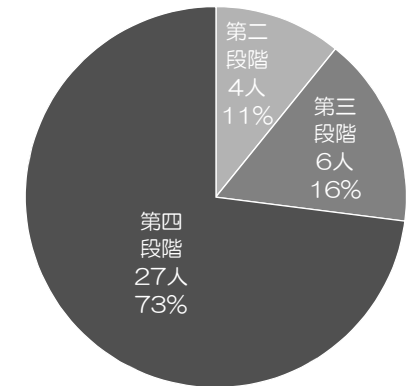
今後も継続して職員の待遇・介護力・認知症対応力の向上を図り、利用者が安心して定期的に利用をして頂けるように、家族・関係機関にも信頼を得ることができる職員育成を最重要課題として取り組んでいく。

### 1. 利用者プロフィール（年度内実績者 37 名の内訳）※2021.03.31 現在

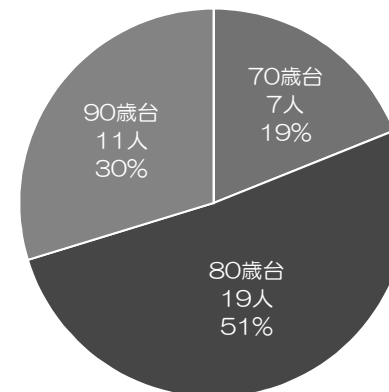
地域別割合



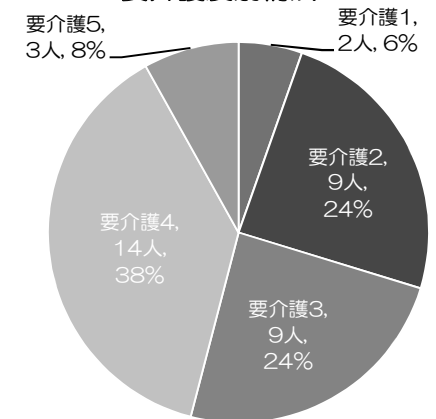
介護保険負担限度額認定



年齢別構成



要介護度別構成



平均年齢：85.7歳【最高齢：98歳（女性） / 最年少：72歳（男性）】  
 施設部関連 / ケア入居者（0人）・特養本入所移行（14人）  
 在宅部関連 / デイ併用（20人）・居宅モモ/ナナ担当（延：9人）

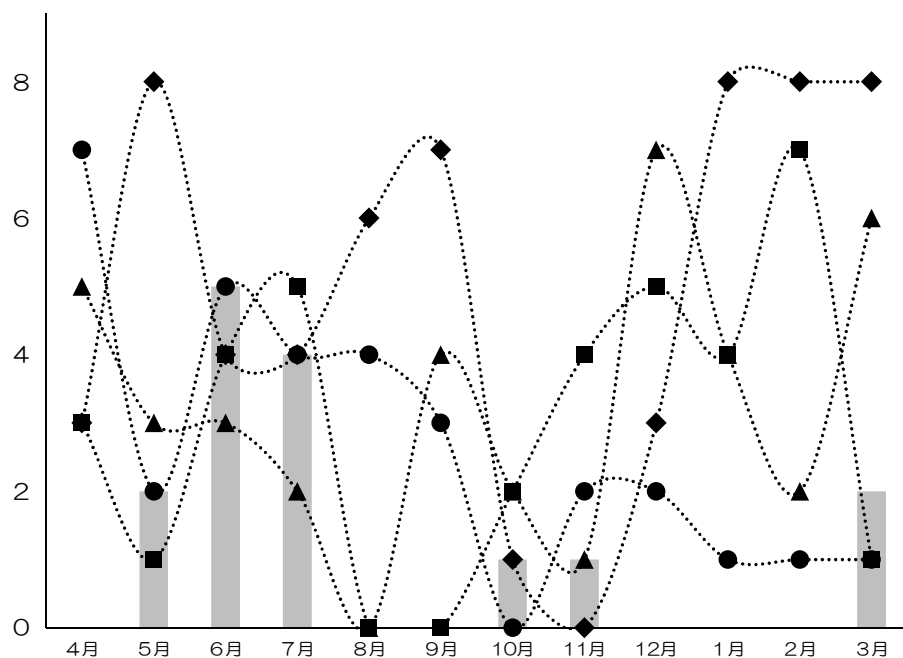
## 2. 年間の利用状況

### a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
女	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0	0	2	10
合計	0	2	5	4	0	0	1	1	0	0	0	2	15
前年	7	2	5	4	4	3	0	2	2	1	1	1	32

単位：件



2020年度 2019年度 2018年度 2017年度 2016年度

### b. 稼働状況

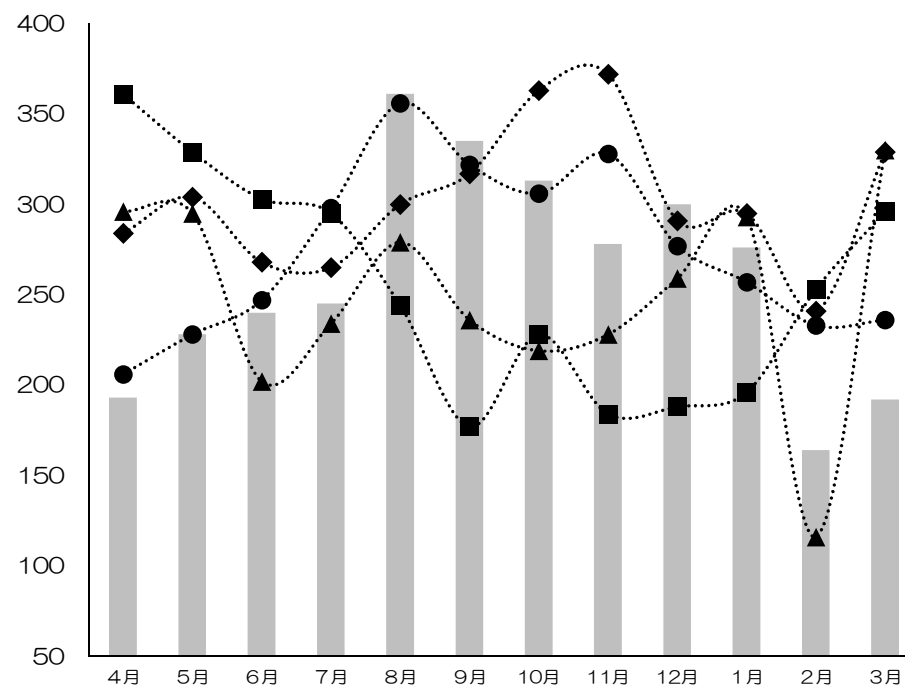
単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年度	193	228	240	245	361	335	313
2019年度	206	228	247	298	356	322	306
2018年度	361	329	303	295	244	177	228

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2020年度	278	300	276	164	192	3125	95%
2019年度	328	277	257	233	236	3294	108%
2018年度	184	188	196	253	296	3054	84%

単位：人

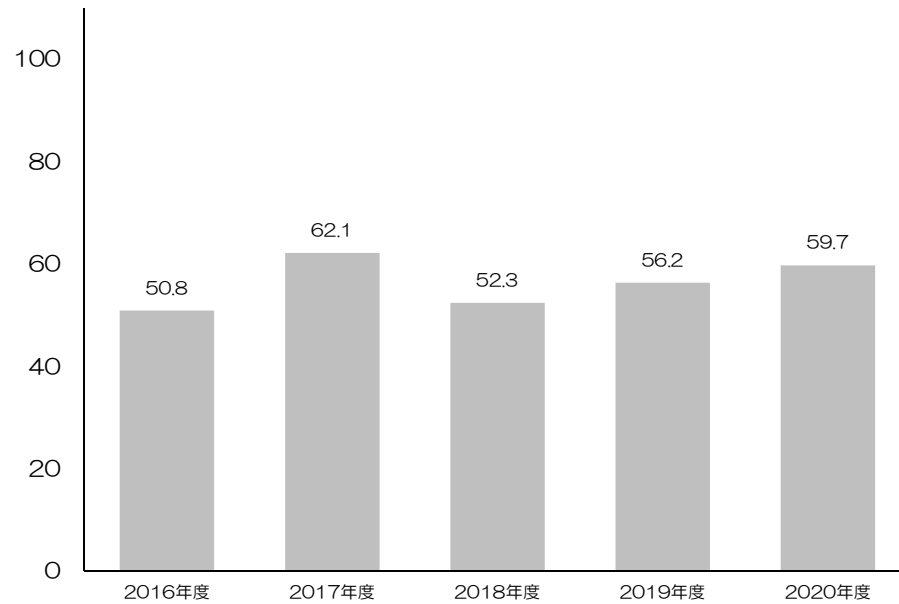


2020年度 2019年度 2018年度 2017年度 2016年度

### c. 稼働率比較

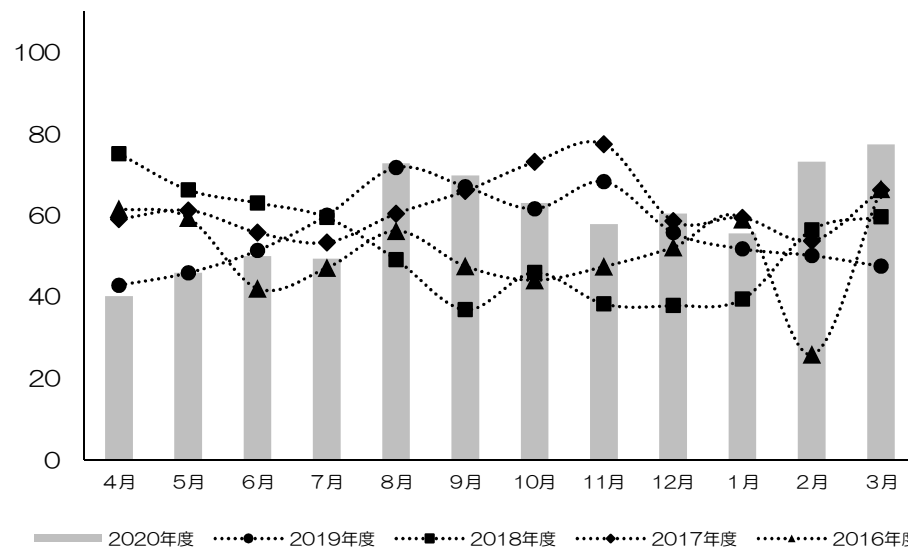
(年間平均稼働率)

単位：%



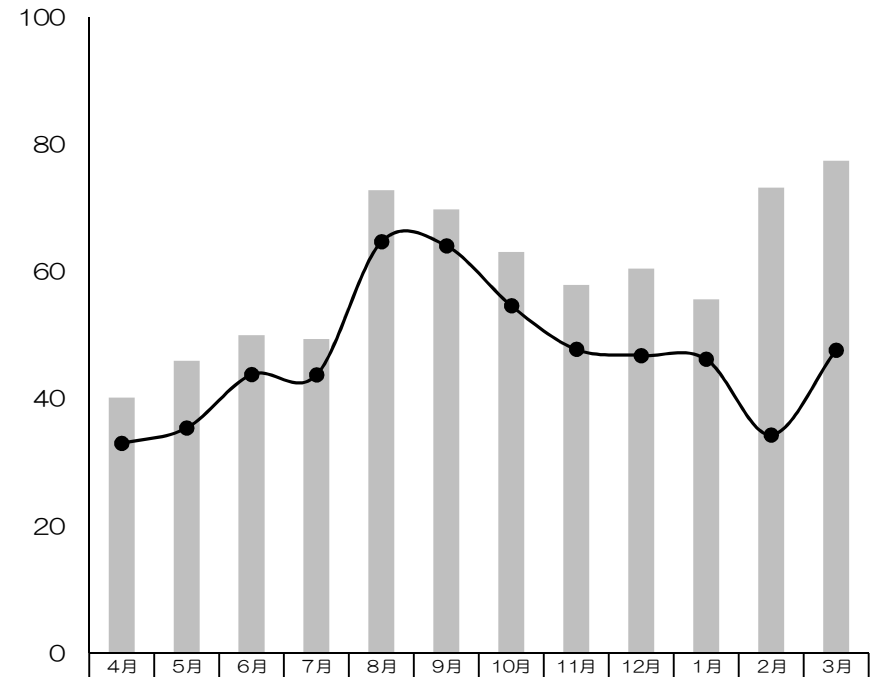
(月間稼働率)

単位：%



(定員比 / 満床比の比較)

単位：%



定員比 %	40.2	46.0	50.0	49.4	72.8	69.8	63.1	57.9	60.5	55.6	73.2	77.4
満床比 %	33.0	35.4	43.8	43.8	64.7	64.1	54.6	47.8	46.8	46.2	34.3	47.6
定員床数	480	496	480	496	496	480	496	480	496	496	224	248
利用可床数	585	644	548	560	558	523	573	582	641	597	478	403

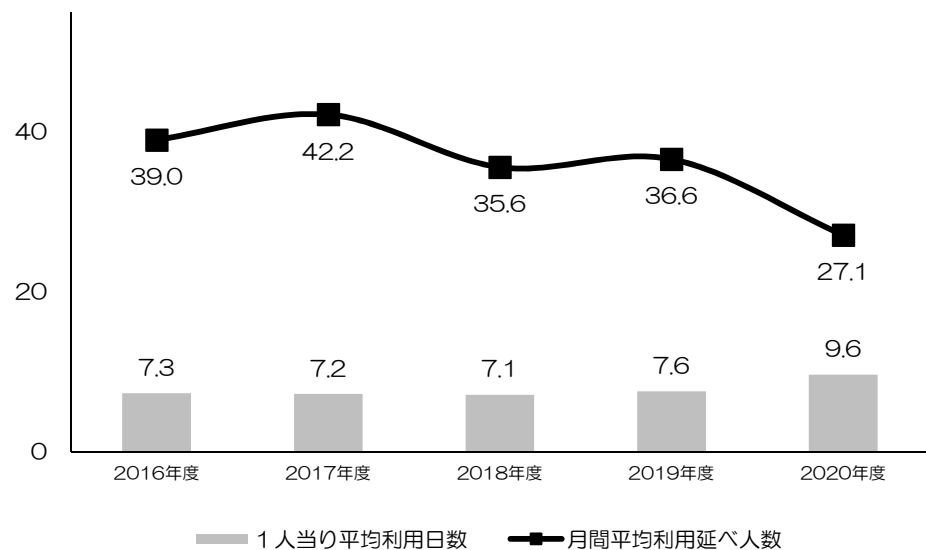
※満床比 = 特養入所者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

※特養入所者用の空床ベッド及び入院ベッドの活用を要する程の稼働率に至らなかった。

※2月以降の数値増加は「短期入所ベッドの本入所転換」により、延べ利用者数は変わらずとも、分母が半減（16床⇒8床）したことによる影響である。

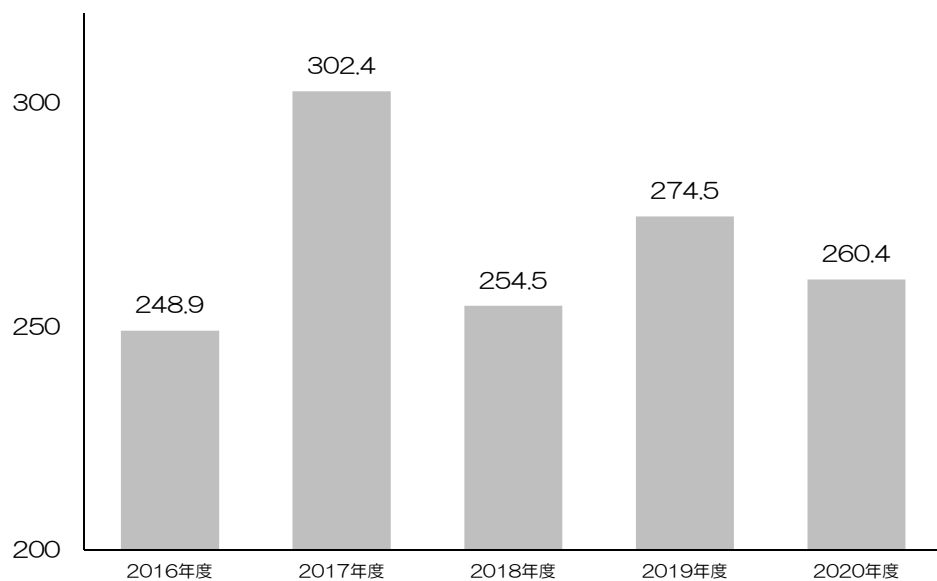
### 3. 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

単位：日

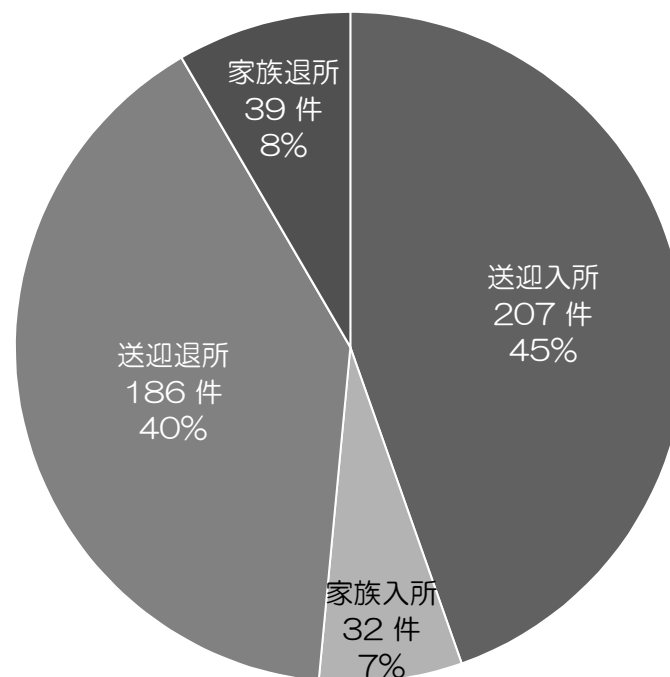


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	13	14	17	25	31	22	22
退所	13	15	18	17	26	17	25
合計	26	29	35	42	57	39	47
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	22	19	17	16	21	239	32
退所	20	18	22	15	19	225	39
合計	42	37	39	31	40	464	71

(入・退所件数の内訳)



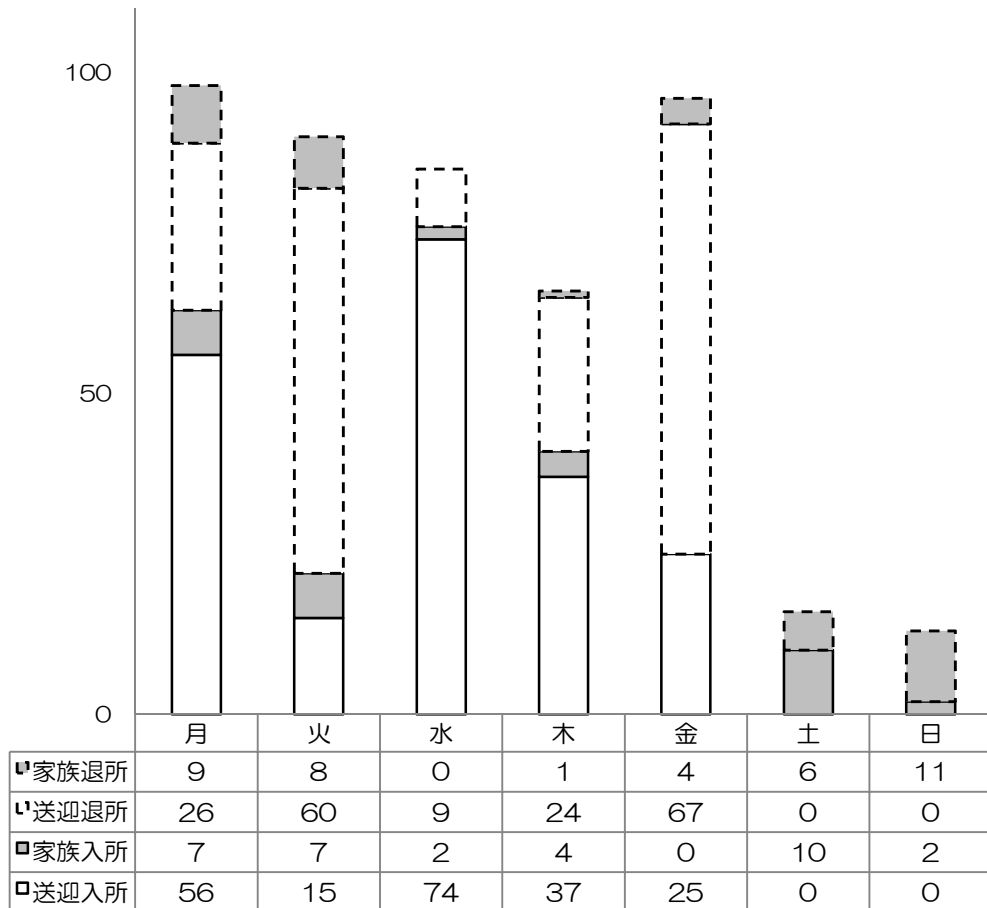
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入所	63	22	76	41	25	10	2
退所	35	68	9	25	71	6	11
合計	98	90	85	66	96	16	13

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

月/曜	月	火	水	木	金	土	日
4月	28	27	31	31	27	25	24
5月	33	32	24	28	38	37	36
6月	40	39	33	36	32	30	30
7月	34	33	35	40	41	31	31
8月	59	46	46	51	51	54	54
9月	45	53	58	47	48	42	42
10月	41	39	42	57	53	44	37
11月	47	35	40	41	41	33	41
12月	39	48	49	52	42	35	35
1月	37	35	36	39	48	41	40
2月	23	23	24	27	26	21	20
3月	30	32	34	29	27	20	20
合計(人)	456	442	452	478	474	413	410
%	14.6	14.1	14.5	15.3	15.2	13.2	13.1
平均(人)	38.0	36.8	37.7	39.8	39.5	34.4	34.2

※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「3125人」に対する比率

2019年までとは違い、平日に利用が集中する傾向に変化してきており、土日の空室が目立つ傾向にある。

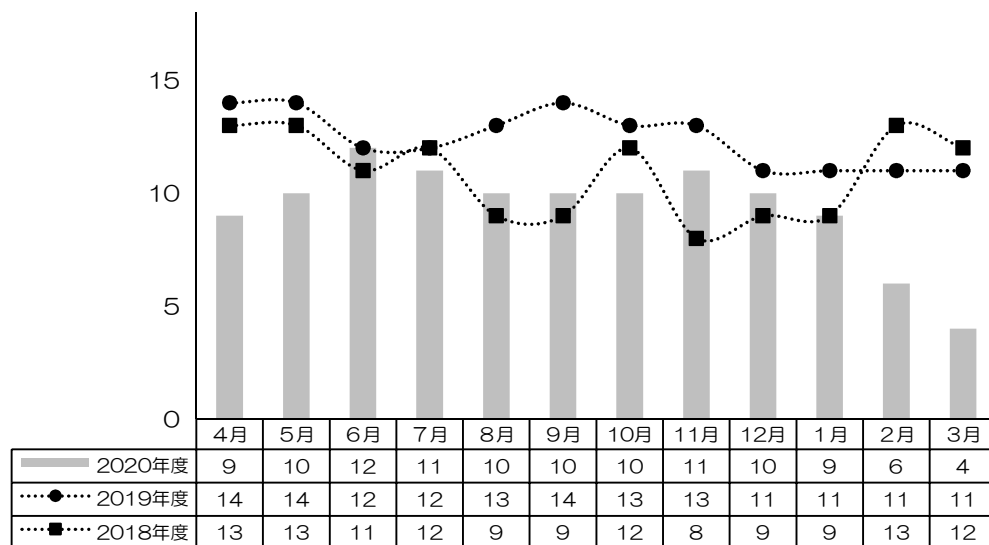
土日の送迎を強化して利用向上に繋げていくべきか、今後、新規利用希望者の希望日程なども確認しながら判断をしていく。



## 4 他事業所との関わり

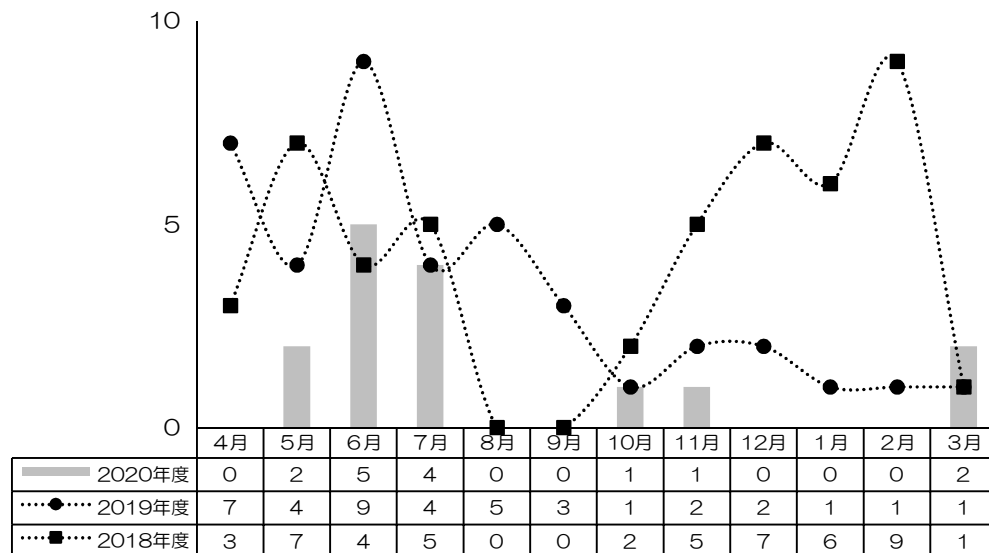
### a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

単位：件



### b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



## 5 苦情

2020年度・・・0件

## 6 事故

2019年度は賠償事故に繋がったケースはない。

受傷事故については、介護士会議やリーダー会議、事故対策委員会等を通して再発防止策の検討/周知徹底を図った。

また、2019年度と同様、新規利用者については情報を的確に把握し、適切なサービス提供が著しく困難と思われる利用者については、関係者との間で状況確認を行ない、適切な対象施設への転院に向け調整していく。

その際、ご家族様の希望があった場合には、入所面談にも立ち会い、円滑に移動が出来るよう対応を行なう。

## 7 情報整理

過去1年以上利用がない方々の契約書及びその他資料を区分け保管。

※再利用時には介護保険制度改定等により「再契約」「再接」とした。



## 施設ケアマネジメント(ピノ)

### ●会議開催日数

通常だと、新規入居者には入居日付より開始の暫定プランを作成し、入居2ヶ月目に本プラン作成のためのケース会議を開催。以降、要介護認定の更新時期に合わせて、基本1年間の長期目標・半年間の短期目標を設定し、年2回ケース会議を開催し、通常の面会時では確認出来ない内容やご家族の希望をお聞きする場としていたが、新型コロナウイルス感染予防により20年度はピノでの会議は開催できず、郵送での確認となった。

退院後や心身状態の急激な低下時・区分変更に伴う要介護度変更時・その他必要時には随時変更プランを作成し、郵送確認をしている。

### ●ケース会議の役割

入居者の日常生活の様子を報告し、現プランの評価を行い、現状の問題・課題は何か、それを解決する為のサービス(目標)はどういったものかを検討し、サービス計画表を作成。ご家族に報告をしている。

郵送での確認ではご家族の御要望や疑問点をきちんと確認する事が難しい為、新型コロナウイルス対策が盤石となり、1日でも早くケース会議を開催出来るようになってもらえればと考える。それまでは現状で出来る事をきちんと実施していくようにする。

会議開催日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ
2020年度	1	0	0	1	1	1	2	0	1	0	0	2	9
2019年度	4	3	4	2	3	3	5	2	3	2	2	2	35
2018年度	6	3	3	2	3	2	5	3	3	2	2	2	36

計画作成回数

単位：人

	暫定	初回	2回目	3回目	4回以上	延べ
2020年度	9	8	7	5	39	68
2019年度	5	5	4	5	40	59
2018年度	0	6	8	3	38	55

対象者数

単位：人

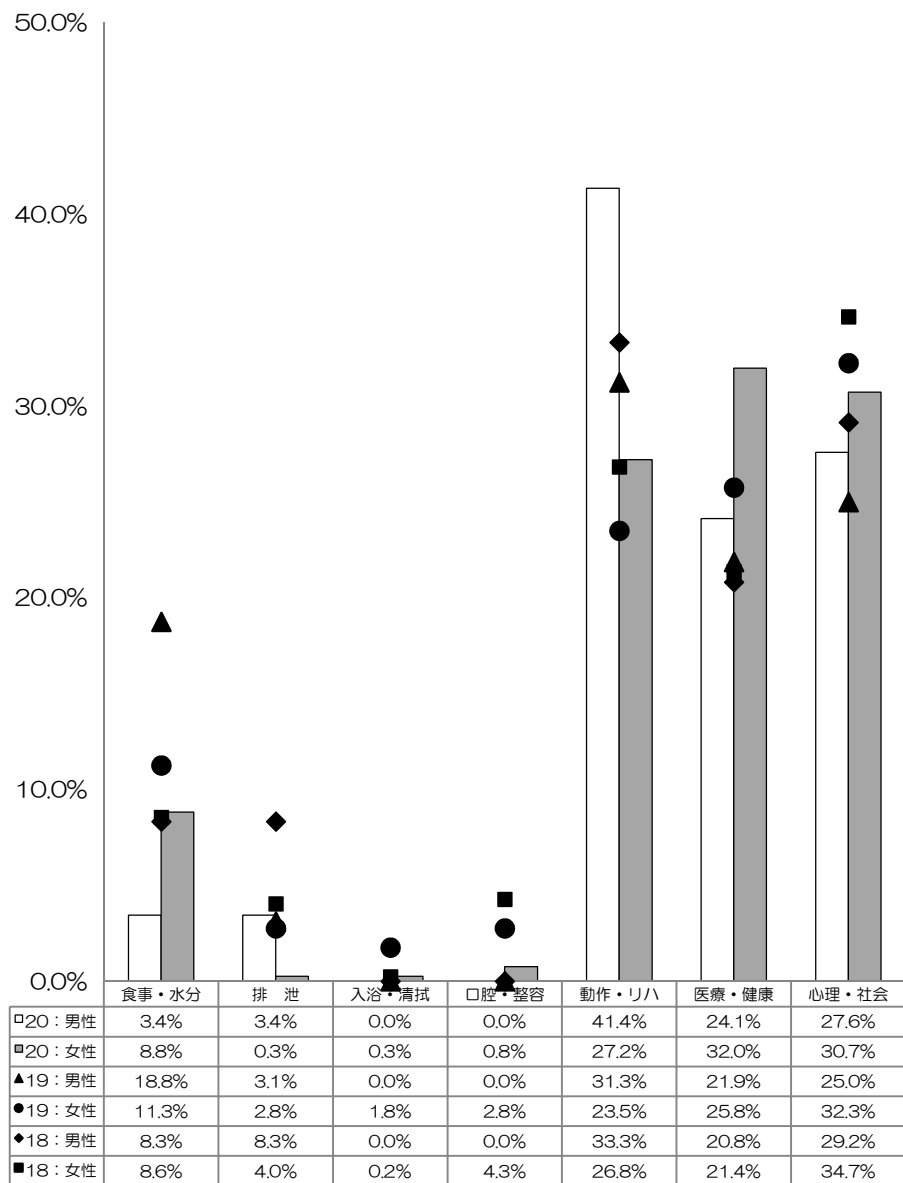
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
2020年度	14	2	4	4	4	4	13	4	5	3	4	7	68	5.6
2019年度	10	4	5	2	5	3	10	4	6	2	5	3	59	4.9
2018年度	8	4	5	3	5	3	9	4	3	3	5	3	55	4.6

家族(含：後見人等)出席率(同意書返信率)

単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	100	100	100	100	100	100	92	100	100	100	100	100	99
2019年度	100	100	100	100	100	100	78	100	100	100	100	100	96
2018年度	88	100	100	100	100	100	89	100	100	100	100	100	96

項目別ケアプラン立案傾向（男女別 / 割合）



### ●ケアプラン立案傾向

24時間シート、個別アセスメントシートを居室担当介護士が作成し、ユニットにて最終チェックを行ない、ケアマネジャーにてケアプランを作成。当施設における課題分析・計画立案状況から入居者像を見出してみる。

※実数値はひとりあたり複数回答が存在するために省略。

※項目別の立案件数を、各年度の延べ対象者数で割ったものを%表示。

「動作・リハ」「医療・健康」「心理・社会」の項目に課題が継続して多く見られている。認知症が進行した入居者が増え精神面の安定が求められること、健康状態の確認機会の増大、身体機能低下も一層進んでおり、新規入居者も同様の課題を抱えている事が多い為、この3点に集中したと考えられる。

入居者一人ひとりに向かい合うことで、その方の心の苦しみや、これまでと同じ様に身体を動かせない辛さ、そこに付随するリスク管理を含めると、上位3点の項目が課題解決に向かう入居者のニーズとなり、家族の希望にも繋がっている結果だと思われる。

ただし、その他の優先順位の高いニーズを見逃してしまっていないかを注意をする必要があり、各入居者の生活状況を把握し、他項目の「排泄」「口腔・整容」「食事・水分」「入浴・清拭」の部分での課題を見逃さないアセスメント力をつけていけるようにしていきたい。

また、個人のこだわりや生活習慣に添ったケアプランの作成も出来るよう取り組んでいきたい。

今後もより深く入居者の課題を見つける為に、モニタリング・ケアチェックを実施し、ケアプランに反映していくようにする。

# C Home ommunity

## コミュニティホームピノ

入居者の加齢に伴う心身状況の低下は顕著であり、入居者の入れ替わりも頻繁になっている。また、新規入居者も入居当初から全介助が必要な身体状況の方が多くなっている。

2020年度の退居者9名のうち5名はピノで看取り、2名はモモへ転居、入院から療養型病院への転院が1名、入院中にご逝去された方が1名であった。モモへ転居された方は、ピノよりも利用料金が安いモモを希望されたものであった。

待機者については、年度当初は12名、年度末の段階で10名であるが、年度を通して即時入居を希望される方が多く、ピノの体制上お声掛けが可能な方は少ない状況であった。

2020年度の入居者10名のうち、ショートステイからの入居者は5名。その他の5名は他施設・病院からの入居で、ほぼ全介助の身体状況であった。

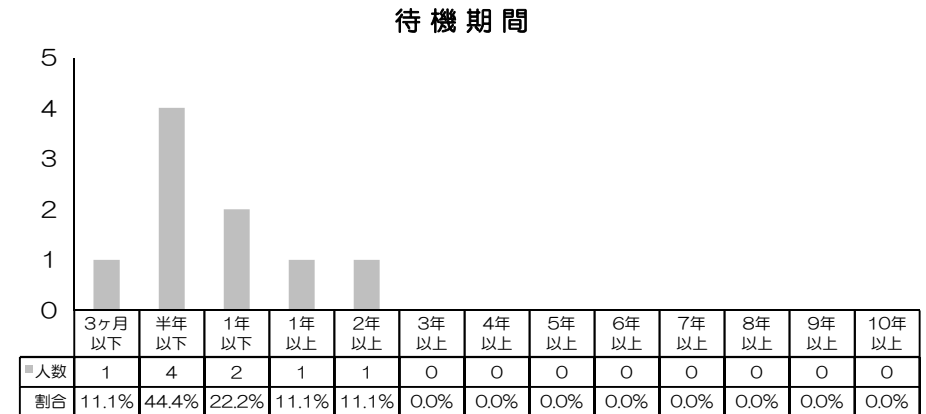
行事については、人員体制の不足と新型コロナウイルス感染症の影響でほぼ実施出来ておらず、入居者の生活のマンネリ化が懸念される。

2020年度も集合研修が難しい状況である事と、派遣職員が大半を占めている事もあり、職員研修や勉強会は開催出来ず、介護の質の向上に繋がっていない。個別ケアの質向上のために今後も課題である。

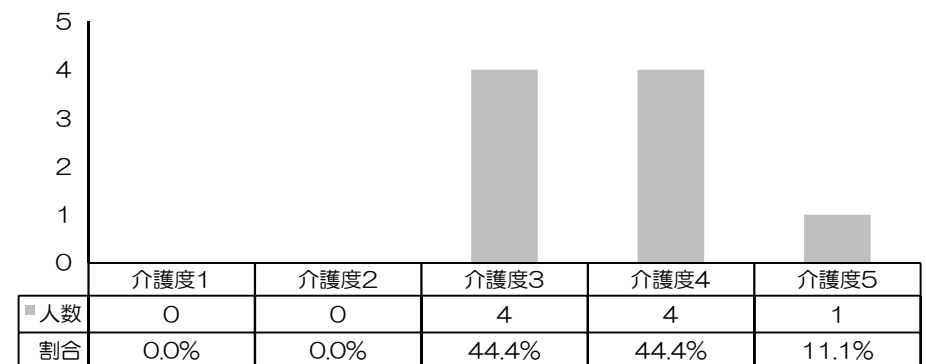
新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、入居者本位のサービス提供が出来る様にしていきたい。

## 1. 入居待機状況

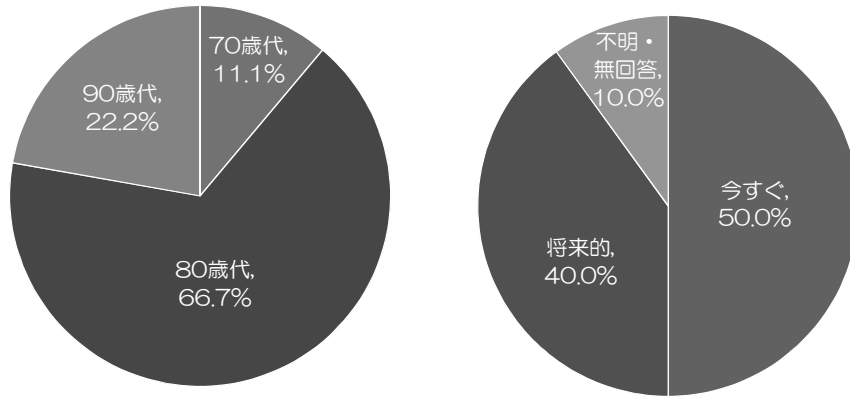
### a. 地域別・待機期間別待機者



### b. 待機者介護度（除：要支援移行・期限切）



c. 待機者年齢・入居希望時期



入居希望時期 介護度別構成

単位：人

	要介護3	要介護4	要介護5	合計
今すぐ入居したい	2	3	1	6
半年先ぐらいには入居したい	0	0	0	0
1年先ぐらいには入居したい	0	0	0	0
将来的に必要な時に入居したい	3	1	0	4
不明・無回答	0	0	0	0
合計	5	4	1	10

2. 入居者の現況

(2020年度実績者延べ：36名)

a. 年齢構成・地域別構成



●年齢構成

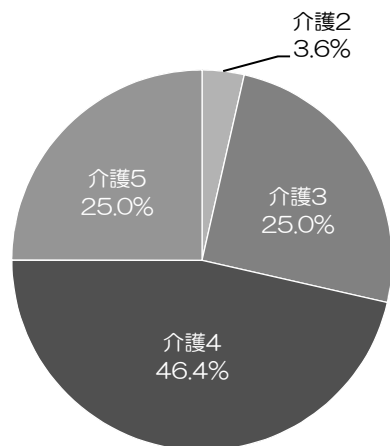
単位：人（延べ）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
女性	0 (0)	0 (0)	3 (3)	18 (17)	13 (11)	0 (1)	34 (32)
全体	0 (0)	0 (0)	4 (4)	19 (18)	13 (11)	0 (1)	36 (34)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	84歳 (83歳)	77歳 (76歳)	80歳 (79歳)
女性	97歳 (102歳)	76歳 (75歳)	88歳 (86歳)
全体	97歳 (102歳)	76歳 (75歳)	87歳 (85歳)

※ ( ) 内は前年度数値

b. 介護度別構成



平均介護度は4.02で年と同等。  
更新認定で要介護2になられた方が1名おられるが、制度変更前に入居の方なので継続して生活して頂いている。

全体

単位：人（延べ）※（ ）内は前年度数値

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0	1	0	1	0	3.00 (3.00)
女性	0	0	8	15	11	4.08 (4.09)
合計	0	1	8	16	11	4.02 (4.02)

E2ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	1	0	4.0	1
女性	0	0	4	5	2	3.8	11
合計	0	0	4	6	2	3.8	12

E3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	1	0	0	0	2.0	1
女性	0	0	3	3	4	4.1	10
合計	0	1	3	3	4	3.9	11

W3ユニット

単位：人（延べ）

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均	合計
男性	0	0	0	0	0	0.0	0
女性	0	0	1	6	6	4.3	13
合計	0	0	1	6	6	4.3	13

c. 身体障害手帳

単位：人（延べ）

	重度		中度		軽度		合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男性	0	1	0	0	0	0	1
	3	2	0	0	0	0	5
合計	3	3	0	0	0	0	6

内訳	肢体不自由	心臓機能障害	言語障害	視覚障害	聴覚障害	合計
	2	3	0	1	0	

d. 健康保険

単位：人（延べ）

後期高齢者医療	国保	健保	生活保護	合計
		被扶養者	医療扶助	
36	0	0	0	36

e. 介護保険負担限度額認定

単位：人（延べ）

第一段階	第二段階	第三段階	第四段階	合計
0	.3	14	19	36

### 3. 入居者の生活状況

2020年度の新規入居者数は10名であったが、退居者も9名出てしまった。

2020年12月8日に満床となったが、2021年1月17日に退居者が出てしまい、続けて2名の退居者が出てしまい空床数が増えてしまった。入居後10日で入院・ご逝去されてしまった方もいた。

介護度が低くても長期の入居が見込まれる方の確保をしていきたいが、条件に合う方の申し込みが少なく難しい。今後もショートステイや支援事業所との連携に力を入れ、満床に向けて取り組んでいく。

現状も身体機能の低下が著しく見られる方が数名おり、近々に退居される方も出てくると思われる。入居可能な方を探し、出来るだけ迅速な対応をして、稼働率の向上を図りたい。

#### a. 入退居状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	0	0	2	1	1	1	2	0	1	0	0	2	10
退居	0	2	0	1	2	0	1	0	0	1	1	1	9

※退居理由：看 取 り / 5名  
 特 養 モ モ 転 居 / 2名  
 療 養 型 医 療 施 設 転 院 / 1名  
 入 院 中 逝 去 / 1名

#### b. 看取り

単位：人

件数	年齢	性別	介護	在園日数	呼吸停止発見 (時刻)	死亡診断 (時刻)	ご遺体搬送 (時刻)	曜日 昼夜
1	89	女	5	1337日	2020. 5. 1 (21:20)	2020. 5. 1 (22:06)	2020. 5. 1 (22:50)	金 夜間
2	92	女	5	2597日	2020. 5.15 ( 0:40)	2020. 5.15 ( 1:19)	2019.12.17 ( 1:50)	木 夜間
3	98	女	4	34日	2020. 8.17 ( 9:00)	2020. 8.17 (10: 5)	2020. 8.17 (11:15)	月 日中
4	85	女	4	289日	2020.10.26 ( 0:00)	2020.10.26 ( 0:57)	2020.10.26 ( 1:30)	月 夜間
5	85	女	5	1788日	2021. 1.17 (23:46)	2021. 1.18 ( 0:39)	2021. 1.18 ( 1:30)	月 夜間

看取り対応は開始2年目となった。

対象者5名のうち夜間の呼吸停止発見が4件あったが、宿直者とも円滑に連携・協働できた。

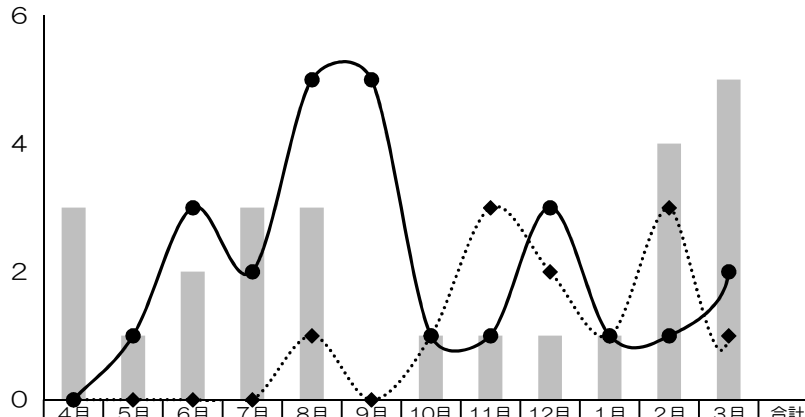
家族をはじめとした全関係者の協力もあり、呼吸停止発見からご遺体搬送までは滞りなく対応出来ている。

新規入所契約時に延命の希望について家族等に確認をとるが、殆どの方が延命対応ではなく看取りを希望されている。

2021年3月31日現在で、嘱託医・施設と看取りに対する同意書を交わしている入居者は、28名のうち14名となっている。

c. 入院状況

単位：人



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
■ 2020年度	3	1	2	3	3	0	1	1	1	1	4	5	25
● 2019年度	0	1	3	2	5	5	1	1	3	1	1	2	25
◆ 2018年度	0	0	0	0	1	0	1	3	2	1	3	1	12

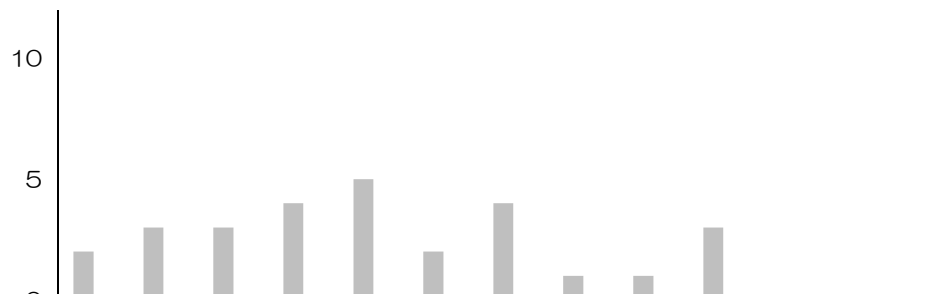
※2020年度延べ入院者日数 516日

入院延べ人数は増加しているが、1名は2020年9月25日より入院され、2021年4月24日の退院となった。また、2021年3月には同時に3名が長期入院をされる事になり、空床の増加となってしまった。

施設で看取りが出来るようになった為、入院をせずに施設で最期をお迎えになる方も4名おり、年度内入院日数の減少にもつながった。

d. 入居期間

単位：人



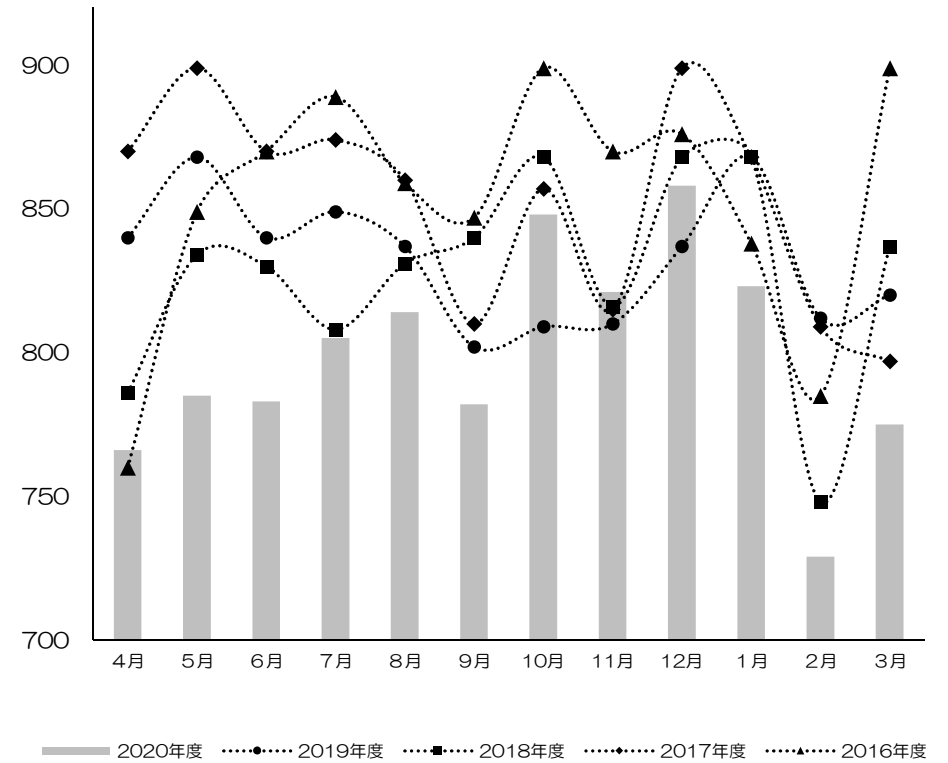
	3ヶ月以下	半年以下	1年以下	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上
■人数	2	3	3	4	5	2	4	1	1	3	0	0	0
割合	7.1%	10.7%	10.7%	14.3%	17.9%	7.1%	14.3%	3.6%	3.6%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%

e. 在籍状況（入院・外泊を含む）

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年度	766	785	783	805	814	782	848
2019年度	840	868	840	849	837	802	809
2018年度	786	834	830	808	831	840	868
年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2020年度	821	858	823	729	775	9589	95.9
2019年度	810	837	868	812	820	9992	100.6
2018年度	816	868	868	748	837	9934	97.1

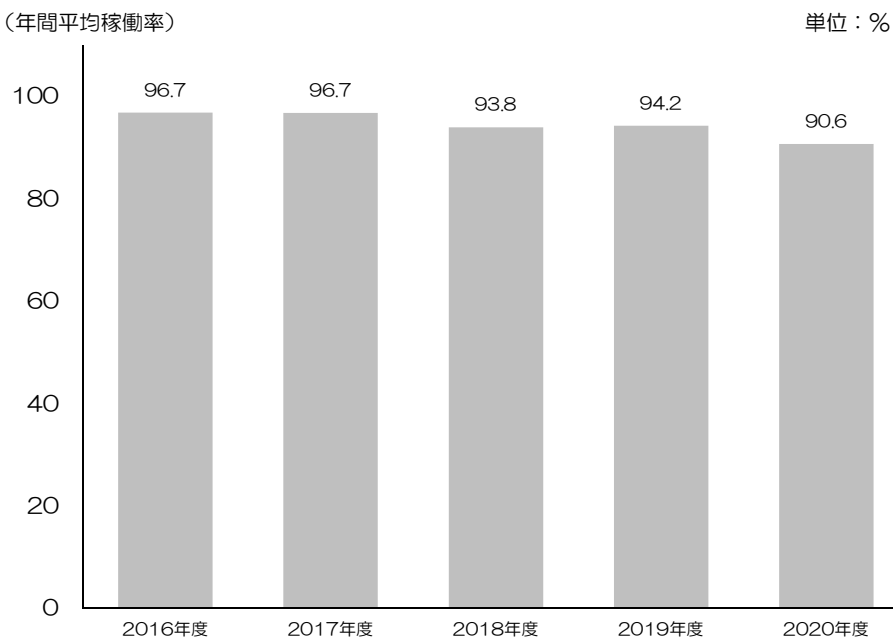
単位：人



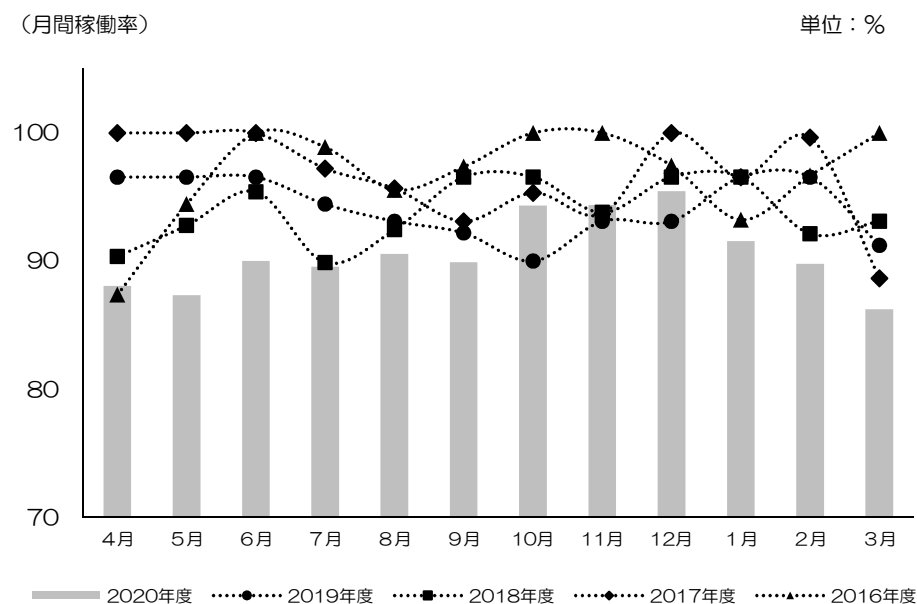


### f. 稼働率比較（入院・外泊を除く）

（年間平均稼働率）



（月間稼働率）



### g. 認知症の状況

単位：人

HDS-R得点	正常範囲		準認知症		認知症			合計
	30~26点	25~21点	20~16点	15~11点	10~6点	5~0点	不能・未検査	
6月	1	2	0	3	3	4	0	25
12月	1	1	1	2	4	18	0	27

### h. 日常生活動作状況

単位：人

項目	状態及び人数					
	普通/不明	弱視	全盲	普通	やや難聴	難聴
視力	35	1	0	普通	やや難聴	難聴
聴力	28	4	4	普通	やや不自由	不自由
言語	17	3	16	普通	多少困難	困難
意思疎通	11	7	18	自立	一部介助	全介助
食事	14	11	11	自立	一部介助	全介助
入浴	0	16	20	自立	一部介助	全介助
着脱衣	3	13	20	自立	一部介助	全介助
排泄	6	9	21	自立	一部介助	全介助
オムツ等	なし	20	13	なし	パット等	オムツ
移動	6	7	23	自立	一部介助	車椅子

※パット・オムツ併用者あり

### i. 外出・外泊の状況

単位：人

来訪回数	0~10回	11~20回	21~30回	31~40回	41~50回	51~60回	61回以上
		22	0	0	1	0	2

外泊	年末年始	0	その他	0	合計	0
外出	年末年始	0	その他	0	合計	0

※外出は届出のあったものに限る。

j. 月例行事催行状況

種 別	実 施 頻 度	行 事 内 容
誕生会	誕生月（ユニット毎）	当月の誕生者（SS含む）を祝福、
レクリエーション	毎日	体操・散歩 など
理髪室	月1回（第2月曜）	利用希望者（散髪）
外出	自粛中	季節の花などを見に行く

k. クラブ活動（月例）

種 別	実 施 頻 度	実 施 場 所
なし		

l. 会 議（定例/含：職員向け）

種 別	開 催 頻 度	検 討 内 容
ユニット課会議	月1回（第2木曜日）	ユニット課全体の業務方針、改善の検討
ユニットリーダー会議	月1回（第2木曜日）	介護・看護・栄養・SS各部署間の連絡
各ユニット会議	各ユニット月1回	各ユニット入居者の状態把握・業務改善
給食会議	月1回（第2木曜日）	食ごとにまつわる事項の検討
事故対策委員会	月1回（第2木曜日）	発生した事故の分析や事故防止の検討
拘束検討委員会	月1回（第2木曜日）	拘束状況代替策や改善の検討
ケース会議	年2回/一人 基本 状況変化時は随時	利用者の現況分析・ケア目標や計画検討
感染症対策委員会	1回/3ヶ月 （第2金曜日）	流行性感染症/一般感染症についての対策・予防等の検討
褥瘡対策委員会	1回/6ヶ月 （第2金曜日）	褥瘡への対策・予防の検討
食中毒対策委員会	1回/3ヶ月 （第2金曜日）	食中毒への対策・予防の検討

m. 苦 情

2020年度----- 0件

n. 運営推進会議

地域密着型サービスとして、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、地域の包括支援センター等に対して、提供しているサービス内容等を明らかにすることを目的として、地域に開かれたサービスにしていくことでサービスの質の確保を図るため設置。

2020年度：5回開催（5月・7月・9月・11月・1月）

※新型コロナウイルス感染症予防の為、外部委員を招いての会議は見送り、内部委員で作成した運営状況報告（議事録）を紙面にて郵送報告するのみに留めた。

o. 年間行事/その他予定（入居者の生活に直接関わるもの）

開催日	行 事	内 容
10/5	健康診断	利用者の定期健康診断

※新型コロナウイルス感染症予防の為、レク行事については全面中止とした。

#### 4. 医務室

##### a. 疾患状況

単位：人(延べ)

疾患名	人数	疾患名	人数
心疾患	7 ( 5 )	歯科疾患	24 (27)
消化器疾患	2 ( 5 )	ガン疾患	9 ( 0 )
脳神経疾患	5 ( 3 )	糖尿病	3 ( 2 )
精神科疾患	3 ( 4 )	高血圧症	12 (13)
整形外科疾患	18 (12)	慢性間接リュウマチ	2 ( 1 )
腎機能疾患	1 ( 1 )	ホルモン疾患	2 ( 1 )
肝機能疾患	0 ( 0 )	老人性認知症	13 (16)
脳血管障害	10 ( 9 )	泌尿器科疾患	3 ( 4 )
呼吸器疾患	1 ( 1 )	皮膚科疾患	2 ( 1 )

※ ( ) 内は前年度数値

##### b. 看護処置

単位：人(延べ)

処置内容	人数
創処置	2 (15)
軟膏塗布	20 (29)
点眼	3 ( 6 )
坐薬挿入	14 (20)
湿布	1 ( 2 )
フランドルテープ	1 ( 1 )
吸入	0 ( 1 )
フットバス	0 ( 1 )

※ ( ) 内は前年度数値

##### c. 服薬管理

単位：人(延べ)

時間帯	人数
朝食時	24 (29)
昼食時	13 (19)
夜食時	17 (28)
就寝前	4 ( 5 )
便秘時	26 (29)

※ ( ) 内は前年度数値

##### d. 認知症行動障害

単位：人(延べ)

状態	人数	状態	人数
自傷行為	0 ( 0 )	人物誤認	0 ( 0 )
夜間せん妄	1 ( 0 )	作話	0 ( 1 )
興奮・奇声	3 ( 0 )	摂食異常	0 ( 0 )
徘徊	1 ( 2 )	盗癖・収集癖	0 ( 0 )
攻撃的行為	0 ( 1 )	被害妄想	0 ( 0 )
不潔行為	2 ( 2 )	躁鬱状態	1 ( 1 )

※ ( ) 内は前年度数値

##### e. インフルエンザ 予防接種

単位：人

入居者数	接種数
28	28

##### f. 医療管理者

単位：人(退居者含)

処置内容	人数
胃瘻(造設者含む)	2 ( 0 )
経鼻栄養	0 ( 0 )
留置カテーテル	3 ( 0 )
膀胱瘻	0 ( 0 )
喀痰吸引	1 ( 1 )
褥瘡	3 ( 1 )

※ ( ) 内は前年度数値

##### g. 定期診察

提携医	精神科医	歯科医
第1・3木曜日	第1・3月曜日	毎週木曜日

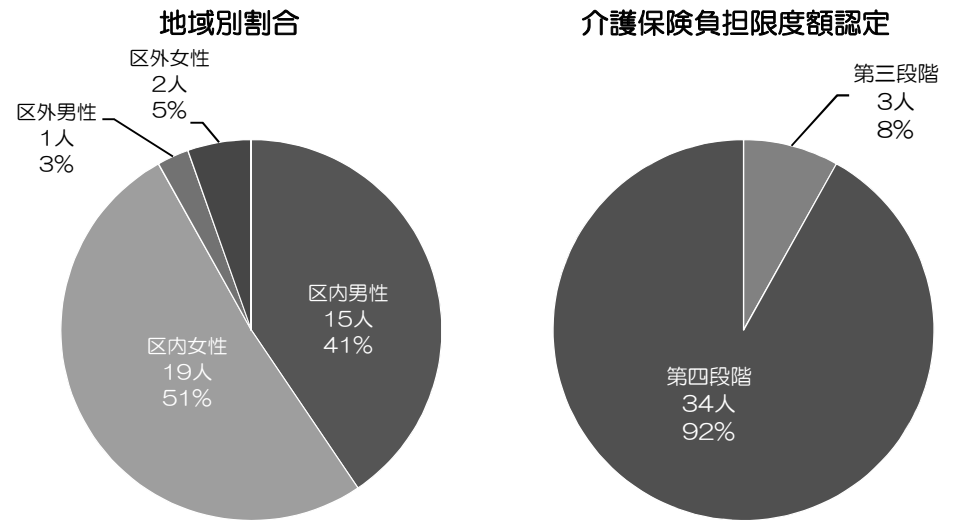
# S Stay hort-term

## ショートステイピノ

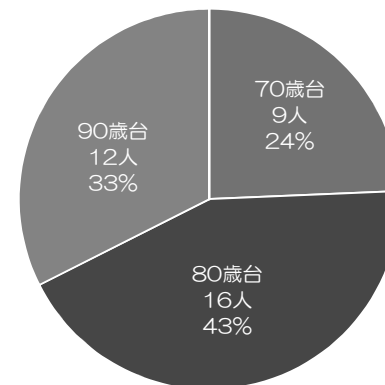
2020年度の年間稼働率は72.2%と2019年度の64.6%を上回る稼働率となった。4月～6月にかけて稼働率が低迷している原因としては新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、新規の受入れを一時休止した事と利用者または家族が自主的に利用を控えた為と思われる。

その影響が落ち着いた7月以降の平均稼働率は79.0%となっており、新規契約者数は前年度（48件）よりも少ない（17件）ものの、長期利用希望者をほぼ切れ目なく受け入れ続けた事や、リピーターの利用日数増加があり稼働率が上昇した。

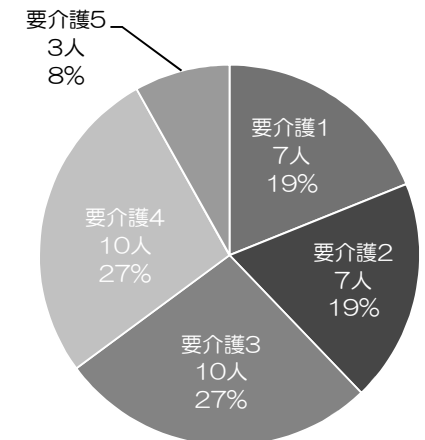
### 1. 利用者プロフィール（年度内実績者 37名の内訳） ※2021.03.31 現在



#### 年齢別構成



#### 要介護度別構成



年齢構成：【最高齢：99歳（女性） / 最年少：74歳（男性）】

施設部関連 / 特養本入居移行（4人）

在宅部関連 / ピノデイ併用（4人）・居宅モモ担当（延：4人）・居宅ナナ担当（延：11人）

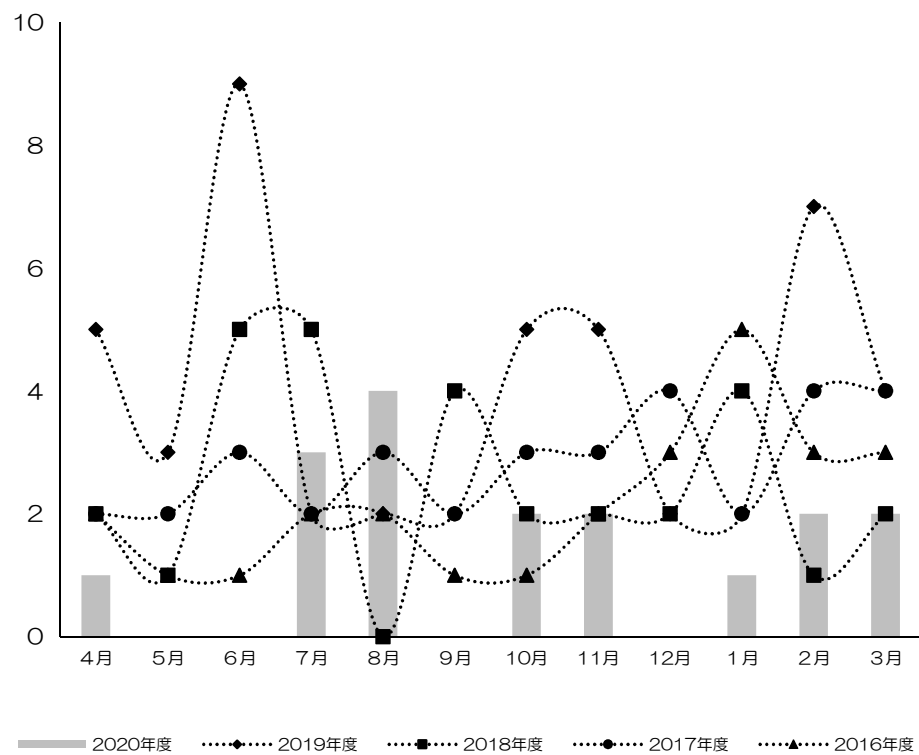
## 2. 年間の利用状況

### a. 契約数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	0	0	1	3	0	1	2	0	1	0	1	10
女	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	1	7
合計	1	0	0	3	4	0	2	2	0	1	2	2	17
前年	5	3	9	2	2	2	5	5	2	2	7	4	48

単位：件



### b. 稼働状況

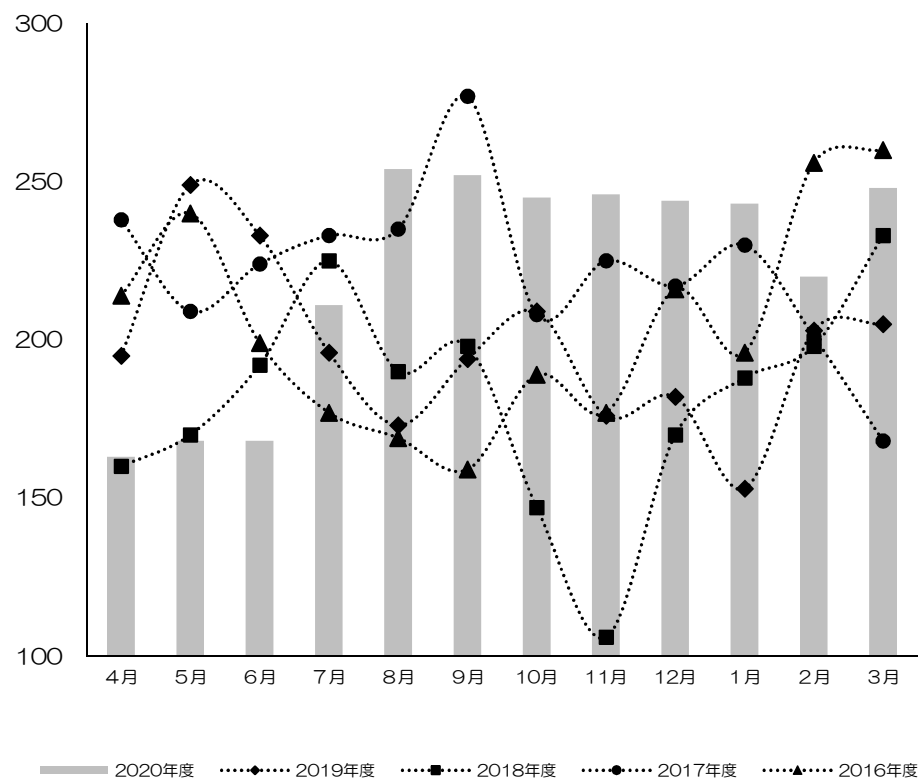
単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2020年度	163	168	168	211	254	252	245
2019年度	195	249	233	196	173	194	209
2018年度	160	170	192	225	190	198	147

年度	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比%
2020年度	246	244	243	220	248	2662	112%
2019年度	176	182	153	203	205	2368	109%
2018年度	106	170	188	198	233	2177	82%

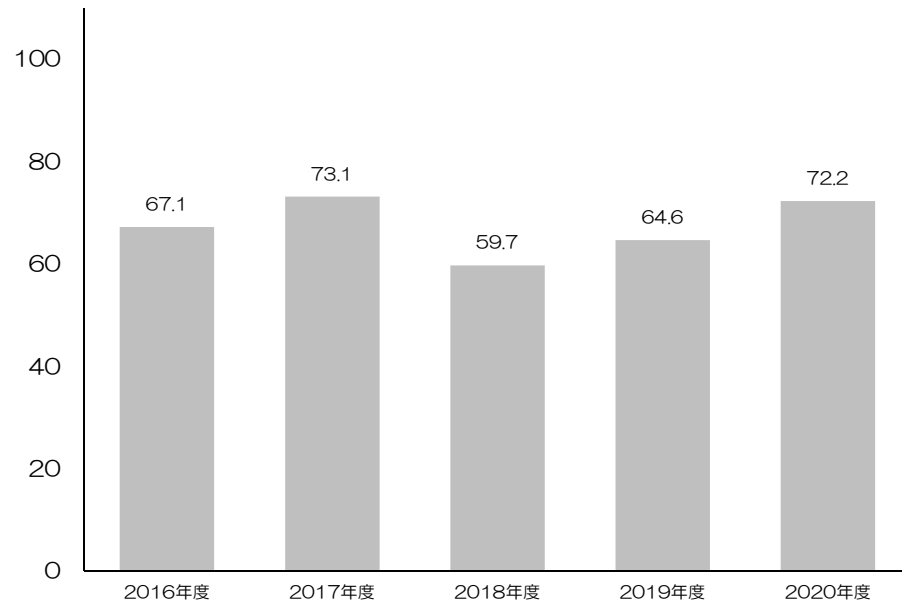
単位：人



### c. 稼働率比較

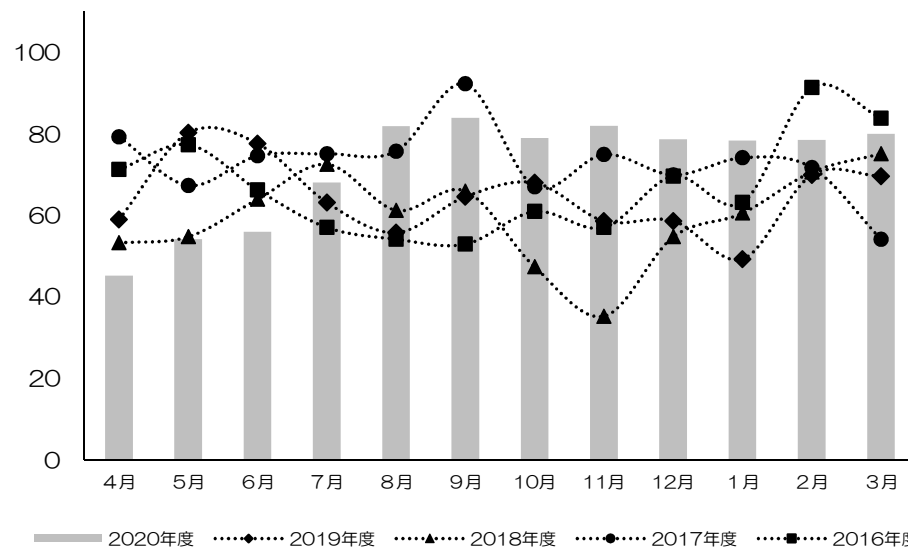
(年間平均稼働率)

単位：%



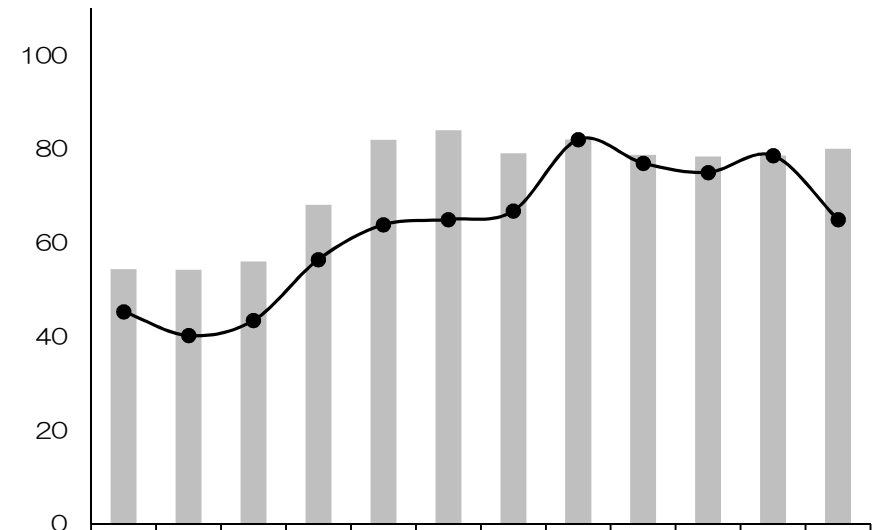
(月間稼働率)

単位：%



(定員比 / 満床比の比較)

単位：%



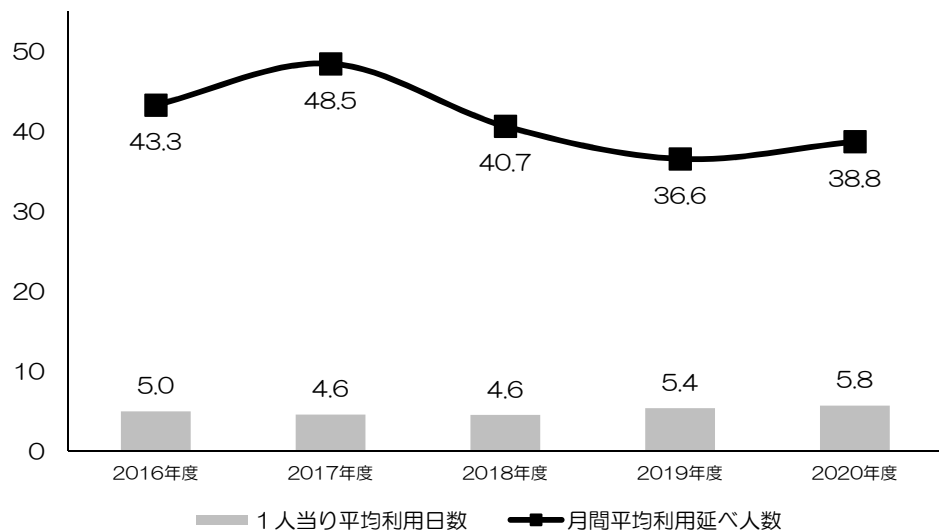
定員比 %	54.3	54.2	56.0	68.1	81.9	84.0	79.0	82.0	78.7	78.4	78.6	80.0
満床比 %	45.3	40.2	43.4	56.4	63.8	64.9	66.8	82.0	77.0	75.0	78.6	64.9
定員床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310
利用可床数	360	418	387	374	398	388	367	300	317	324	280	382

※満床比 = 特養入居者用の空床ベッドも含めた「利用可能床数」に対する比率

※特養入居者用の空床ベッド及び入院ベッドの活用を要する程の稼働率に至らなかった。

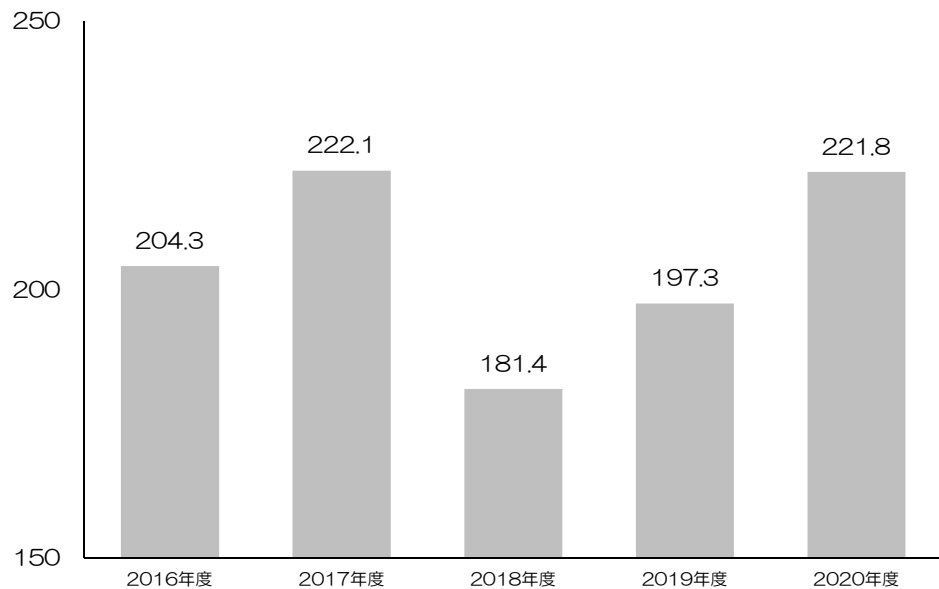
### 3 利用者の傾向

a. 一人当たりの平均利用日数&月間平均延べ利用人数



b. 月間平均延利用日数

単位：日

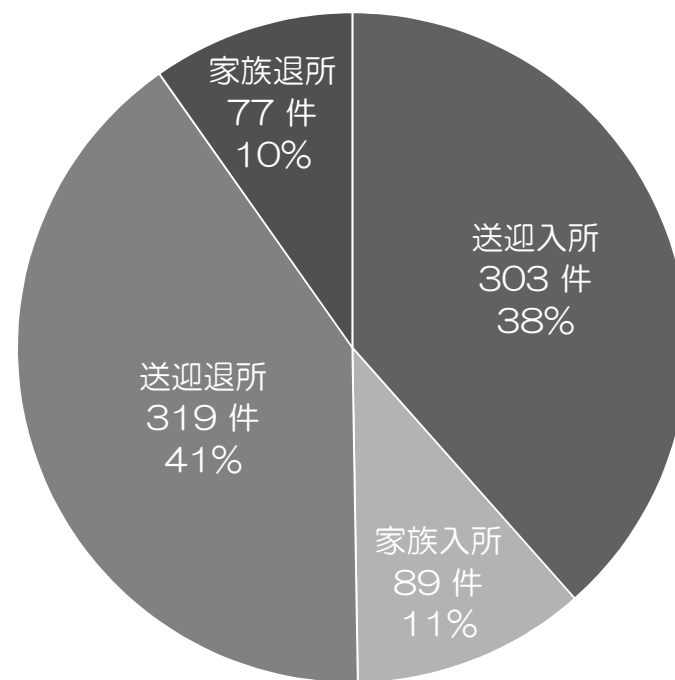


c. 月毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	21	25	24	34	35	34	36
退所	28	26	20	31	34	33	32
合計	49	51	44	65	69	67	68
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内：家族
入所	40	35	32	38	38	392	89
退所	41	37	37	35	42	396	77
合計	81	72	69	73	80	788	166

(入・退居件数の内訳)



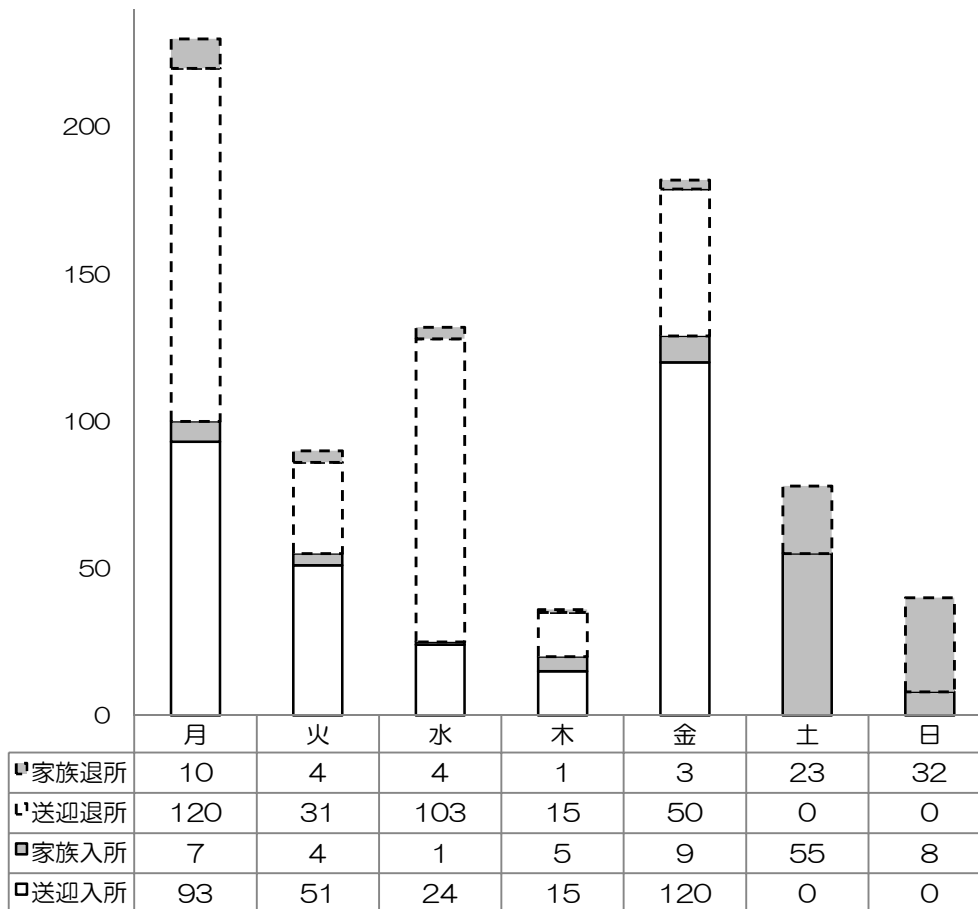
d. 曜日毎の入・退所件数及び送迎状況

単位：件

	月	火	水	木	金	土	日
入居	100	55	25	20	129	55	8
退居	130	35	107	16	53	23	32
合計	230	90	132	36	182	78	40

(入・退所件数の内訳)

単位：件



e. 曜日毎の利用状況

単位：人

	月	火	水	木	金	土	日
4月	29	20	28	17	22	24	23
5月	29	21	21	14	25	30	28
6月	34	25	21	14	25	27	22
7月	33	28	31	28	36	29	26
8月	48	33	35	26	33	39	40
9月	40	42	41	26	33	35	35
10月	36	32	30	30	45	41	31
11月	45	33	33	25	37	33	40
12月	38	39	38	30	32	34	33
1月	37	34	31	25	42	37	37
2月	35	32	32	25	32	32	32
3月	46	37	35	25	34	37	34
合計(人)	450	376	376	285	396	398	381
%	16.9	14.1	14.1	10.7	14.9	15.0	14.3
平均(人)	37.5	31.3	31.3	23.8	33.0	33.2	31.8

※ 割合(%) = 年度延べ利用人数「2662人」に対する比率

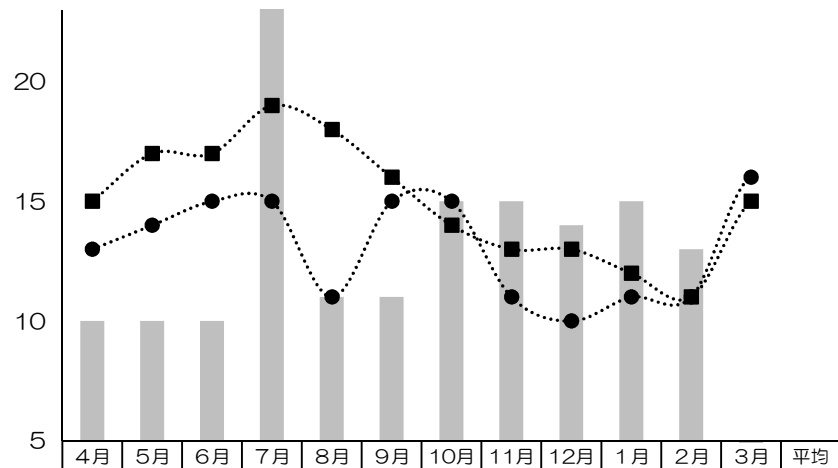
金曜日～月曜日での利用をされるご利用者が多く火曜日～木曜日での利用人数が低い状態は前年度と変わらず。



## 4 他事業所との関わり

### a. 利用事業所件数（居宅モモ・ナナ除く）

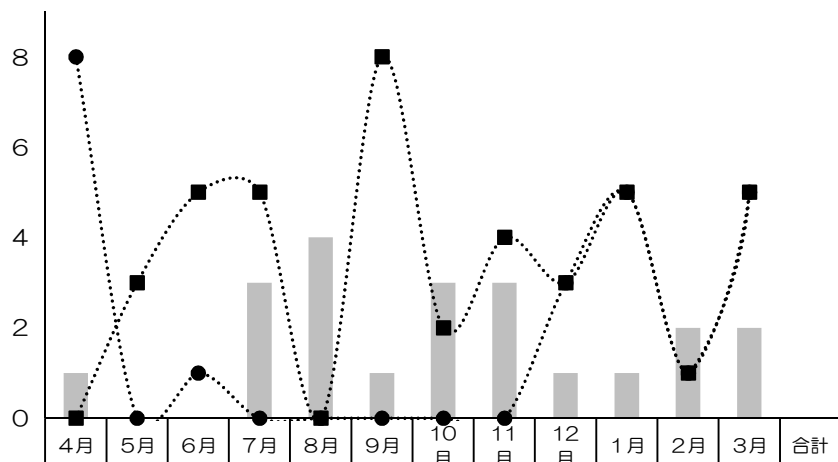
単位：件



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	10	10	10	38	11	11	15	15	14	15	13	2	13.7
2019年度	13	14	15	15	11	15	15	11	10	11	11	16	13.1
2018年度	15	17	17	19	18	16	14	13	13	12	11	15	15.0

### b. サービス担当者会議出席件数（居宅モモ・ナナ含む）

単位：件



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	1	0	0	3	4	1	3	3	1	1	2	2	21
2019年度	8	0	1	0	0	0	0	0	3	5	1	5	23
2018年度	0	3	5	5	0	8	2	4	3	5	1	5	41

## 5 苦情

2020年度・・・0件

## 6 事故

年間を通して転倒などの事故は27件。

その内、病院に救急搬送を行なった事故は0件であったが、事故件数が2年続けて前年度より増加している。

リピーターのADL低下が見られており、転倒リスクが徐々にではあるが高くなってきている状況で、職員の注意で回避できた事故も多かった。

環境整備の見直し、使用居室の最適化、徘徊者への対応再検討等に加え、それら情報の職員間共有および二重確認等により、2021年度は一層の事故防止に努めていかなければならない。

# Care House

ケアハウスモモ

今年度は新型コロナウイルス感染症により、生活が一変した年となった。

入居者には、感染症リスクを考えた行動を意識して頂くように掲示物での注意喚起や、日常の感染症対策や不要不急の外出自粛、面会者制限等を行なった。また、カシオペア祭やバスハイクなどのイベントが中止となった。

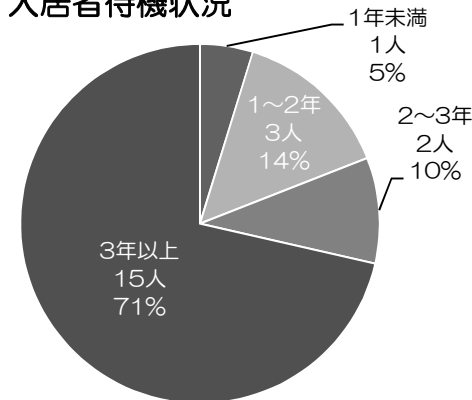
入退居に関しては、2020年11月に二人部屋のご夫婦が退所されたが、翌12月には新たにご夫婦が入居され、満室は維持できた。

退居ご夫婦の理由は、持病により夫の転倒等が増え安全な自立生活が困難になった事が原因で、特養入所まで外部ショートステイを利用される事となり、奥様は家族宅で同居する事となったからである。

8月以降には3名が持病の治療で入院され、うち2名は退院後すぐにケアハウスでの生活に戻ることができた。しかし、1名は退院後に自立生活が困難な状況となり、ショートステイピノを利用しながら、ケアハウスに戻るために訪問マッサージでのリハビリをされている。

事故報告件数は23件で、前年(15件)よりも増加。そのうち11件は退居者の転倒事故となる。救急搬送は3件あり、1名は暫く入院治療となったが、無事にケアハウスに戻る事ができた。自力移動時の転倒が事故総数の多くを占めており、自粛生活により日々の活動量や家族・友人との交流機会が減っているため、体力を維持していくための情報発信や精神的な面でのサポートをしていくことが重要となる。

## 1. 入居者待機状況



待機者数：21名  
男性：8名  
女性：13名

地域別待機者数  
市内：12名  
市外：9名

2020年度は2名の入居と2名の退居があり、年間延べ人数192名(100.0%)の在籍となった。

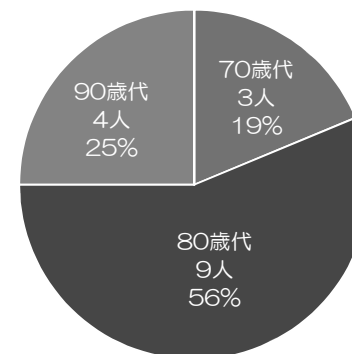
平均在籍年数は6年1ヶ月で、最長は19年8ヶ月の在籍である。

待機者については、個室希望者が17名、二人部屋が4名(2組)となり平均待機年数は4年9ヶ月という状況である。

2020年度の申込者は、個別希望者が1名、二人部屋が2名(1組)となる。二人部屋は途中で1名が退所すると住み続ける事が難しくなるため、夫婦でも単身部屋希望する方が多く、待機者の確保が課題となる。

## 2. 入居者の状況

### a. 年齢構成

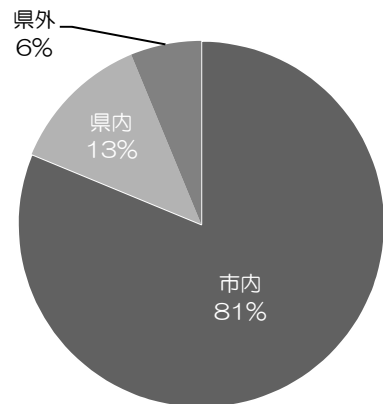


平均年齢：86.2歳  
男：86.7歳  
女：85.9歳  
最高年齢：97歳  
最小年齢：73歳

b. 入退居状況

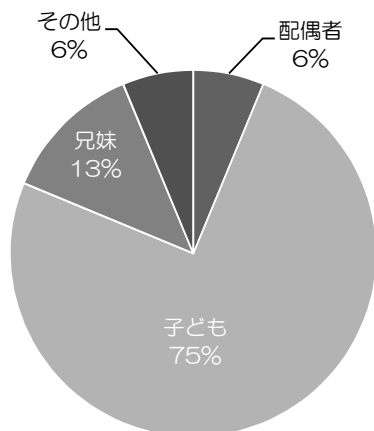
退 居		入 居	
11月=2名	合計2名	12月=2名	合計2名

c. 入居前居住地



相模原市：13名  
 県内：2名  
 県外：1名

d. 身元引受人



配偶者：1名  
 子ども：12名  
 兄弟姉妹：2名  
 その他：1名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回以下	20～49回	50～59回	60～69回	70～79回	80回以上
2020年度	13	4	1	0	0	0
2019年度	11	4	1	0	0	1
2018年度	6	6	2	0	0	0

2020年度 延来訪回数 249回 平均来訪回数 13.8回

2019年度 延来訪回数 312回 平均来訪回数 20.8回

2018年度 延来訪回数 363回 平均来訪回数 25.9回

\*感染症予防の為、イベント中止や来客制限などをしたため、前年度よりも来訪者数が減少している。しかし、家族や知人とは電話での交流がある。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊	0	0	2	2	0	0	1	2	2	2	1	1	13
入院	0	0	0	0	1	2	1	1	2	1	1	1	10

3. 介護保険サービスの利用状況

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2020年度	7	1	2	2	2	1	1	0
2019年度	7	2	4	2	1	0	0	0
2018年度	7	1	4	0	2	0	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4	4	5	42
訪問介護	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	40
短期入所	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	4
福祉用具	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5

## 4. 行事催行状況

### a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
ラジオ体操	毎 日	希望者	DVDを見ながら10分間の体操
誕 生 会	月1回	全 員	誕生日祝
合 唱 会	月2回	希望者	音楽療法士を招いて実施（特養合同行事）
例 会	月1回	全 員	例会時に「館の夢」作成・配布
定期健康診断	年1回	希望者	入居者の健康診断
かわり湯	年2回	全 員	季節感を演出する

### b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4月	1(水)	窓ガラス清掃	14	業者による居室の窓ガラス清掃
	2(木)	居室床清掃	16	業者による居室ワックス掛け
	15(水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
	20(月)	五月人形	-	五月人形飾りつけ（玄関）
	22(水)	例会 感染症対策	15	翌月行事のお知らせ 口腔体操・感染症予防対策情報
27(月)	衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防除	
5月	1(金)	待機者調査	19	待機者継続・取消確認調査
	5(火)	かわり湯	14	菖蒲湯
	6(水)		14	
	7(木)		14	
7(木)	消防設備点検	16	居室内火災報知器点検	
27(水)	例会 感染症・熱中症対策	15	翌月行事のお知らせ 感染症対策・熱中症予防、脳トシ	
6月	21(月)	年次点検	-	施設全体停電
	24(水)	例会 誕生会	15	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（2名）・席替え・食中毒予防
	25(木)	七夕飾り制作 消防避難訓練	16 14	飾り・短冊制作 避難訓練
7月	1(水)	窓ガラス清掃	14	業者による居室の窓ガラス清掃
	15(水)	フィルター清掃	16	業者による居室のエアコンフィルター清掃
	22(水)	例会 事故予防	15	翌月行事のお知らせ 事故事例・事故防止
	27(月)	衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防除

月	日	行 事	人数	内 容
8月	26(水)	例会	14	翌月行事のお知らせ
		誕生会		誕生日祝（1名）
		熱中症予防 おやつレク		水分補給・エアコン使用の呼びかけ アイス提供
9月	エレベーター故障の為、行事中止。			
10月	1(木)	窓ガラス清掃	14	業者による居室の窓ガラス清掃
	26(月)	衛生害虫防除	16	業者による居室の害虫防除
	28(水)	例会 誕生会	12	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（5名）・エレベーター修理の説明
11月	18(水)	花火	11	手持ち花火
	24(火)	消防避難訓練	12	避難訓練
	25(水)	例会 誕生会	10	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（2名）・感染症対策
30(金)	消防設備点検	14	居室内火災報知器点検	
12月	23(水)	例会 誕生日会 忘年会	13	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（1名） プレゼント配布
	21(土)	かわり湯	13	柚子湯
	22(日)		13	
	23(水)		13	
	24(木)		13	
1月	27(水)	例会 誕生会 おやつレク	12	翌月行事のお知らせ 誕生日祝 紅白饅頭と甘酒
2月	2(火)	マットレス納品	16	マットレスの入れ替え
	18(木)	ひな人形	-	ひな人形飾りつけ
24(水)	例会 誕生会 フレイル予防 おやつレク	13	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（1名） 運動の推進 クッキーデコレーション	
3月	24(水)	例会 誕生会 感染症対策 季節のおやつ	13	翌月行事のお知らせ 誕生日祝（1名） 新型コロナウイルス感染症の変異株について ひな人形型ねりきり・ひなあられ

## ●行事について

毎朝のラジオ体操や、例会でのお誕生日会やおやつを提供は引き続き実施している。例会は行事のお知らせ以外にも介護予防や事故防止、感染症対策等の情報発信の場となった。

また、季節に応じて、かわり湯（菖蒲湯や柚子湯）や、五月人形飾り・七夕飾り・クリスマス飾り・正月飾り・ひな人形飾り等を実施したことで、季節感を楽しんで頂けた。

新型コロナウイルス感染症の流行によって、外出レクリエーションの春と秋のバスハイクが中止となった。外出レクリエーションに代わって、通常の食事に季節のおやつを追加して提供したり、通常の献立には無いおでん等を提供したりと食事を楽しむ企画を増やすことができた。

感染予防を考慮しつつ、室内で楽しめるレクリエーションの創出の機会となった。

バスハイクの公園散策や外食を楽しみにされている方も多いため、新型コロナウイルス感染症が終息次第、再開していきたい。

## ●介護サービスの利用について

平均年齢が86.2歳と高齢となり、平均介護度が0.89で16名中9名が介護認定を受けている。そのうち、介護サービスを利用されている方は7名となり、要介護・要支援認定は済んでいても、サービス利用をされない方もいる。

以前は、訪問介護や福祉用具レンタル、デイサービスの利用が多く利用されているサービスとなっていたが、訪問マッサージや訪問診療、訪問看護、訪問薬局、リハビリデイサービス等と医療に関するサービスの利用も増えてきている。年齢による体力や判断力の低下、持病や認知症等によって一人では自立生活が厳しくなっても、様々な介護サービスを組み合わせる事で自立生活に必要な部分をカバーする事ができている。

## ●2020年度の三者面談について

新型コロナウイルス感染症の影響により面談会は中止となった。

面談会が無い事で、家族と関わる機会が減ることがないように、家族の来訪時に入居者の日々のご様子を報告や必要な場合は電話連絡し、情報共有を実施した。ケアハウス生活上の不安や課題、人間関係の相談、また、施設で提供している設備等の相談は個々に対応した。

今後も入居者・家族・介護支援専門員や介護サービス事業所等と協同して、安心して自立した生活が長く続けられるよう、相談援助を実施することが重要となる。

## 5. 苦情

2020年度・・・0件

# S Housing ervised

## フレイグラントオリーブナナ

2020年度は32部屋中5名の入退居があり、年度末時点での入居者は18名となった。

3名の入居の主な理由は、福祉法人との連携（ADL 低下時のサポート）があること、家族の居住地から近く高齢者の一人暮らしに安心があることが挙げられた。

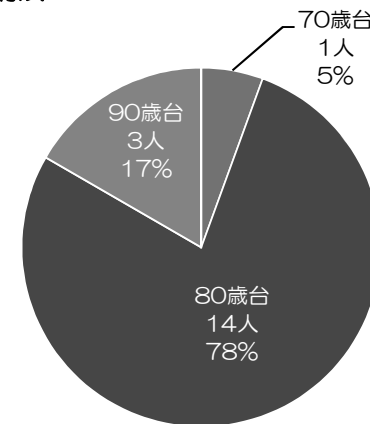
退居2名については、両名共にADL 低下により、コミュニティホームピノへ入居される事となった。

## 1. 入居者待機状況

実数としての管理は行なっておらず、外部業者と提携し、満床に向けて対策を講じていく。

## 2. 入居者の状況

### a. 年齢構成



平均年齢：85.6 歳

男：86.8 歳

女：85.0 歳

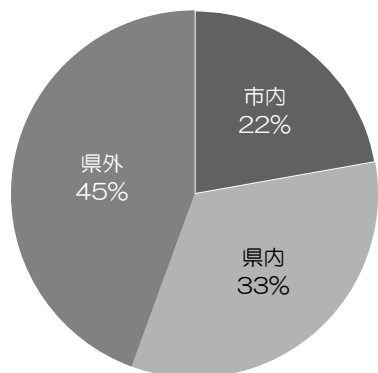
最高年齢： 93 歳

最小年齢： 76 歳

b. 入退居状況

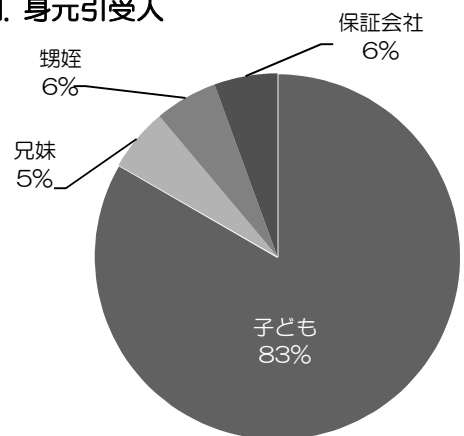
退 居		入 居	
8月= 1名 2月= 1名	合計 2名	11月= 2名 12月= 1名	合計 3名

c. 入居前居住地



相模原市： 4名  
 県 内： 5名  
 県 外： 9名

d. 身元引受人



子 ども：15名  
 兄弟姉妹： 1名  
 甥姪： 1名  
 保証会社： 1名

e. 家族・知人の来訪回数

単位：人

	19回 以下	20～ 49回	50～ 59回	60～ 69回	70～ 79回	100回 以上
2020年度						
2019年度						
2018年度						

2020年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回  
 2019年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回  
 2018年度 延来訪回数 回 平均来訪回数 回

\*実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

f. 外泊・入院の状況

単位：実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外泊													
入院	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3

\*外泊は実数としての管理は行なっておらず、把握は今後の課題である。

3. 介護保険サービスの利用状況

a. 入居者の介護度

単位：人

	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2020年度	4	4	6	4	0	0	0	0
2019年度	3	4	4	7	0	0	0	0
2018年度	1	5	5	1	2	0	0	0

b. 介護保険サービス利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	10	10	10	9	9	9	9	9	9	10	10	10	114
訪問介護	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	39
短期入所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
福祉用具	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	75
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

## 4. 行事催行状況

### a. 定例行事

行事名	実施回数	参加者数	内 容
カラオケ喫茶	週一回	希望者	3時間開催・入居者限定
ヤクルト販売	週一回	希望者	ヤクルトによる訪問即売会
ローソン移動販売	週一回	希望者	ローソン移動販売車による訪問即売会

### b. 計画行事

月	日	行 事	人数	内 容
4月	30(木)	避難経路ツアー	14	入居者が自室からの避難経路を確認する
5月				
6月				
7月	7(火)	七夕・ナナの日	15	笹飾り&短冊 入居者にお菓子のプレゼント
	26(日)	避難経路ツアー	15	入居者が自室からの避難経路を確認する
8月	23(日)	茶話会/運営懇談会	14	予定や近況報告と意見収集
9月	25(金)	合同避難訓練	11	施設職員・入居者・保育園ナナ職員合同での訓練
10月				
11月				
12月	13(日)	茶話会/運営懇談会	17	予定や近況報告と意見収集
1月				
2月				
3月	7(日)	音楽イベント	14	ギター演奏会
	11(水)	合同避難訓練	5	施設職員・保育園ナナ職員合同での訓練

## ●行事について

新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの行事を中止とした中、入居者限定で出来ることを実施した。

3月には1年以上出来なかった音楽イベントを開催し、入居者に喜んでいただいた。

## ●介護サービスの利用について

自立～要支援の方が多く、入居者での訪問介護利用は4名。デイサービスは半数以上の方が利用されている。

## 5. 苦 情

2020年度・・・0件





# D Service ay

## デイサービスセンターモモ

2020年度の1日の平均参加人数は15人から18人の間で推移しており、月間平均の最低値は2020年11月の15.6人(稼働率52.0%)、最高値は2021年3月の18.2人(稼働率60.6%)であった。

2020年4月以降、新規利用者の獲得には繋がらず、登録者数85名でスタートしたものの、2020年3月で58名となり、打切り者23名という結果であった。また、年度通しての目標である1日平均参加人数24名を超えることが出来ず、16.4名(稼働率54.8%)となった。

今後も、1日あたりの登録人数を30人から35人程度で維持するために、引き続き新規利用者の獲得や既存利用者の増回により、1日あたりの平均参加人数24人以上の達成を継続できるようにすると同時に、コミュニティセンターピノとの連携密度も濃くし、通所課全体の実績向上に努めていく。

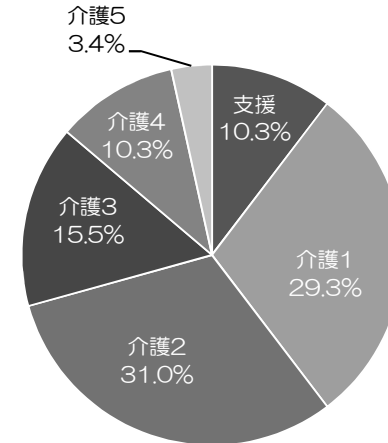
稼働率が下降している現状にも関わらず、職員の些細なヒューマンエラーが目につくようになっていくことが課題であり、大きな事故に繋がるリスクが高いため、職員一丸となって気を引き締め、効率的な運営に繋げていく。

### <利用者の現況>

既存の利用者のADLの低下や、認知症のBPSDが強く現れてしまっている利用者も増加しており、その利用者に適した対応や環境への移行を行っていく必要がある。

## 1. 利用者の現況

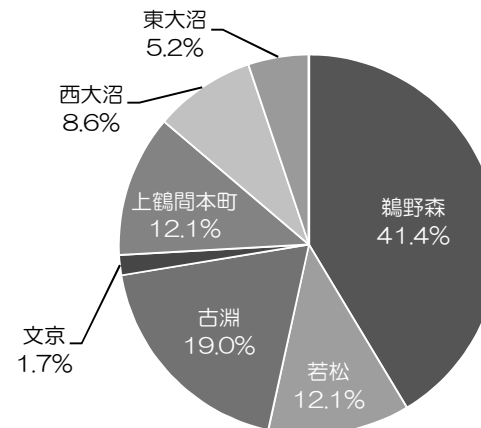
### a. 介護度



要支援：6人  
介護1：17人  
介護2：18人  
介護3：9人  
介護4：6人  
介護5：2人

契約数：58人  
2021.03末の登録者

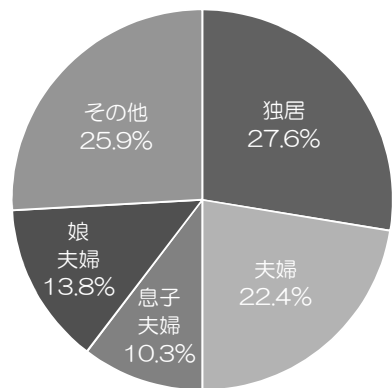
### b. 地域別利用者



鶴野森：24人  
若松：7人  
古淵：11人  
文京：1人  
上鶴間本町：7人  
西大沼：5人  
東大沼：3人

事業所周辺地域に在宅する利用者が多く、無理のない送迎が行なえている。車椅子の利用者が増えているが、2便等で問題無く対応できている。

c. 利用者世帯状況



独居：16人  
 夫婦：13人  
 息子夫婦：6人  
 娘夫婦：8人  
 その他：15人

子と同居している方も多いが、独居・夫婦の割合が2019年と比較して、低下傾向にある。しかし緊急時の面では問題があるといえる。

d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移動			
	自立	介助	自立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2016年度	63	20	25	31	13	14
2017年度	78	34	36	36	16	24
2018年度	62	21	27	24	9	23
2019年度	39	20	15	13	9	22
2020年度	36	22	13	13	14	18

トイレは2019年と比較し自立が減少傾向にある。移動は介助に歩行器・バギー使用者も含まれ、2019年と比較し利用割合が多くなっている。

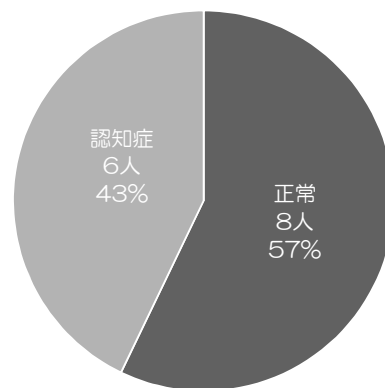
e. 認知症

単位：人

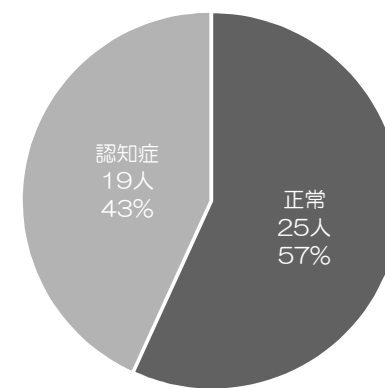
年度	認知症	正常範囲	合計
2016年度	47	36	83
2017年度	35	51	86
2018年度	31	52	83
2019年度	18	41	59
2020年度	25	33	58

認知症者は増加の傾向にあり予備軍も多数。必要に応じ受診し診断・処方への理解が重要。認知症と共存できる環境の提供が課題。

認知症（男性）



認知症（女性）



f. 疾患状況

生活習慣病から、毎年上位である高血圧症に次いで脳血管疾患も増加傾向にある。高齢化による認知機能の低下、老々介護による在宅での薬の飲み忘れ等、自己管理不足や家族による内服コントロール不良も多く、フォローアップが課題となっている。

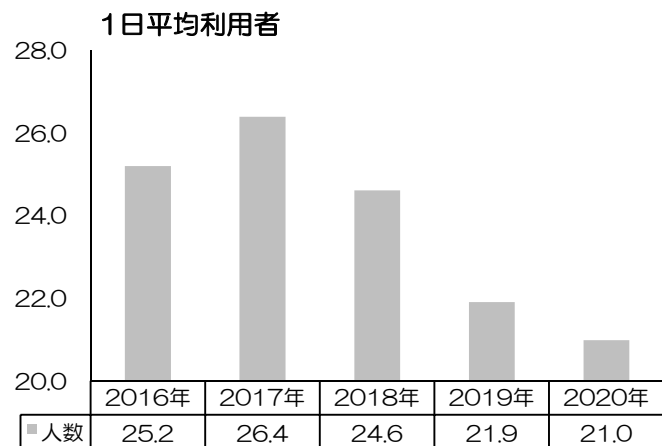
疾患の早期発見に努め、利用者家族やケアマネジャー等へ迅速に情報伝達を行なうことによって、診断や治療へ結びつけることが必要である。

しかし「自力での受診不可」や「受診に連れていくことが困難」なケースも見られているため、今後も、在宅生活困難者に対する働き掛けが必要とされる。

今後の課題として、既存利用者のADL低下に伴って新たに疾患が増えた場合、ケアマネジャーや家族との連携不足でデイサービス側が情報を把握できていない事態が起こる可能性が挙げられる。

契約時の情報だけでなく、利用者に関わる新しい情報（新たな疾患・服用中の薬等）を収集し、お便り等で呼び掛け、疾患や薬に関わる情報をその利用者をサポートする全ての関係者で共有していく。

## 2. サービス利用状況



2019年度と比較し、実利用者数の低下が見られる。登録者数は2021年3月で58人と、年度当初から23人の打切り者となる。移動介助時の事故等もあり、職員の業務に対する意識の低下が大きな原因である。安定したサービスを提供する為、職員一丸となって気を引き締め、サービスの質の向上に努める。

単位：人

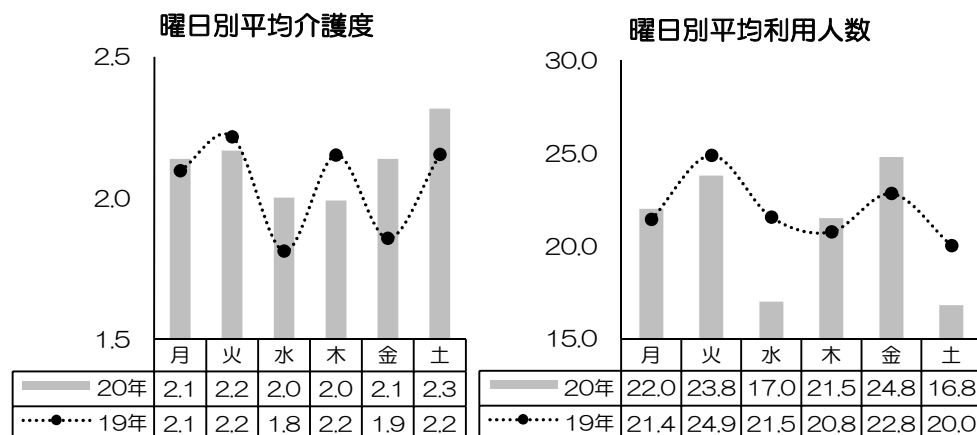
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
登録者数	875	1028	974	883	690
実利用者数	7397	7911	7539	6731	6003
入浴利用者数	4427	4034	4939	4667	4336
サービス実施日数	294	299	306	307	365
1日平均利用者数	25.2	26.4	24.6	21.9	16.4

### a. 月間サービス利用実績

単位：人

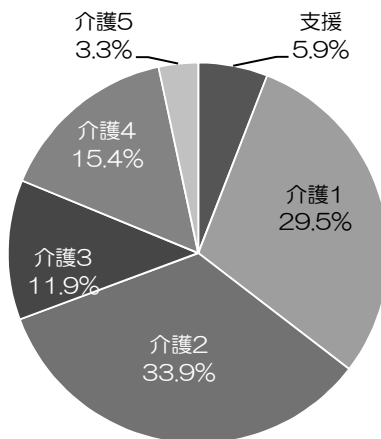
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	58	56	57	58	59	59
実利用数	490	487	510	491	494	513
実施日数	30	31	30	31	31	30
1日平均	16.3	15.7	17.0	15.8	15.9	17.1
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
57	58	56	57	57	58	690
513	469	493	486	493	564	6003
31	30	31	31	28	31	365
16.5	15.6	15.9	15.7	17.6	18.2	16.4

## b. 週間サービス利用実績



	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	22.0	23.8	17.0	21.5	24.3	16.8	21.0
登録者数	27	30	23	24	29	19	152
平均介護度	2.8	3.6	2.8	5.0	4.3	3.0	3.6

## c. 介護度別サービス利用実績



単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
支援	441	564	622	662	354
介護1	1862	1651	1639	1785	1773
介護2	3103	2397	3003	2440	2035
介護3	769	1078	1316	741	713
介護4	720	645	710	860	927
介護5	502	410	253	227	201

### 3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	25	28	21	20	28	16	138
家族送迎	0	1	0	1	0	1	3
同一敷地	1	0	1	2	0	1	5
合計	26	29	22	23	28	18	146

利用者に負担のない送迎を心掛け、家族の要望に可能な限り対応できる送迎の実施。基本は車両3台での送迎を行ない、利用者の臨時参加や欠席による増減に対して2便対応、車両を2台へ変更し問題なく対応できている。安全面では、速度はもちろん運転手と職員で危険地点の情報を共有し、意見交換を行ない、より良いルートを常に模索している。

今後も職員一同協力し合い、利用者に快適で安全な送迎を提供していく。

### 4. 行事・プログラム

月	内容
4月	レクリエーション(風船脱出ゲーム・紙コップ積み競争)・春の作業(菖蒲、藤の花の壁飾り)・作業プログラム(藤の花の天井飾り)・誕生日会
5月	レクリエーション(カーリングゲーム・ガムテープで缶倒し)・作業プログラム(小物入れ)・作業プログラム(スタンドグラス調飾り)・誕生日会
6月	レクリエーション(仲良くボール入れゲーム・双六ゲーム)・作業プログラム(七夕飾り)・カレンダー作業(金魚のクイリング)誕生日会
7月	作業プログラム(パイナップルの壁飾り)・書道・作業プログラム(星の貼り絵・うちわ作り)・夏の作業(夏の花火の壁画)・レクリエーション(タオルで飛ばせボール大会)・誕生日会
8月	夏祭り(盆踊り、射的ゲーム)・カレンダー作業(パステル)・レクリエーション(紙コップ重ねゲーム)・作業プログラム(兎の餅つき壁画)・誕生日会
9月	書道・作業プログラム(忘年会作業・忘年会の看板作り)・レクリエーション(風船出しゲーム)・誕生日会
10月	運動会・作業プログラム(紅葉の壁飾り)・レクリエーション(紙コップ落としゲーム・牛乳パックジャンガゲーム)・カレンダー作業(雪うさぎと菊の創作)・誕生日会
11月	作業プログラム(毛糸のリース)・レクリエーション(紙コップゲーム・洗濯バサミゲーム)・忘年会作業・誕生日会
12月	カレンダー作業(節分飾り)・レクリエーション(お手玉ストライクアウト/ポーリング)・お食事会2020年・正月作業(絵馬作り)・誕生日会
1月	初詣レクリエーション・冬の作業(干支の壁面、節分飾り、節分レクリエーション用の鬼の貼り絵)・お正月遊び・書初め・誕生日会
2月	節分レクリエーション(兎の口に玉入れゲーム)・カレンダー作業(パステル)・作業プログラム(桜のリース)・レクリエーション(カーリングゲーム)・誕生日会
3月	書道・レクリエーション(花より団子!春の巻き巻きゲーム・紙コップゲーム)・作業プログラム(ちぎり絵/吊るし飾り作り)・外気浴(お花見ドライブ/映画会)・誕生日会

2020年度は、個々のADLに合わせたプログラムを行ない、作業系・運動系・脳活性化を促すレクリエーションをバランスよく提供した。

外出訓練も季節ごとに取り入れ、事故無く行なうことができ、利用者にも好評であった。夏季の外出は新型コロナの影響もあり、施設内でプログラムを実施した。

今後も、更に増加が予想される認知症の利用者への対応を更に追求すると共に、個々のニーズに幅広く対応し、充実した時間を提供できるように目指していく。同時にデイサービスの特色である広いフロアを生かしつつ、迅速なケアと援助の提供に努めていく。

### 5. 事故

2020年度の事故件数 4件

事故の内容では、車輻事故：1件・自力移動時転倒(共同トイレ内)：1件・移動介助時転倒：1件・自力移動時転倒(食堂)：1件となっている。

今年度、移動介助時の転倒に関しては、歩行訓練中に職員が付き添い対応していたが、支えきれずに転倒。骨折事故となり、損害賠償の対象となる。

職員の意識、利用者の行動などを改善することで防げた事故が多くあったと考える。利用者一人一人に真摯に向き合い、日々の状態を密に観察することでリスクを把握し、安心且つ安全な環境を提供していく。

事故内容やインシデントに対しては、デイサービスのカンファレンス等で検証し、統一ケアを図ることで年間を通して「事故0件」を目指し、職員のスキルの向上に努めていく。

2021年度も、職員一丸となり気を引き締め、再発防止に努めていく。



コミュニティセンターピノ

2020年度の1日あたり平均利用実績は4.8人で、稼働率は40.2%となっている。

定員12名の事業所として、稼働率が極めて低く危険な運営状態となっている。しかし、コロナ禍においてコロナ対策を徹底したことで運営に大きな影響を与えずに、年度を終えられたことは評価できる。早急に稼働率を上げるための対応・改善を試みる。

年度当初から稼働率は40.0%以下であり、2020年4月から9月までは平均利用実績は5.0人を下回っていた。2020年10月以降から平均利用実績は5.0人以上となっている。その要因は、デイサービスセンターモモからの移行が円滑に行なえたことが影響している。

新規登録人数を常に増やし、臨時参加などを率先して受け入れる対応を心掛ける。

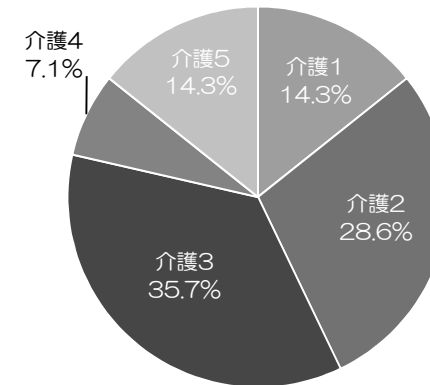
既存利用者の増回は、実績向上の最短ルートではあるが、打ち切りになった時の打撃も大きい。定員（1日12名）の中で、既存の利用者と新規利用者とのバランスのとれた登録調整が課題となってくる。

実績を向上させるには新たなサービスの創造が不可欠である。コミュニティセンターピノならではのサービスを構築し、安定した運営を実施する。

同時に、新規登録人数の確保の手段として、デイサービスセンターモモとの連携の強化は必須事項である。

## 1. 利用者の現況

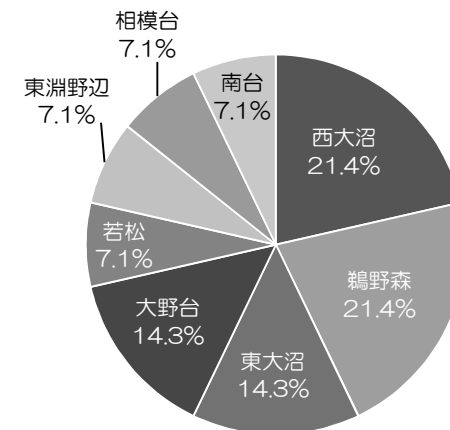
### a. 介護度



要支援：0人  
 介護1：2人  
 介護2：4人  
 介護3：5人  
 介護4：1人  
 介護5：2人

契約数：14人  
 2021.03 末の登録者

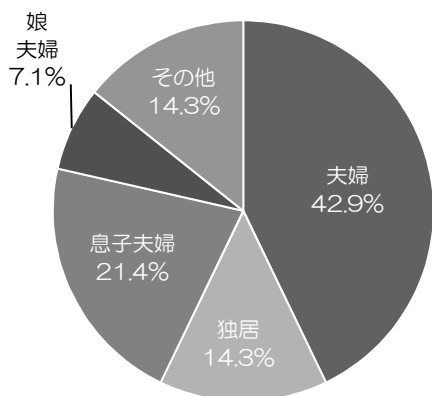
### b. 地域別利用者



西大沼：3人  
 鵜野森：3人  
 東大沼：2人  
 大野台：2人  
 若松：1人  
 東淵野辺：1人  
 相模台：1人  
 南台：1人

周辺地域だけでなく、遠距離の利用者も対象にしている。

### c. 利用者世帯状況



夫 婦： 6人  
 独 居： 2人  
 息子夫婦： 3人  
 娘 夫 婦： 1人  
 そ の 他： 2人

### d. ADL

単位：人

年度	トイレ		移 動			
	自立	介助	独立歩行	杖歩行	車椅子	介助
2016年度	9	14	6	1	2	14
2017年度	4	9	7	3	0	3
2018年度	5	10	5	4	3	3
2019年度	6	7	5	2	3	3
2020年度	8	6	7	1	5	1

排泄はADLが自立であっても、当日の状態によっては介助が必要となり、実際の生活内では行動の見守りや声掛け等、何らかの関わりが必要である。

移動についても同様で、認知症疾患から季節や精神的不安定によるADLへの変化があるため、朝の送迎時の行動から来所に至るまで、活動時間中の行動や言動を注視し、対応にあたらなくてはならない。

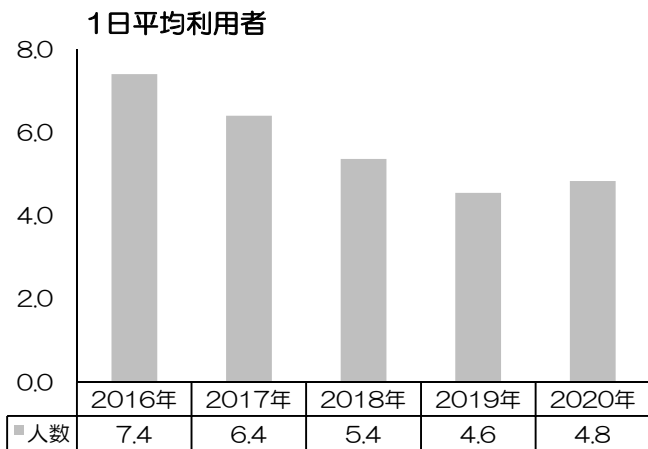
### e. 疾患状況

認知症対応型通所介護の基準として、認知症の診断が利用時に必要であることから全員が該当するが、詳細は脳血管型よりも脳の萎縮によるアルツハイマー型認知症の割合が多く、進行度合いも早いと感じられる。認知症の進行予防にも力を入れていかなければならない。

利用者世帯状況から夫婦での生活、つまり老々介護が大半を占めており、在宅生活を維持する上で重要な服薬管理等、非常に困難な点が多い。指示通りに内服管理ができないことで認知症の周辺症状が進行し、また、その他の疾患に関しても医療による成果が得られていない現状もある。

ケアマネジャーや家族、医療機関とも連携することで在宅生活継続の援助をしていかなければならない。疾患に関する最新の情報を入手、把握し、利用者が安心して穏やかに過ごせる環境を整える必要がある。

## 2. サービス利用状況



2020年度は、40.2%の稼働率となっている。運営状況に早急な改善が必要であり、引き続き新規獲得に努める。課題を明確にし、適切な対応（営業・増回）を、素早く行なう必要がある。

単位：人

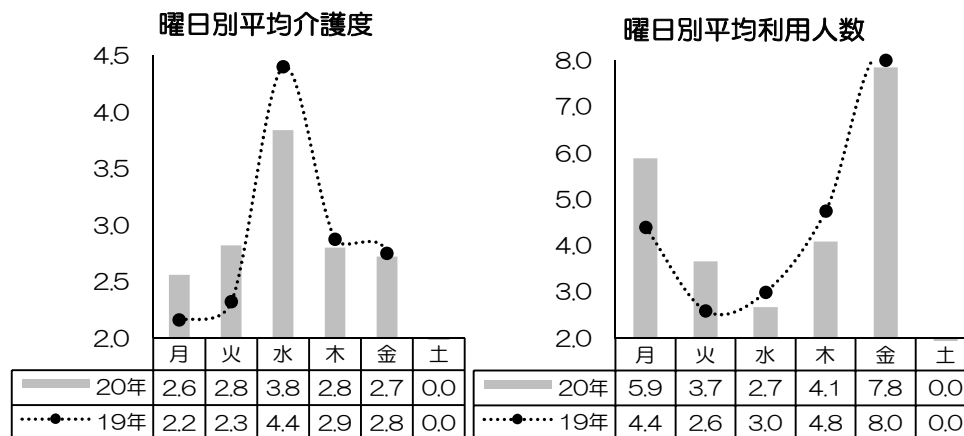
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
登録者数	214	230	184	178	159
実利用者数	1910	1626	1386	1241	1241
入浴利用者数	1286	1374	1186	1018	1056
サービス実施日数	257	255	256	262	257
1日平均利用者数	7.4	6.4	5.4	4.7	4.8

### a. 月間サービス利用実績

単位：人

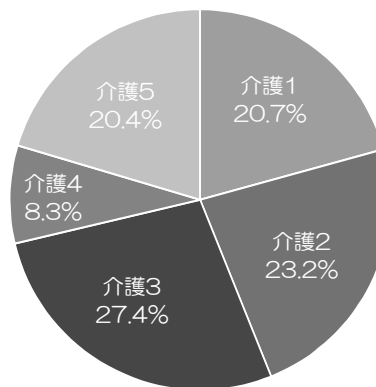
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数	15	13	12	12	12	13
実利用数	96	101	92	96	93	101
実施日数	22	21	22	23	21	22
1日平均	4.4	4.8	4.2	4.2	4.4	4.6
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	13	14	14	15	14	159
112	116	109	101	107	117	1241
22	21	20	20	20	23	257
5.1	5.5	4.7	4.8	5.4	5.1	4.8

### b. 週間サービス利用実績



	月	火	水	木	金	土	全体
平均人数	5.9	3.7	2.7	4.1	7.8	—	4.8
登録者数	10	4	4	4	10	—	6.4
平均介護度	2.6	2.8	3.8	2.8	2.7	—	2.9

### c. 介護度別サービス利用実績



単位：人

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
支援	0	0	0	0	0
介護1	347	214	266	321	257
介護2	212	234	177	56	288
介護3	674	567	476	309	340
介護4	200	28	46	75	103
介護5	477	583	421	480	253



### 3. 送迎状況

単位：人

通所形態	月	火	水	木	金	土	合計
送迎車両	9	4	4	4	9	—	30
家族送迎	1	0	0	0	1	—	2
同一敷地	0	0	0	0	0	—	0
合計	10	4	4	4	10	—	32

送迎は安全かつ合理的に行なう工夫が必要で、サービスの質を高める上で重要である。同じ顔ぶれと一緒にすることからの連帯感が、精神活動の活性化にも繋がる。家族との関わりを持つことができ、情報を得る機会となり、健康管理にも重要なサービスと位置付けられる。

遠距離の利用者の割合が増えてきているのでサービス提供時間に支障の出ない送迎方法の考察等が課題となってきている。

### 4. 行事・プログラム

月	内 容
4月	外出訓練 誕生会 季節の作業 カラオケ
5月	誕生会 季節の作業 カラオケ
6月	誕生会 季節の作業 カラオケ
7月	誕生会 季節の作業 カラオケ
8月	誕生会 季節の作業 カラオケ
9月	誕生会 季節の作業 カラオケ
10月	誕生会 季節の作業 カラオケ
11月	誕生会 季節の作業 カラオケ
12月	誕生会 季節の作業 カラオケ
1月	誕生会 季節の作業 カラオケ
2月	誕生会 季節の作業 カラオケ
3月	外出訓練 誕生会 季節の作業 カラオケ

少人数及び認知症に特化した通所介護であるため、集団や一律に行なうプログラムではなく、利用者一人一人に向き合いながら、本人のペースに配慮した関わりが必要である。

さらに、定員12名という規模から、外出訓練等を積極的に実施できる環境にあるため、それらも考慮しながらピノ独自のプログラムを模索していく。

日々の状態変化を観察し、話を聞き入れ共感し合うことの重要性、個々にあった対応方法を考慮し、職員間でその情報を共有することを継続していく。

### 5. 事 故

2020年度の事故件数 4件

2020年度の事故は、職員の警戒意識、安全確保への考えを改善することで防止できる事例であったと考える。

利用者一人ひとりに真摯に向き合い、日々の状態を観察することでリスクを把握し、安心且つ安全な環境を提供できるように努力し「事故ゼロ」を目指していく。

# F<sub>ood</sub> Service

## 栄養と調理

### <モモ>

栄養ケアマネジメントにおいて、計画書の作成に関しては見合わせていたが、マネジメント自体は継続して行っており、日頃から利用者の情報収集に努め、スクリーニングおよびアセスメントを行ない、問題点に関して他職種で検討し、モニタリングしている。入所者の入れ替わりはあるが、2019年度と比較すると、中リスク者の割合は18%から45%と増加傾向にあった。看取りを始めたことによって中リスク者が増えたこともあるが、体重維持が数年単位で続いている方でも、BMIとしては中リスクに上がってしまうケースがあり、数字だけにとらわれず、血液検査や日頃の行動（ADL）等の動向をよく観察し、目の前の利用者に何ができるかを考えていく。

また、全身状態の低下や嚥下機能の低下が急激に見られるケースが増えてきている（看取りの対象者が増えてきている）為、急激な体重減少や誤嚥性肺炎などのリスクを踏まえ、長期的にみた体重の推移・日頃の状態観察を行ない、食べやすいお食事や栄養補助食品の提供と共に経過を観察していく。

口腔ケアに関しては、連携している歯科医師の助言をもとに、口腔ケアの方法や適切な道具の選定など、介護士・看護師と連携して関わっていく。

2021年2月に実施した満足度調査（対象：特養・デイ・ケア）では、食事の満足度（大変満足・やや満足）が48%から43%に減少している。

原因として、2020年5月からの委託給食会社変更に伴い、クックチル方式は変わらずとも味付けや見た目の量に変化があり、ご利用者が味の変化にまだ対応されていないこと、献立が変化に乏しいことがあげられる。

美味しい食事を召し上がって頂くためにも、委託先と相談しつつ、今後も厨房でできる限りのことは行ない、満足度の向上に努めたい。

### <ピノ>

2020年5月から、委託給食会社の変更に伴い、メニューは委託先の栄養士が作成している。食形態もソフト食がきざみ食になるなど変更があり、それらを踏まえたうえで個々の体格に応じて、主食や副食量で調整しており、嚥下状態に合わせた嚥下食の提供を行ない、安全な食事提供に努めている。

栄養ケアマネジメントにおいては、2018年9月の実地指導結果に基づき加算の取得を取りやめ、翌10月からは栄養ケア計画書の作成も中止しているが、個々の栄養状態に応じて食事内容の検討を行なっている。

認知症のため食事がなかなか進まない人や、傾眠がちな人など、要食事介助者が以前よりも増加しており、全体的にADLの低下が見受けられる。積極的な栄養アセスメントを行ない、看護師・介護士とも相談して、適切な栄養が行き届くようマネジメントしていく。

看取り介護も開始され、最期を無理強いせず、尊厳のある生活を営むことのできるよう、家族や他職種と相談しながら、栄養補助食品や水分補給ゼリー等、その方に合わせたものを提供している。

口腔ケアに関しては、連携している歯科医師の助言をもとに、口腔ケアの方法や適切な道具の選定など、介護士・看護師と連携して関わっていく。給食会議時に口腔ケアについて検討の時間を設け、口腔衛生管理体制加算の目標や歯科衛生士による助言を周知し、ユニット職員の口腔ケア意識向上に努めた。引き続き口腔ケアの重要性をユニット職員に周知し、誤嚥性肺炎の予防に努めていく。

### <ナナ>

2020年8月よりクックチル方式の食事提供は変わらないが、提供業者を変更した。入居者からは概ね好評価を受けており、今後も継続の予定。

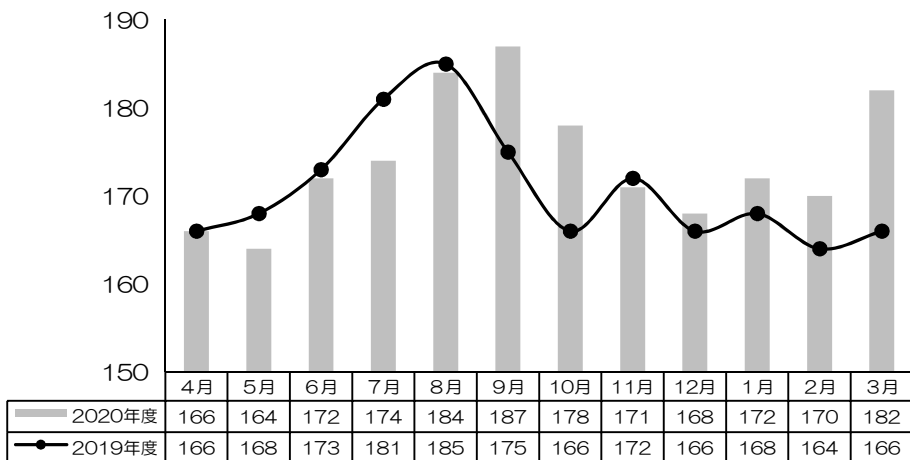
2019年と比べ入居者が若干増えたことにより、レストラン利用数に関してはやや増加傾向。最も利用の多い夕食で入所者全体の60~65%となっているが、朝食・昼食は15~25%のまま横ばい傾向にある。

入居者間のコミュニケーションの充実や個別対応の見直しを図り、レストランでの喫食者増加に繋げていけるように努力する。

# 1. 食数

①特養・ショートモモ：月別1日平均食数

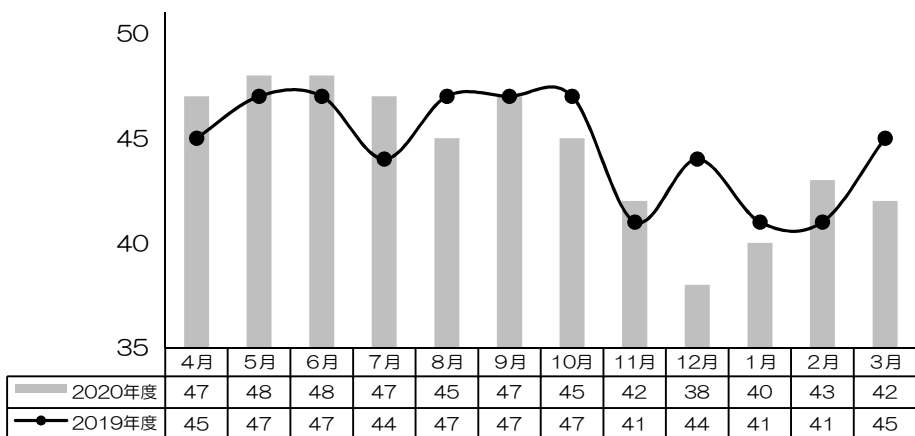
単位：食



2020年度は前年度と比較すると、前半は前年度の方が多いが、2月・3月あたりからショートステイベッドの本入所転換により在園者数が増えたはじめてことで増加傾向となっている。

②ケアハウス：月別1日平均食数

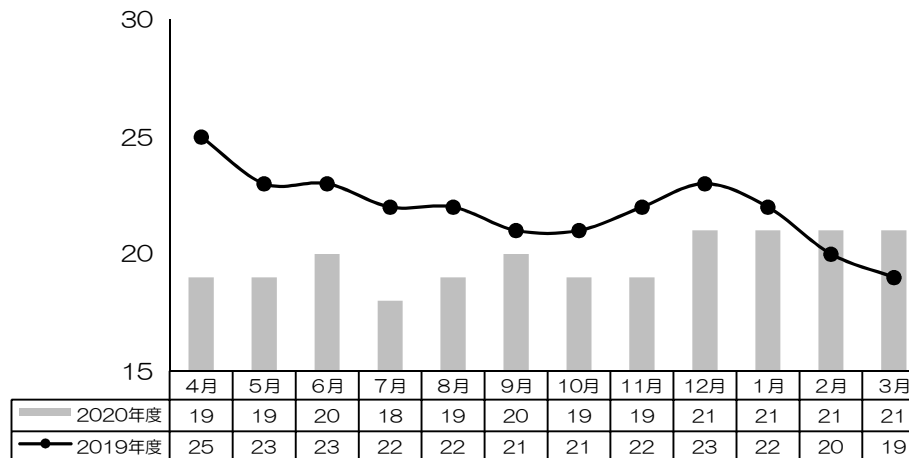
単位：食



在籍上は満床の状態が続いているが、短期・長期での入院やショートステイの利用等があり、食数としては減少している月もあった。

③デイサービス：月別平均食数

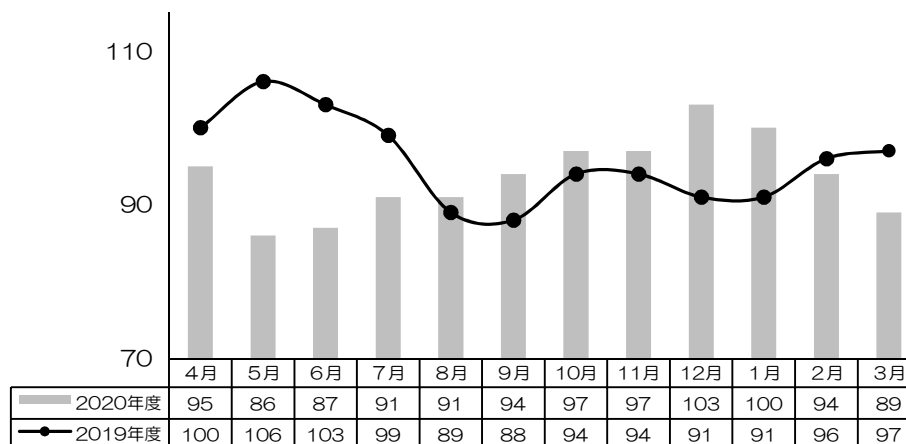
単位：食



新型コロナウイルスの影響もあってか新規の利用が伸び悩み、そのうえで複数回利用者の終了があったため、平均が20人を下回る月につながってしまった。

④コミュニティホーム・ショートピノ：月別1日平均食数

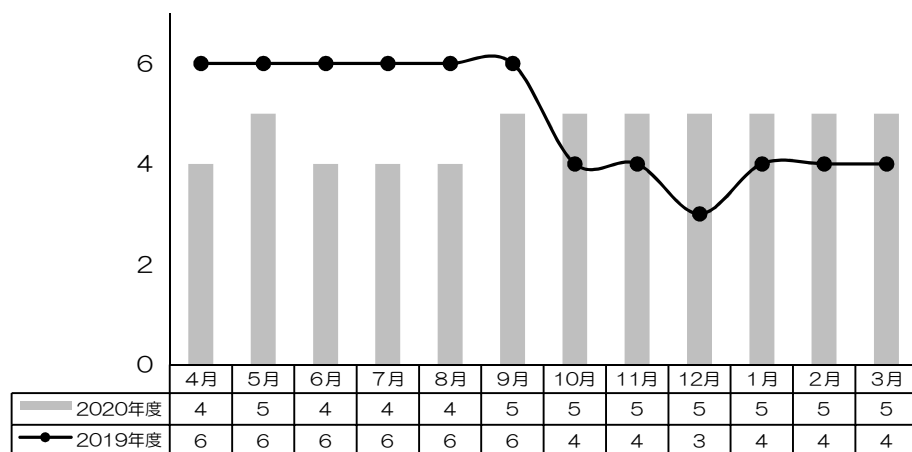
単位：食



5月～8月でショートステイの利用低下や本入所者の入院・退所が重なり食数が減少。2月後半から入院・看取り（胃瘻含む）が続き再減少となる。

### ⑤コミュニティセンター：月別平均食数

単位：食



新型コロナウイルスの影響からか新規利用者がほぼおらず、低利用数のまま横ばいとなっている。

### ⑥その他

看取り対象者の増加により、モモ・ピノ共に通常食の提供が減り、半固形食（胃瘻含む）への移行者が多く出ている。

半固形食・胃瘻対象者は食数としては通常食と別にカウントしているため、入居数に比べると平均食数が低い部分があるのはそのためである。

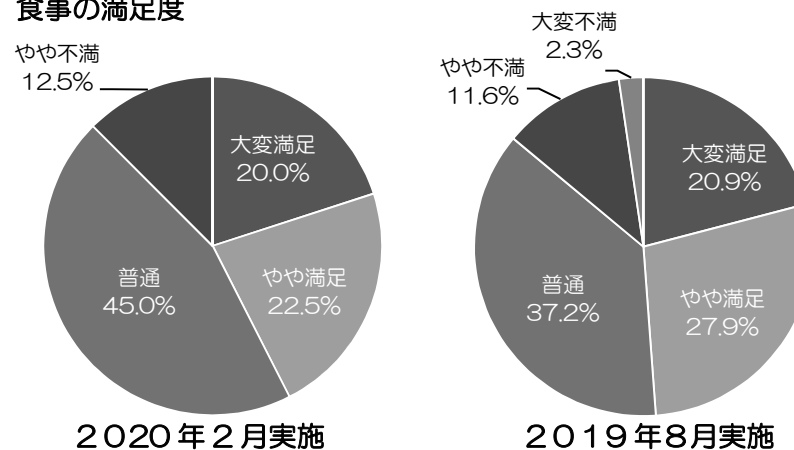
現在、モモ2名・ピノ3名が対象となっている。

## 2 満足度調査

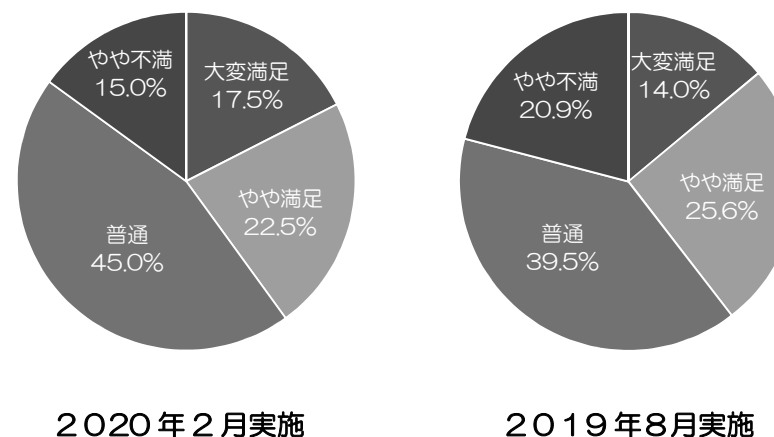
### ①モモ（特養・デイサービス・ケアハウス）

2020年度は、特養15名及びデイ利用者12名、ケアハウス13名の回答者に調査を行なった。特養対象者はHDS-R：15点以上の者とし、デイは職員による抽出により対象者を選出した。

#### a) 食事の満足度



#### b) 食事の温度



食事の満足度は、大変満足とやや満足を合わせると2019年度が48.8%だったのに対し、2020年度は42.5%と減少傾向がみられた。

給食委託会社が変わったことにより、味があわない・同じようなものが多い、以前はなかった物（好みではないもの）が出るようになった等の意見が寄せられている。

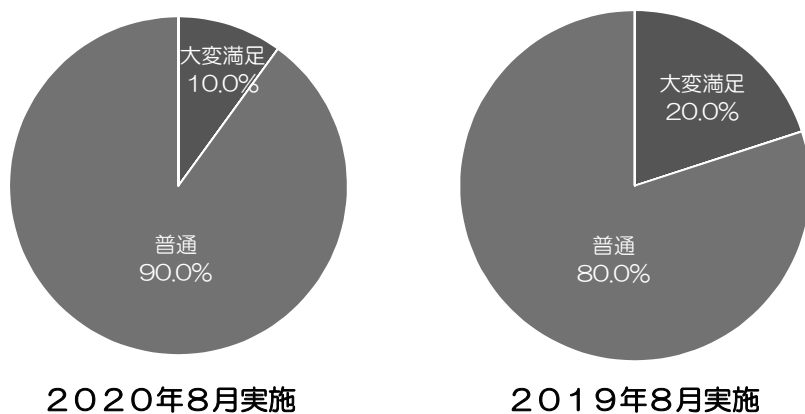
温度に関しては、やや不満・大変不満が2019年度では20.9%だったのに対し、2020年度はやや不満・大変不満を合わせると15%とやや減少傾向にあったが、普通と回答される方がほとんどで、ケアハウスのみが適正の温度で提供できている状態で、温冷配膳車ではない特養やデイでは料理が冷めてしまうのは変わっておらず意見に変化もない。

直前盛り付けなど、できることは実施しているため、今後も利用者の立場にたって適温の食事を提供できるように努力していく。

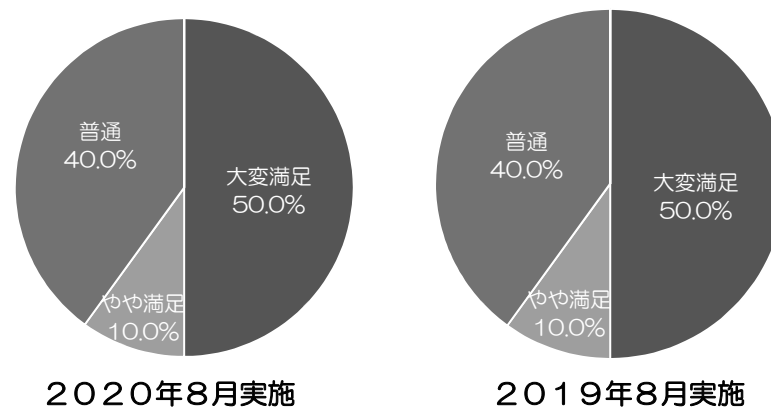
## ②ピノ（特養・ショートステイ・デイサービス）

特養5名、ショートステイ3名、デイ2名に調査を行なった。特養対象者はHDS-R：15点以上の者とし、ショートステイ・デイは職員による抽出により対象者を選出した。認知症が進行しており年々回答が難しくなっているため、前年度は年1回の実施となった。今年度2回行って見たものの、質問を理解した上での回答はほとんど得られず、調査回数及び調査方法の見直しが必要と思われる。

### a) 食事の満足度



### b) 食事の温度



認知症者の割合が多く、質問を理解して返答頂ける対象者がほとんどおらず、質問にうなずかれるにとどまる方が多く、質問者の判断で普通としているところが多い。正確な結果とはいいいがたい部分があり、調査方法の検討が必要である。

温度に関しては、特養で温冷配膳を使用しているためか、不満が0%であり、今後もこの数値を維持していきたい。

### 3 栄養ケアマネジメント

個々の栄養状態に合わせて、食事量の調整、食事内容や栄養補助食品の検討を行ない、他職種間で相談し、マネジメントを行なっている。

#### ①モモ

##### a) BMI 分布

	2020年度	2019年度
18.5未満	21名(36.2%)	13名(31.7%)
18.5以上25未満	34名(58.7%)	23名(56.1%)
25以上	3名(5.1%)	5名(12.2%)

2019年度は1年以上入所の方のみの表示としているが、2020年2月より特養本入所者数が増えた関係で、2020年度は表示を全員とし、割合を追加した。

全体的に見ると、BMIが25以上の方は減ったものの、標準及び標準未満の方は増加傾向にあるが、2019年度と割合で比較すると横ばいと言えるが、看取り介護もはじまっているため、今後18.5未満の方が多くなると考えられる。

##### b) 血清アルブミン値

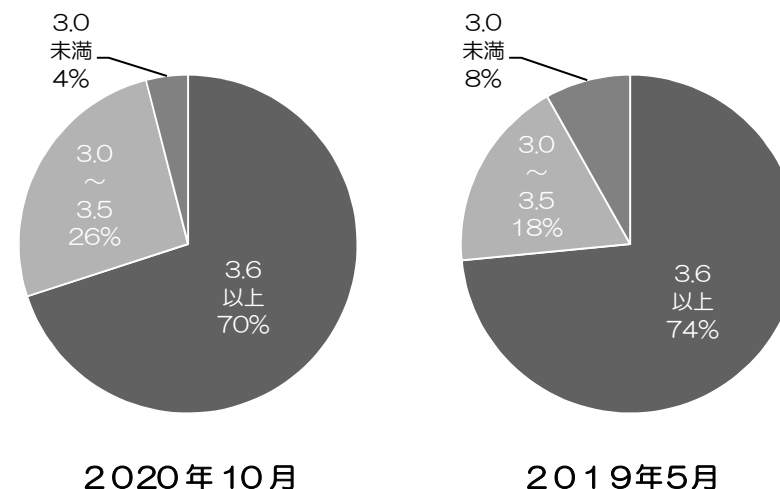
血清アルブミン値が3.6g/dl以上の割合は、2019年度の74%から70%とやや減少し、3.0~3.5g/dlの該当者がやや多くなっているものの、3.0g/dlの該当者は減少している。

対象者が変わったため、3.0g/dlの該当者が減少したが、看取り対象者が増加傾向にある為今後3.0未満の該当者は増加すると考えられる。

往診時でもアルブミン値のチェックを行ない、低い人には栄養状態が改善できるか否かを他職種で検討し、改善を目指していく。

また、日常的な状態観察や、食事時の嚥下状態確認を行ない、ADLの維持に努める。

### 血清アルブミン値比較



##### c) 食事内容調整

内容は、2019年度は嚥下状態による食事形態の変更と、体重コントロールによる食事量の変更を行なったものが大半を占めた。

2020年度は嚥下状態によるものと入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更が多くを占めた。

変更に至っては、看護師・介護士・ケアマネジャーからも情報提供を受け、小さな気づきから他職種で検討を行ない、安全な食事内容を提供し誤嚥事故を防いでいる。

吸引回数が多くなると食事が難しくなり、栄養補助食品のみの対応になるケースも多い。看取り期の食事の在り方について、まだ試行錯誤している段階である。

##### d) 栄養ケア計画作成

2020年3月では、約84%の入居者が低リスクとなっていたが、2020年3月では55%となっている。これは前年度から抽出方法を変更し、BMI16.5以上25未満の方を中リスクとしたためで、アルブミン等の栄養状態については推移している方が多く、今後はリスク抽出の考え方について検討していく。

## ②ピノ

### a) BMI 分布

	2020年度	2019年度
18.5 未満	13名 (50.0%)	12名 (57.1%)
18.5 以上 25 未満	13名 (50.0%)	8名 (38.1%)
25 以上	0名 (0.0%)	1名 (4.8%)

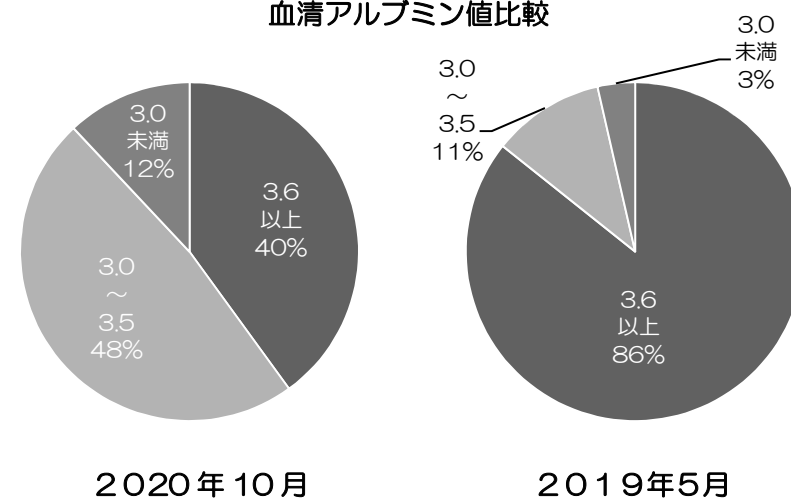
2019年度は1年以上入所の方のみの表示としているが、2020年度は入居者が大きく入れ替わったため、2020年度は表示を全員とし、割合を追加した。

2019年度と比べて、標準の方の増加傾向がみられた。

### b) 血清アルブミン値

2020年10月時点での血清アルブミン値が3.6 g/dl以上の割合は2019年の5月と比較する大幅に減少し、3.0 g/dl未満の割合が増加傾向となった。これは看取りの増加が一因と思われる。往診時に定期的な採血を行なっているため、適宜アルブミン値を確認し、急激に悪化した人には食事内容の検討や栄養補助食品の付加を検討していく。低栄養リスク者が増えないよう、普段からの食事の様子を観察していきたい。

### 血清アルブミン値比較



### c) 食事内容調整

内容は、2019年度は主に嚥下状態、歯の状態、体調に合わせて都度調整を行なった。2020年度は嚥下状態によるものと入退院による変更及び看取り対応への移行に対する変更が多くを占めた。

### d) 栄養ケア計画作成

2018年9月の実地指導指摘に基づく栄養ケアマネジメント加算取り下げに伴い、計画書の作成も2018年10月から中止となっている。介護保険制度の改定に伴い2021年4月より再開予定。

## 4 経口摂取困難者（看取り期）の食事形態

2019年4月より看取り介護がはじまり、栄養補助食品や食事の代替えとして半固形食を使用する頻度が増加した。

嚥下状態（飲み込みの低下）・声かけ時の反応低下・1日の覚醒サイクルが一定ではない・吸引等の医療措置の増加・本人の体力低下による食事の負担軽減の必要性等を観察し、必要に応じて1食～3食の間で使用していく。

また、水分摂取では、とろみの使用もゼリーの摂取も厳しく、食事量も低下している看取り期の利用者に、まぜてもジュレ（高カロリー水分補給用ジュレ）を提供し、無理のない水分摂取・栄養補給に努めている。

とろみ・水分ゼリーのどちらが本人にとって摂取しやすいのか、適宜、検討を行ない、誤嚥性肺炎のリスクを低下させることが重要である。

加齢に伴う口腔機能や摂取・嚥下機能の低下が顕著であるため、現在の食事形態維持の為に、嚥下体操や口腔ケアを重視していく必要がある。

定期的に歯科衛生士による口腔ケアチェックを行なっていき、口腔内を清潔保持に努めていく。

## 5 療養食加算算定

開始までの運用方法検討、献立準備を行ない、2012年9月より療養食算定を開始した。現在、該当者はいない。

食事提供がクックチル方式の為、給食委託業者では対応できない分が出てきており、今後の運用については検討を要する。

## 6 選択食〈モモ〉

2013年度から特養入居者とショートステイ利用者、ケアハウスの全員を対象に2017年度まで選択食を実施していたが、クックチル方式のメニューだと実施が難しいため、食事については現在見送っている。

特養のおやつについてのみ、2～3種類用意し「セレクトおやつ」の名目で随時行っている。

## 7 家族食事会〈モモ〉

2020年度は新型コロナウイルス蔓延のため中止とした。今後は対象者のADLやニーズの変化を踏まえ、家族食事会にこだわらずより良い方法を検討していきたい。

## 8 家族同席の食事（通常）〈モモ〉

2020年度は新型コロナウイルス蔓延防止の観点から中止とした。感染症等予防の観点のみならず、入所者のADL（嚥下・食形態・体調）等の変化も考慮すると、今後も家族同席の食事は難しいと思われる。

家族に対して、施設で提供している食事についての情報提供は常にできるようにし、他の方法での家族と入所者の対話の場を設ける事ができるよう、関係各職種と検討していきたい。



## 9 フロアでの調理、おやつ作り

### <モモ>

2020年度のおやつレクは、チョコバナナトッピング・クリスマスケーキのデコレーションを開催した。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、不特定多数の入所者が共有の食品に複数同時に触るようなレクリエーションは好ましく無い為、職員でトッピングを用意し、入所者に好きなものを選んでいただき、職員がトッピング（調理）を行ない、入所者はご自分の分の食品にのみ触る工夫をしながら行なった。

全体のADL低下に伴い、ご自分でこれらをできる入居者や主体的に楽しむことが出来るご利用者が減り、職員主体にはなってしまったが、普段とは異なる雰囲気笑顔が増える様子あるため、今後はおやつ（食事）にこだわらず、直接手を出せずとも見て楽しめるレクリエーションを主体に取り組んでいく。

### <ピノ>

2020年度のおやつ（昼食）レクは、焼きそばを開催した。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、不特定多数の入居者が共有の食品に複数同時に触るようなレクリエーションは好ましく無い為、職員が目前で調理を行ない、入居者は見て楽しむ工夫をしながらで行なった。

認知症者の割合が高く、ADLの低下も見られ、参加型のレクリエーションは今後も難しいと思われるが、普段と違う雰囲気を味わって頂くことで入居者の良い笑顔が見られているため、皆で何かを作る雰囲気や季節を感じるおやつレクを継続して行なっていきたい。

## 10 行事食

### <モモ>

給食委託業者側にて、正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

各部署毎の行事食については、給食委託業者側と協議しながら行ない、2020年度は、特養ではカシオペア祭の中止に伴い入所者のみで行なうお祭りで屋台食を提供。デイサービスでは忘年会お楽しみ膳、ケアハウスではクリスマス兼忘年会鍋パーティーを行なうなど、委託業者と施設側とで協力しながらの提供となった。

### <ピノ>

給食委託業者側にて、正月祝い膳や敬老祝い膳等の季節の行事食は通常の献立に組み入れてもらい、各部署共通にて実施した。

誕生膳等は各ユニット毎で計画・提供を行なうため、厨房からの提供は行わず、ケーキや弁当等を外部購入して提供した。

2020年度 行事食実施献立（上半期）

月	日	対象部署	イベント名	献立
4月	20～25日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	22日	特	誕生会	ケーキ
	22日	ケア	ケア例会	ケーキ
5月	5日	特・ケ	こどもの日	焼きそば・焼売・サラダ・スープ
	18～23日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	27日	特	誕生会	ケーキ
	27日	ケア	ケア例会	ケーキ
6月	22～27日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	24日	特	誕生会	ケーキ
	24日	ケア	ケア例会	ケーキ
7月	7日	特・デ・ケ	七夕	七夕そうめん・オクラのおかか和え・杏仁豆腐
	20～25日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	21日	特・デ・ケ	土用の丑の日	うなぎちらし・南瓜のいとこ煮・清汁・フルーツ
	22日	特	誕生会	ケーキ
	22日	ケア	ケア例会	ケーキ
8月	3～8日	デイ	おやつレク	フルーツゼリー
	10～15日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	26日	特	誕生会	ケーキ
	26日	ケア	ケア例会	トッピングアイスクリーム
9月	7～12日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	21日	特・ケ	敬老の日膳	ゆかり御飯・天ぷら盛り合わせ・胡麻豆腐・のり佃煮・清汁
	25日	特	誕生会	ケーキ
	25日	ケア	ケア例会	ケーキ
	27日	特	夏祭り	焼きそば・焼き鳥・たこ焼き・お好み焼き・水羊羹
	27日	特	おやつレク	チョコバナナ

2020年度 行事食実施献立（下半期）①

月	日	対象部署	イベント名	献立
10月	19～24日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	28日	特	誕生会	ケーキ
	28日	ケア	ケア例会	ケーキ
11月	23～28日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	25日	特	誕生会	ケーキ
	25日	ケア	ケア例会	ケーキ
12月	7～12日	デイ	誕生週（6日間）	ケーキ
	14日	デイ	デイ忘年会	筍の炊き込み御飯・たらチーズ焼き・南瓜サラダ・青梗菜のクリーム煮・わらび餅（きなこ）・清汁
	15日	デイ	デイ忘年会	ひじきの炊き込み御飯・チキン南蛮・いんげん生姜醤油和え・きのこのさつと煮・おはぎ（つぶあん）・味噌汁
	16日	デイ	デイ忘年会	菜飯・筑前煮・サラダ風ツイストマカロニ・ほうれん草ソテー・きんつば・味噌汁
	17日	デイ	デイ忘年会	きのこの炊き込み御飯・サケ塩焼き・京うの花・海老団子と野菜の炒め煮・わらび餅（抹茶）・味噌汁
	18日	デイ	デイ忘年会	ゆかり御飯・ポークチャップ・菜の花のわさびマヨ和え・金時豆煮豆・おはぎ（きなこ）・味噌汁
	19日	デイ	デイ忘年会	釜飯風炊き込み御飯・ホキの柚庵焼き・ごぼうの旨煮・しらすとわかめの酢の物・わらび餅（黒糖）清汁
	23・24日	特	おやつレク誕生会	クリスマスケーキ
	25日	特・ケ・デ	クリスマス	コンソメライス・クリームシチュー・ブロッコリーのガーリック和え・ケーキ
	23日	ケア	クリスマス忘年会	おでん・おにぎり・トッピングクレープ
31日	特・ケ	大晦日	年越しそば	

## 2020年度 行事食実施献立（下半期）②

月	日	対象部署	イベント名	献立
1月	1日	特・ケ	元旦 (おせち)	ご飯、おせち盛り合わせ、雑煮
	4日	特・ケ・デ	年明けうどん	年明けうどん・隠元の利休和え・関西風玉子巻・酒まんじゅう
	7日	特・ケ	七草粥	朝食：七草粥
	11日	デイ	鏡開き	おやつ：お汁粉
	18～23日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	28日	特	誕生会	ケーキ
	28日	ケア	ケア例会	ケーキ
2月	2日	特・ケ	節分	釜飯風御飯・いわしバーグ・大豆と昆布の旨煮・菜の花の白和え・味噌汁
	14日	特・デ・ケ	バレンタイン	ご飯・ビーフシチュー・マカロニサラダ・チョコチップケーキ
	22～27日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	24日	特	誕生会	ケーキ
	24日	ケア	ケア例会	ケーキ
3月	3日	特・ケ	ひな祭り	ちらし寿司、がんも含め煮、菜の花とお揚げのお浸し、清汁
	22～27日	デイ	誕生週 (6日間)	ケーキ
	24日	特	誕生会	ケーキ
	24日	ケア	ケア例会	ねりきり・ひなあられ



## 居宅サービスセンターモモ

2020年度は介護予防（要支援）委託事業の受諾契約を開始してから約6年が経過し、大野中・大沼・大野台の各高齢者支援センターとの関係性を十分に深めることが出来た。主に大野中高齢者支援センターからの新規依頼が多かったが、上鶴間や大野南などの他高齢者支援センターからも依頼があり、定員の安定に繋げることが出来た。

団塊の世代が後期高齢者となる、いわゆる2025年問題を迎えるにあたり、各高齢者支援センターとの関わりを強化したことで、地域包括ケアシステム導入への準備をすることが出来た。今後は、実績維持・向上のために南区全体に受託範囲の拡大を図っていく。

ケアマネジャーが2人体制になってから1年以上が経ち、3人目のケアマネジャーの急募を行なうが、採用に繋がらない状況が続いている為、引き続き、特定事業所加算を取得出来るよう採用に努め、利用者や各事業所との関わりの幅を広げ、土曜日・祝日営業を行ない、日曜日以外はケアマネジャーに相談・連絡調整が出来る安心感やサービス調整の効率化などを図り、サービスの質の向上につなげていく。

新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、通常の訪問やサービス担当者会議の実施が困難であったが、新規対応に関しては最低限のアセスメント等を行なうにあたり、感染防止を徹底して訪問等を行ない、感染せずに経過することが出来た。認定調査に関しては、新型コロナウイルスの影響もあり、年間で5件と大幅に減少となった。

## 1. 利用者の推移

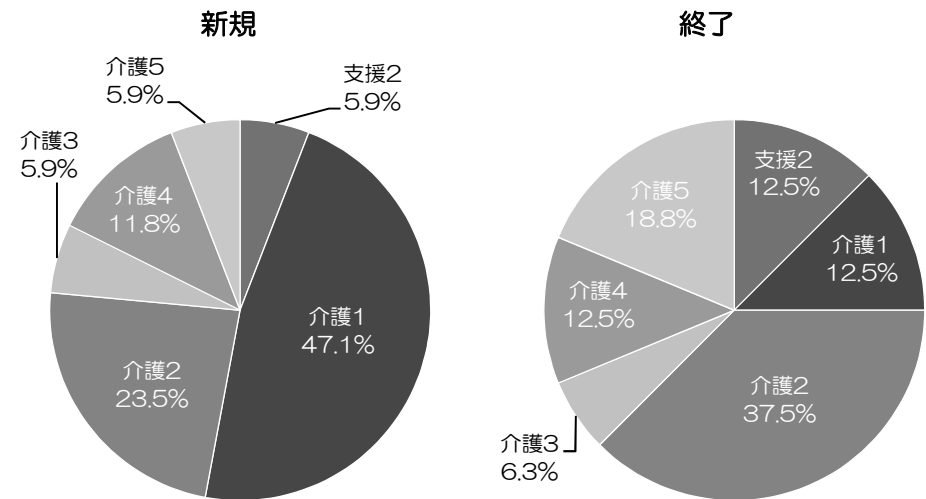
### a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 17名	2 (0)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (2)	1 (0)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	2 (5)
支援終了 16名	2 (5)	0 (2)	4 (3)	1 (1)	0 (2)	1 (2)	3 (6)	0 (30)	0 (3)	2 (2)	1 (3)	2 (3)

※（ ）内は前年度数値

### b. 介護度別構成



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	0 (2)	1 (2)	8 (4)	4 (6)	1 (2)	2 (0)	1 (1)	2.58 (1.41)
終了	0 (0)	0 (9)	2 (5)	2 (15)	6 (7)	1 (9)	2 (11)	3 (6)	2.29 (2.17)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出

c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	5	3	8
その他地域包括	6	0	6
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他居宅	0	0	0
他事業所	1	0	1
配偶者等を担当	0	1	1
知人紹介	0	0	0
自己検索	0	0	0
その他	0	1	1
合計	12	5	17

地域包括：直近地域包括が多いがその他包括からの依頼も多くなっている

※次年度以降も地域包括支援センターとの連携は重要である

d. 支援終了理由

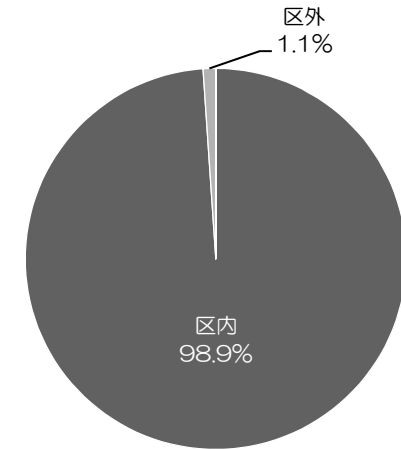
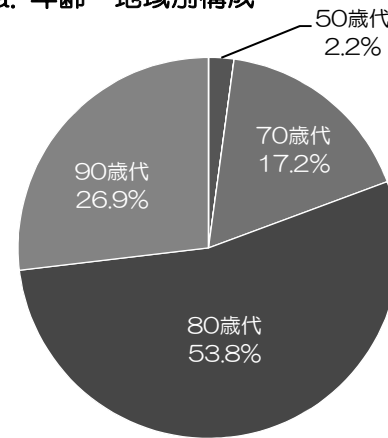
単位：人

理由	男性	女性	合計
死亡	4	2	6
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施設入所	1	1	2
利用者解約	0	0	0
事業所解約	0	0	0
その他	2	6	8
合計	7	9	16

2. 現員者の状況

※2021.03.31 登録者：93 名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	1 (1)	0 (0)	5 (11)	24 (19)	10 (6)	0 (0)	40 (37)
女性	1 (1)	0 (0)	11 (9)	26 (29)	15 (13)	0 (0)	53 (52)
全体	2 (2)	0 (0)	16 (20)	50 (48)	25 (19)	0 (0)	93 (89)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

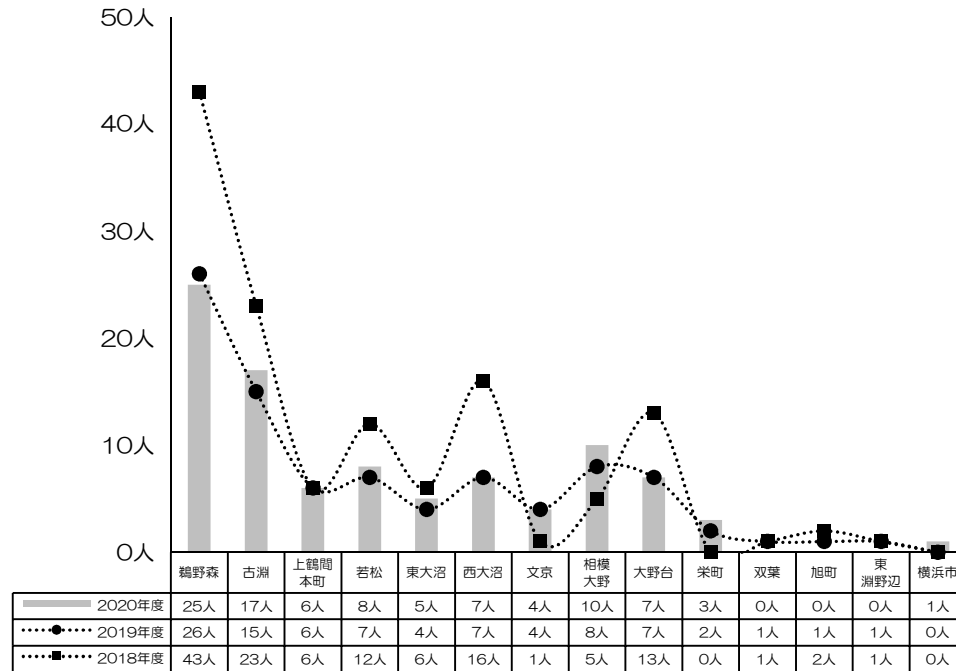
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	40 (38)	52 (50)	92 (88)
区外	0 (0)	1 (1)	1 (1)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	40 (38)	53 (51)	93 (89)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	97歳 6ヶ月 (96歳 5ヶ月)	54歳 11ヶ月 (53歳 2ヶ月)	84.78歳 (82.79歳)
女性	96歳 3ヶ月 (97歳 8ヶ月)	57歳 2ヶ月 (56歳 2ヶ月)	84.94歳 (84.77歳)
全体	97歳 6ヶ月 (97歳 8ヶ月)	54歳 11ヶ月 (53歳 2ヶ月)	84.78歳 (83.93歳)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所



2020年度もほぼ「南区」の方が対象となった。

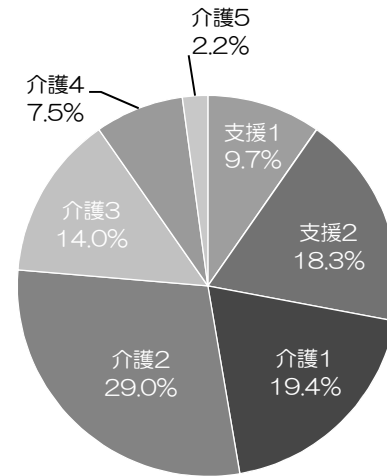
鶴野森 = 26.88%

古淵 = 18.28%

上鶴間本町 = 6.45%

上記3地区（法人事業展開エリア）で51.61%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2合計  
26人 (27.96%)
- ② 要介護1・2合計  
45人 (48.39%)
- ③ 要介護3・4・5合計  
22人 (23.66%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (1)	5 (5)	5 (6)	10 (7)	14 (14)	4 (4)	2 (1)	0 (0)	1.48 (1.38)
女性	0 (0)	4 (5)	12 (13)	8 (8)	13 (17)	9 (5)	5 (2)	2 (2)	1.75 (1.48)
合計	0 (1)	9 (10)	17 (19)	18 (15)	27 (31)	13 (9)	7 (3)	2 (2)	1.64 (1.44)

※ ( ) 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

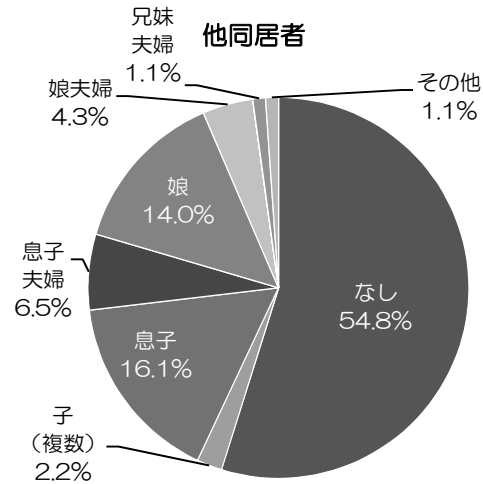
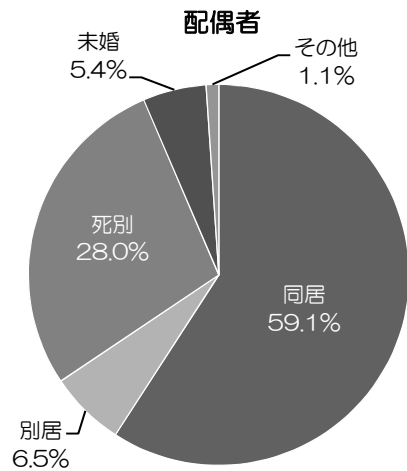
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

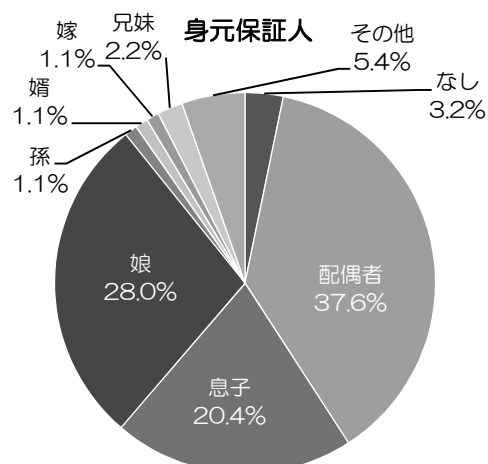
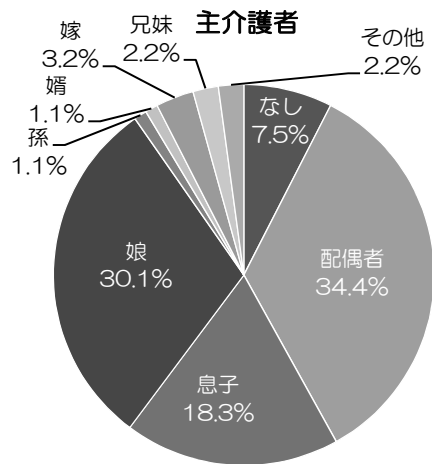
第一段階	第二段階	第三段階	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (1)	93 (88)	93 (89)

※ ( ) 内は前年度数値

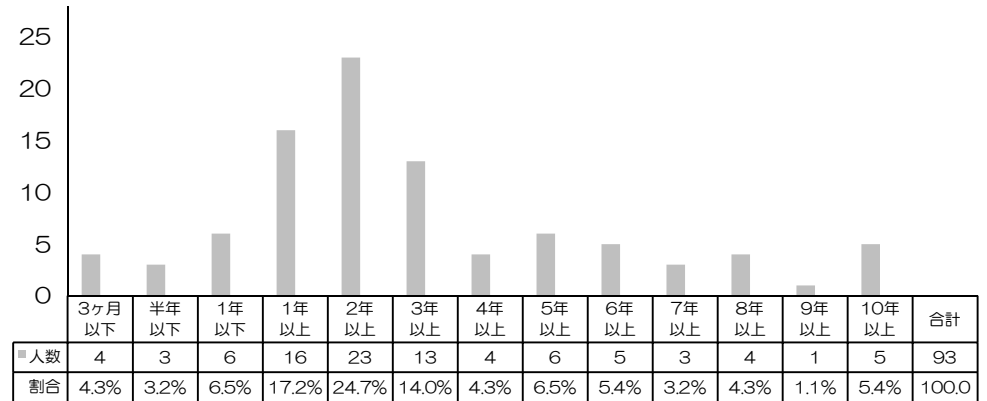
#### d. 世帯構成



#### e. 本人支援状況



#### f. 利用期間



#### g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	9	9	4	6	5	0	2	0	0	35
女性	14	13	4	7	4	2	5	0	0	49
合計	23	22	8	13	9	2	7	0	0	84

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

#### h. 日常生活動作状況

単位：人

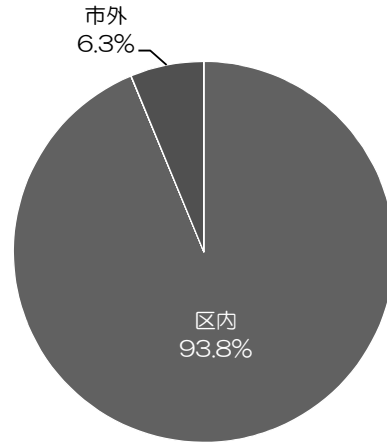
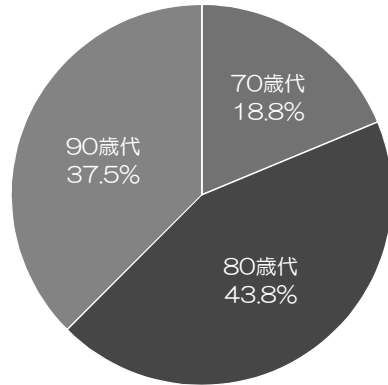
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	1	2	9	8	8	4	3	0	0	0	35
女性	5	3	16	5	10	5	4	1	0	0	49
合計	6	5	25	13	18	9	7	1	0	0	84

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

### 3. 終了者の状況

#### a. 年齢・地域別構成

※2020年度終了者：16名に対する値



●年齢構成 単位：人（延べ） / ( ) 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (1)	2 (6)	4 (9)	1 (4)	0 (0)	7 (20)
女性	0 (0)	0 (0)	1 (6)	3 (18)	5 (17)	0 (1)	9 (42)
全体	0 (0)	0 (1)	3 (12)	7 (27)	6 (21)	0 (1)	16 (62)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

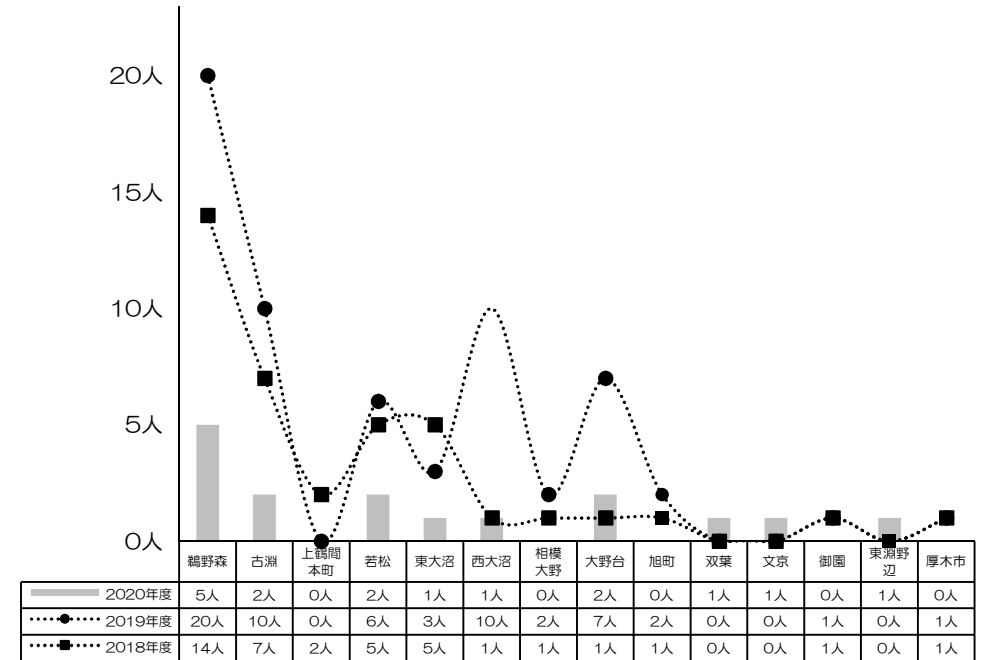
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原 市南区	7 (20)	8 (41)	15 (61)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	1 (1)	1 (1)
県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	7 (20)	9 (42)	16 (62)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	97歳 6ヶ月 (98歳 4ヶ月)	77歳 9ヶ月 (66歳 6ヶ月)	84.57歳 (81.74歳)
女性	98歳 8ヶ月 (100歳 4ヶ月)	76歳 7ヶ月 (73歳 6ヶ月)	88.33歳 (87.50歳)
全体	97歳 6ヶ月 (100歳 4ヶ月)	77歳 9ヶ月 (66歳 6ヶ月)	86.69歳 (85.70歳)

※解約日当日の年齢 / ( ) 内は前年度数値

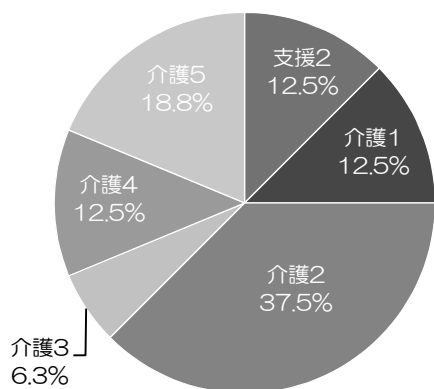
#### ●登録住所



終了者は「南区在住」の方で15名、「中央区在住」の方で1名。



### b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援 1・2 合計  
2人 (12.50%)
  - ② 要介護 1・2 合計  
8人 (50.00%)
  - ③ 要介護 3・4・5 合計  
6人 (37.50%)
- 前年度はケアマネジャー1名の退職のため、終了者数は多かったが、今年度は2名体制として、平均的な終了者数と思われる。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	0 (4)	1 (0)	1 (3)	3 (4)	0 (1)	1 (7)	1 (1)	2.29 (2.51)
女性	0 (0)	0 (5)	1 (5)	1 (12)	3 (3)	1 (8)	1 (4)	2 (5)	2.67 (2.01)
合計	0 (0)	0 (9)	2 (5)	2 (15)	6 (7)	1 (9)	2 (11)	3 (6)	2.51 (2.17)

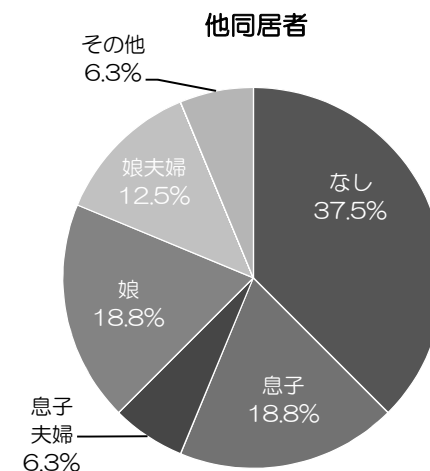
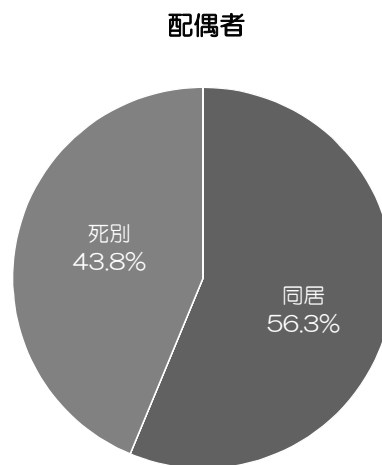
※ ( ) 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

### c. 介護保険負担限度額認定

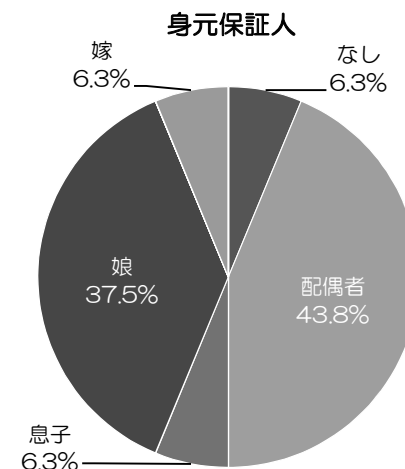
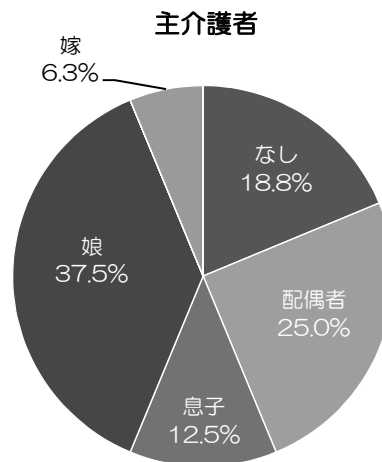
単位：人

第一段階	第二段階	第三段階	第四段階 (含：未申請)	合計
0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (62)	16 (62)

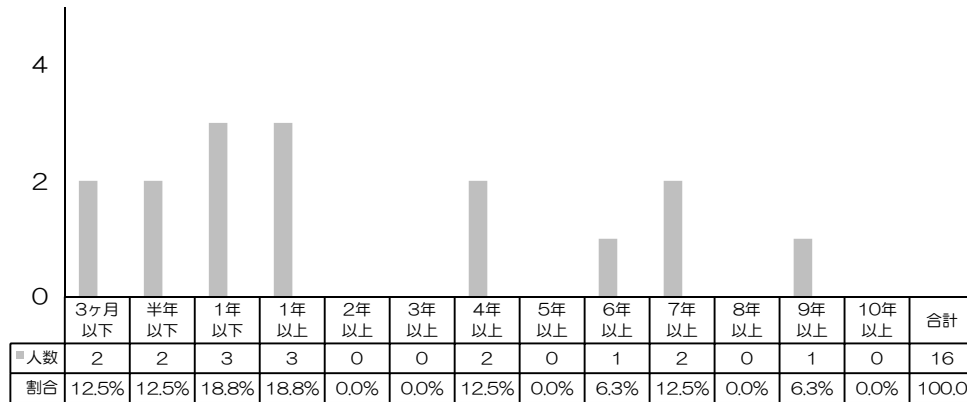
### d. 世帯構成



### e. 本人支援状況



## f. 利用期間



## g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	2	1	0	1	0	1	0	0	0	5
女性	1	2	1	1	2	0	1	0	0	8
合計	3	3	1	2	2	1	1	0	0	13

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

## h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	1	2	2	0	0	0	0	3	5
女性	0	0	3	2	0	2	1	0	0	4	8
合計	0	0	4	4	2	2	1	0	0	7	13

※認定調査票・主事意見書未取得者を除く

## 4. 介護サービス展開状況 ※2020年度利用者延べ：109名に対する値

### a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	8	5	2	4	6	5	7	5	3	3	5	58
B	2	5	3	6	3	3	6	5	2	8	11	3	57
C													
合計	7	13	8	8	7	9	11	12	7	11	14	8	115

### b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	8	5	2	4	6	5	7	5	3	3	5	58
B	2	5	3	6	3	3	6	5	2	8	11	3	57
C													
合計	7	13	8	8	7	9	11	12	7	11	14	8	115

新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者全員を招集しての開催にはリスクが伴うため、状況に合わせて照会などを交えながら実施した。

### c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	62	45	35	15	16	4	1

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	5	3	0	0	0
支援2	0	9	3	3	0	2
介護1	1	8	6	2	1	0
介護2	4	4	6	5	5	3
介護3	1	3	3	4	0	2
介護4	1	0	0	1	2	3
介護5	0	0	0	0	2	0
合計	8	29	21	15	10	10

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	1	5	3	0	0	0
支援2	0	9	4	2	2	0
介護1	1	8	6	3	0	0
介護2	4	5	8	4	6	0
介護3	1	3	5	4	0	0
介護4	1	0	0	2	4	0
介護5	0	0	1	0	1	0
合計	8	30	27	15	13	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

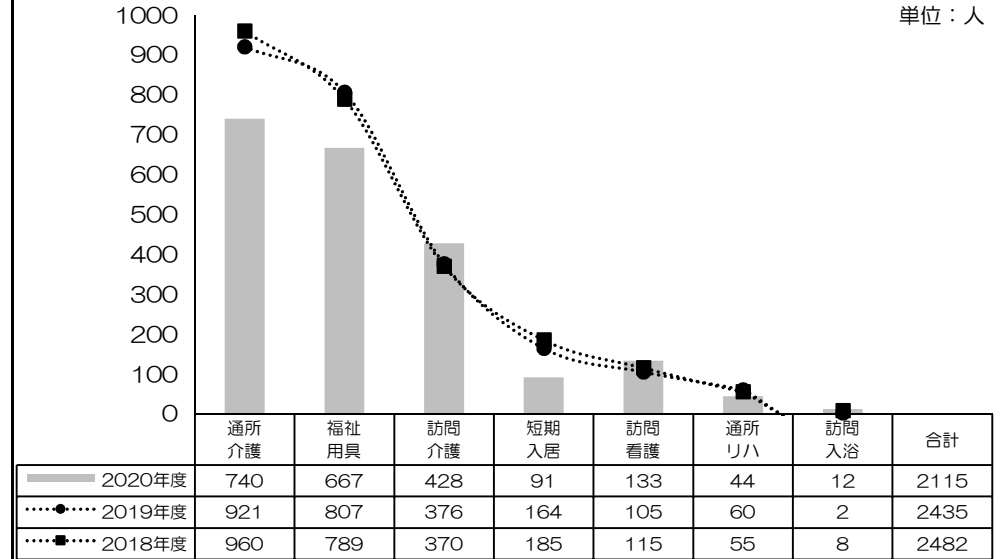
単位：人

施設 種別	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2018年度	7	3	9	29	2	2	2	1	8	4
2019年度	6	4	7	25	2	2	2	1	5	1
2020年度	8	0	8	21	0	5	1	0	4	1

※申＝入居申込のみ ※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	55	54	61	63	65	64	66	65	64	59	62	62	740
福祉用具	52	53	55	53	54	59	59	58	56	58	56	54	667
訪問介護	33	31	34	33	35	36	38	38	38	38	39	35	428
短期入居	6	6	7	6	7	6	9	10	9	10	7	8	91
訪問看護	9	8	9	10	11	11	13	15	13	13	11	10	133
通所リハ	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	44
訪問入浴	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
住宅改修	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	7

### i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種類	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	5	77	101	163	230	81	46	14	717
福祉用具	0	56	117	109	172	114	74	25	667
訪問介護	0	11	83	101	131	29	57	16	428
短期入居	0	0	0	2	39	22	26	2	91
訪問看護	0	0	0	40	58	6	17	12	133
通所リハ	0	0	11	0	21	12	0	0	44
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	12	12
住宅改修	0	0	0	2	4	1	0	0	7

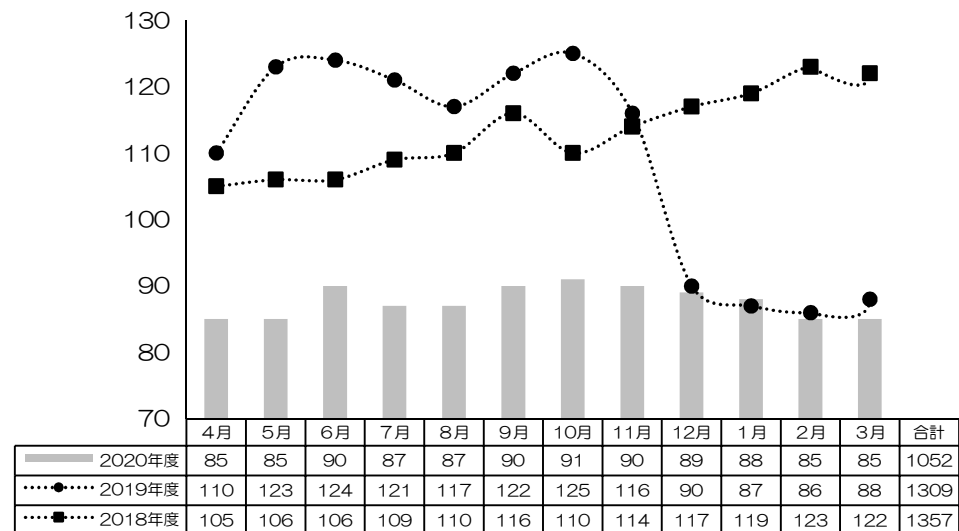
### j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

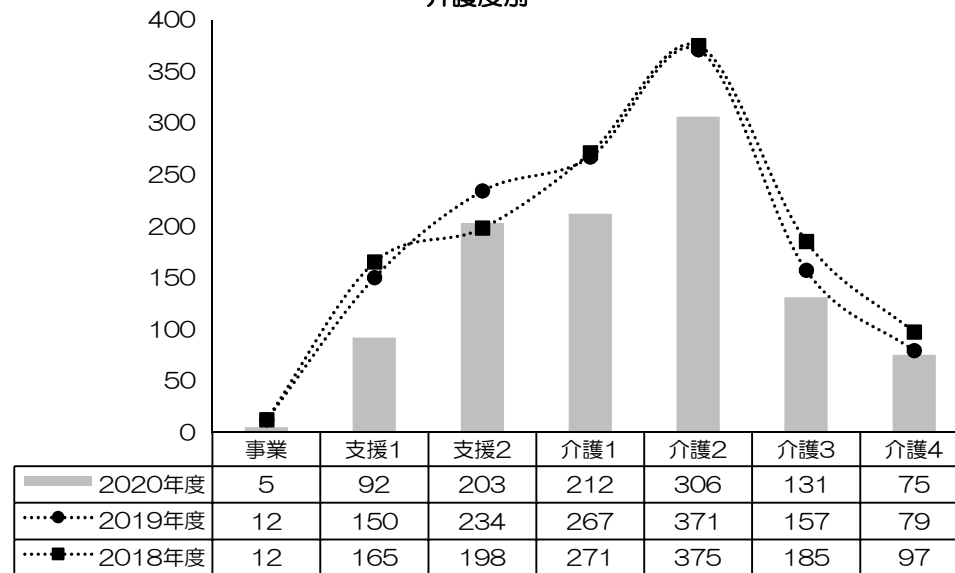
品目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	11	0	62	25	37	25	160
車いす附属品	0	11	0	1	13	0	0	25
特殊寝台	0	24	24	86	108	48	25	315
特殊寝台附属品	0	24	24	98	96	84	25	351
床ずれ防止用具	0	0	0	12	1	0	25	38
体位変換器	0	0	0	0	1	0	0	1
手すり	60	132	79	254	94	1	12	632
スロープ	12	0	0	1	0	14	24	51
歩行器	12	84	50	110	12	39	0	307
歩行補助つえ	23	1	1	48	24	11	0	108
徘徊感知機器	0	0	0	0	13	12	0	25
移動用リフト	0	0	0	12	12	0	12	36
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	107	287	178	684	399	246	148	2049

### k. 給付管理実績

月別



介護度別



自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	150,518	145,253	166,038	190,301	652,110
SSモモ	16,056	21,262	37,996	22,784	98,098
DSピノ	12,441	12,391	12,441	13,522	50,795
SSピノ	1,870	0	0	0	1,870
合計	180,885	178,906	216,475	226,607	802,873
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	169,877	178,988	185,799	173,188	707,852
SSモモ	34,710	26,274	28,890	29,278	119,152
DSピノ	13,572	14,603	11,290	14,453	53,918
SSピノ	0	0	1,870	0	1,870
合計	218,159	219,865	227,849	216,919	882,792
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	183,817	166,607	185,544	197,007	732,975
SSモモ	33,800	41,950	19,710	29,914	125,374
DSピノ	14,403	13,122	13,172	14,303	55,000
SSピノ	0	0	7,512	2,016	9,528
合計	232,020	221,679	225,938	243,240	922,877

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	2,092,937 単位 (×10.54 円)	174,411 単位 (×10.54 円)
SSモモ	342,624 単位 (×10.66 円)	28,552 単位 (×10.66 円)
DSピノ	159,713 単位 (×10.66 円)	13,309 単位 (×10.66 円)
SSピノ	13,268 単位 (×10.66 円)	1,105 単位 (×10.66 円)
合計	2,608,542 単位	217,378 単位

●SSピノの実績がない月は、依頼はしているが、空きがなかったり、重度の認知症利用者の受入れが難しいケースが続いていたため、実績に繋がらなかった。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2018年度	4	8	12
2019年度	4	2	6
2020年度	3	4	7

5. 苦情

2020年度の苦情は0件

6. 相談

新規受け入れ相談は、ほぼ全て受諾。  
その他に大きな相談/支援実施は無し。

## 7. 認定調査

### a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2018年度	45	65	110	132.5%
2019年度	29	45	74	67.3%
2020年度	2	3	5	0.6%

### b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2018年度	0	0	110	110
2019年度	0	0	74	74
2020年度	0	0	5	5

### c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模原市	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和2年5月以降、新型コロナウイルスの感染まん延防止の観点から未訪問となる。

### d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							合計	割合（%）
		50	60	70	80	90	100			
支援1	男性	0	0	0	1	0	0	1	40.0	
	女性	0	0	0	1	0	0	1		
	合計	0	0	0	2	0	0	2		
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	20.0	
	女性	0	0	0	1	0	0	1		
	合計	0	0	0	1	0	0	1		
介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0	
	女性	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	0	0	0	0	0	0	0		
介護2	男性	0	0	0	1	0	0	1	20.0	
	女性	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	0	0	0	1	0	0	1		
介護3	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0	
	女性	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	0	0	0	0	0	0	0		
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	20.0	
	女性	0	0	0	1	0	0	1		
	合計	0	0	0	1	0	0	1		
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	00.0	
	女性	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	0	0	0	0	0	0	0		
合計	男性	0	0	0	2	0	0	2	5	
	女性	0	0	0	3	0	0	3		
	合計	0	0	0	5	0	0	5		
割合（%）		0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0			

## 8. 代行申請

### a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	2	1	1	3	0	0	2	0	2	2	2	3
区変	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	1	3	1	2	2	0	2	3	2	3
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	2	3	1	3	1	2	2	0	2	3	2	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和2年5月から更新申請は本人、家族希望により、1年延長出来る措置が実施される。

### b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内訳												
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

## 以下は相模原市独自事業

### c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

### d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

### e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名



ケアステーションナナ

2018年度にそれまでの訪問介護から居宅介護支援への事業変更となり、同年9月に管理者兼ケアマネジャー1人体制でのスタートとなった。

定員を安定させるため、大野中・大沼・大野台の各高齢者支援センターへの挨拶回から新規依頼の獲得に繋がり、2020年度は特に大野中高齢者支援センターからの新規依頼が頻繁に寄せられた。

介護予防（要支援）委託事業の受託契約も積極的に受け入れをしており、大野中・大沼・大野台・上鶴間・大野南の各高齢者支援センターから、徐々に介護予防（要支援）利用者の人数が増えてきており、各地域包括との連携が取れるようになってきている。「介護予防・日常生活支援総合事業」を受け入れできるといふ、実績を積むことも出来た。

既に稼働率は安定して90%超となっており、今後は実績維持・向上のために各高齢者支援センターとの連携と受託範囲の拡大を図っていくが、フレイグランドオーリーブナナの入居者を優先的に受託・担当していく方針は継続していく。

1. 利用者の推移

a. 月毎の新規契約・支援終了者

単位：人

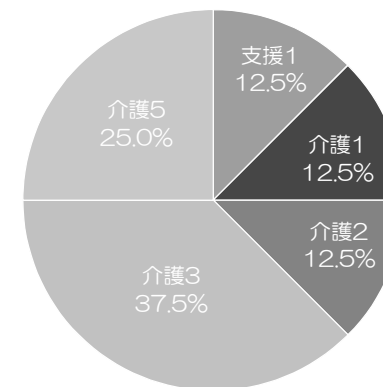
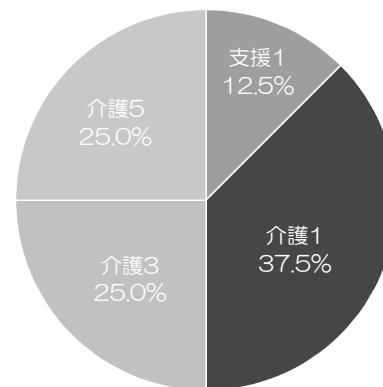
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規契約 8名	0 (3)	0 (3)	1 (1)	1 (3)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (5)	1 (1)	0 (0)	1 (0)
支援終了 8名	0 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)

※（ ）内は前年度数値

b. 介護度別構成

新規

終了



単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
新規	0 (0)	1 (0)	0 (6)	3 (8)	0 (2)	2 (1)	0 (2)	2 (0)	3.53 (1.18)
終了	0 (0)	1 (2)	0 (2)	1 (1)	1 (2)	3 (0)	1 (3)	1 (1)	3.66 (2.13)

※（ ）内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50換算で算出



c. 新規依頼経路

単位：人

経路	男性	女性	合計
直近地域包括	2	2	4
その他地域包括	2	1	3
市担当課	0	0	0
病院 MSW 等	0	0	0
他居宅	0	1	1
他事業所	0	0	0
配偶者等を担当	0	0	0
知人紹介	0	0	0
自己検索	0	0	0
その他	0	0	0
合計	4	4	8

地域包括：直近地域包括が多いがその他包括からの依頼も多かった。

※次年度以降も地域包括支援センターとの連携は重要である

d. 支援終了理由

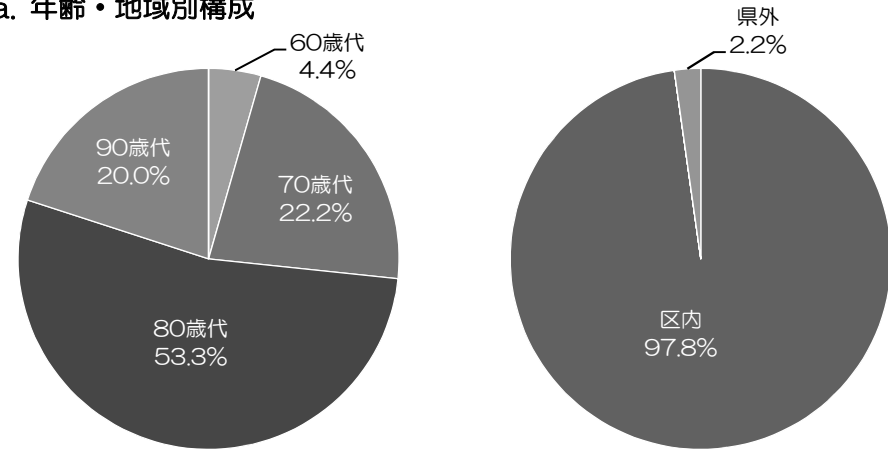
単位：人

理由	男性	女性	合計
死亡	1	0	1
認定「自立」	0	0	0
認定「要支援」	0	0	0
施設入所	0	5	6
利用者解約	0	0	0
事業所解約	0	0	0
その他	0	1	1
合計	1	7	8

2. 現員者の状況

※2021.03.31 登録者：45名に対する値

a. 年齢・地域別構成



●年齢構成 単位：人（延べ） / （ ）内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	1 (1)	4 (4)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	14 (14)
女性	0 (0)	1 (1)	6 (6)	17 (17)	7 (7)	0 (0)	31 (31)
全体	0 (0)	2 (2)	10 (10)	24 (24)	9 (9)	0 (0)	45 (45)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

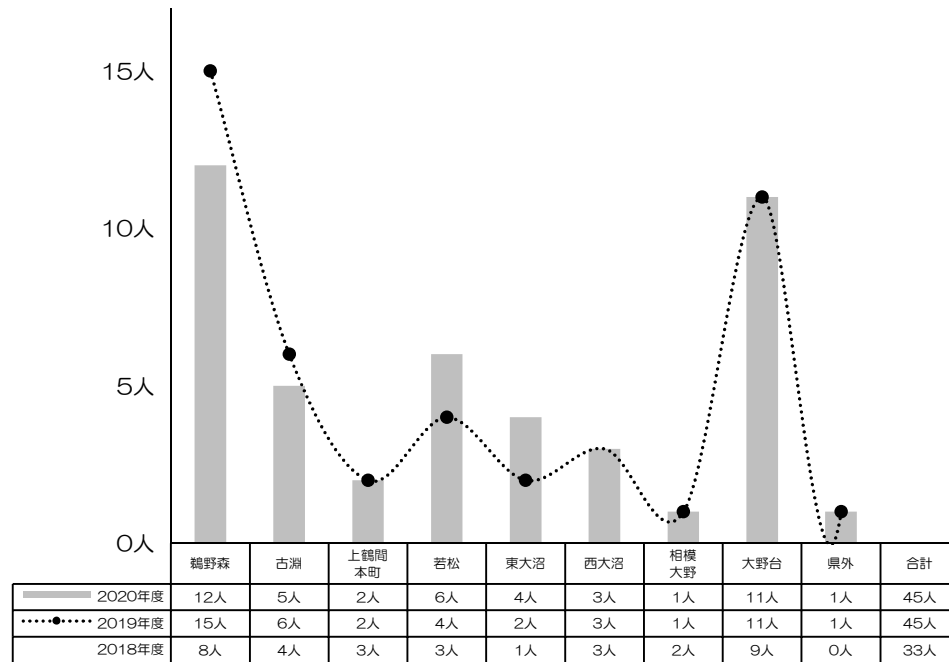
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原市南区	14 (14)	30 (30)	44 (44)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	1 (1)	1 (1)
合計	14 (14)	31 (31)	45 (45)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	100歳 2ヶ月 (99歳 0ヶ月)	62歳 4ヶ月 (61歳 0ヶ月)	80歳 2ヶ月 (80歳 0ヶ月)
女性	98歳 3ヶ月 (98歳 0ヶ月)	70歳 3ヶ月 (69歳 0ヶ月)	85歳 3ヶ月 (85歳 0ヶ月)
全体	100歳 2ヶ月 (99歳 0ヶ月)	62歳 4ヶ月 (61歳 0ヶ月)	83歳 4ヶ月 (83歳 0ヶ月)

※（ ）内は前年度数値

●登録住所

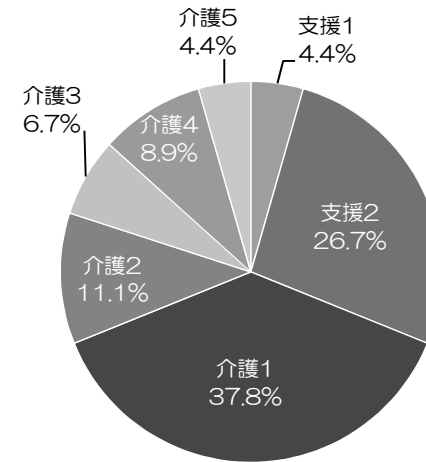


2020年度もほぼ「南区」の方が対象となった。

鶴野森 = 26.67%  
古淵 = 11.11%  
上鶴間本町 = 4.44%

上記3地区（法人事業展開エリア）で42.22%の割合を占めている。

b. 介護度別構成



- ① 事業対象者/要支援1・2合計 14人 (31.11%)
- ② 要介護1・2合計 22人 (48.89%)
- ③ 要介護3・4・5合計 9人 (20.00%)

介護報酬増加の観点からも、上記③の割合をもう少し増加させたいところではあるが、主に担当しているサ高住ナナの入居者は軽介護度が多く、その受入れは避ける事が出来ない実情がある。

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	1 (0)	6 (8)	5 (4)	3 (1)	2 (0)	0 (0)	1 (1)	1.25 (0.81)
女性	0 (0)	1 (3)	6 (7)	12 (16)	2 (1)	1 (1)	4 (3)	1 (0)	1.48 (1.10)
合計	0 (0)	2 (3)	12 (15)	17 (20)	5 (2)	3 (1)	4 (3)	2 (1)	1.38 (1.01)

※ ( ) 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

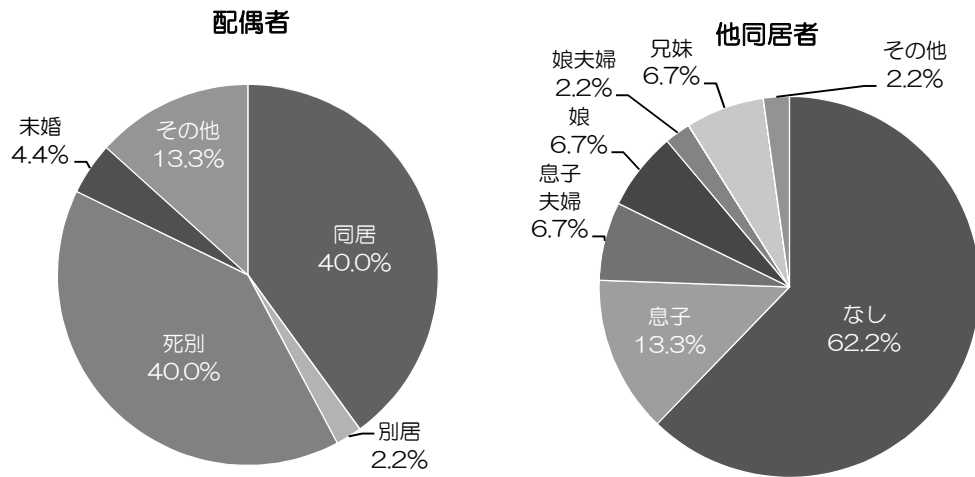
c. 介護保険負担限度額認定

単位：人

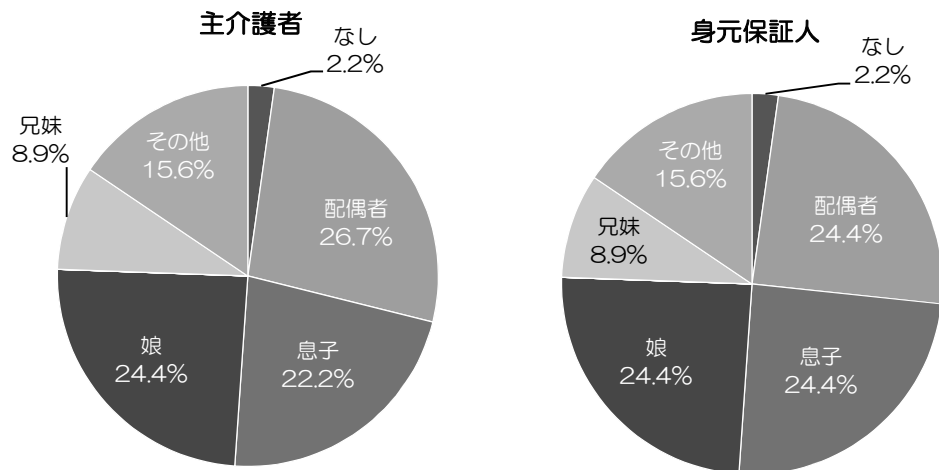
第一段階	第二段階	第三段階	第四段階 (含：未申請)	合計
2 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (45)	45 (45)

※ ( ) 内は前年度数値

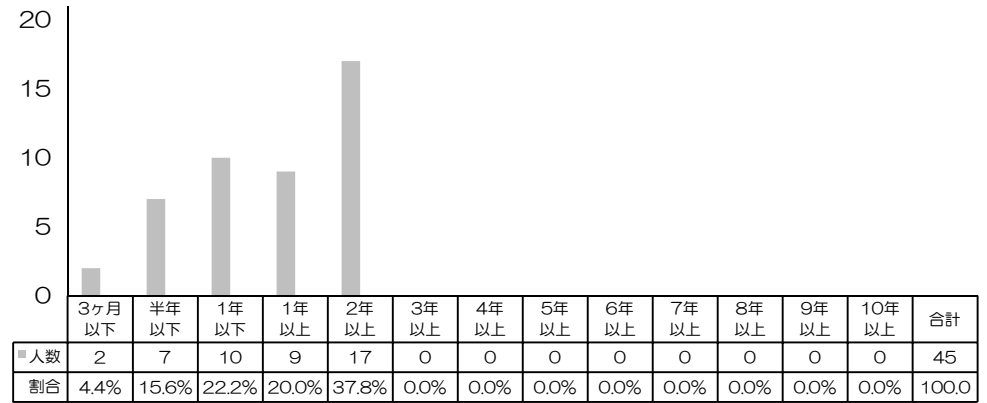
#### d. 世帯構成



#### e. 本人支援状況



#### f. 利用期間



#### g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	2	3	4	4	0	0	1	0	0	14
女性	7	13	7	2	0	0	1	0	0	31
合計	9	16	11	6	0	0	2	0	0	45

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

#### h. 日常生活動作状況

単位：人

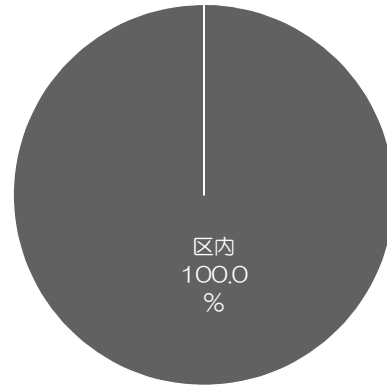
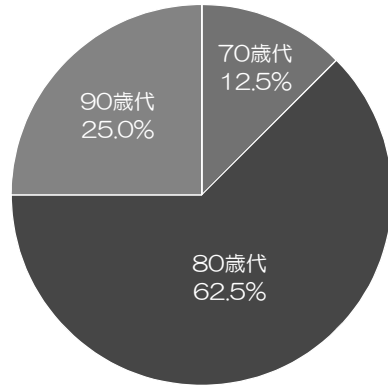
基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	1	2	3	3	3	2	0	0	0	0	14
女性	2	12	7	4	2	2	2	0	0	0	31
合計	3	14	10	7	5	4	2	0	0	0	45

※認定調査票・主事意見書取得申請中者を除く

### 3. 終了者の状況

#### a. 年齢・地域別構成

※2020年度終了者：8名に対する値



●年齢構成 単位：人（延べ） / ( ) 内は前年度数

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	合計
男性	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
女性	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)	1 (1)	0 (0)	7 (2)
全体	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (2)
二 号	0 (0)	0 (0)					0 (0)

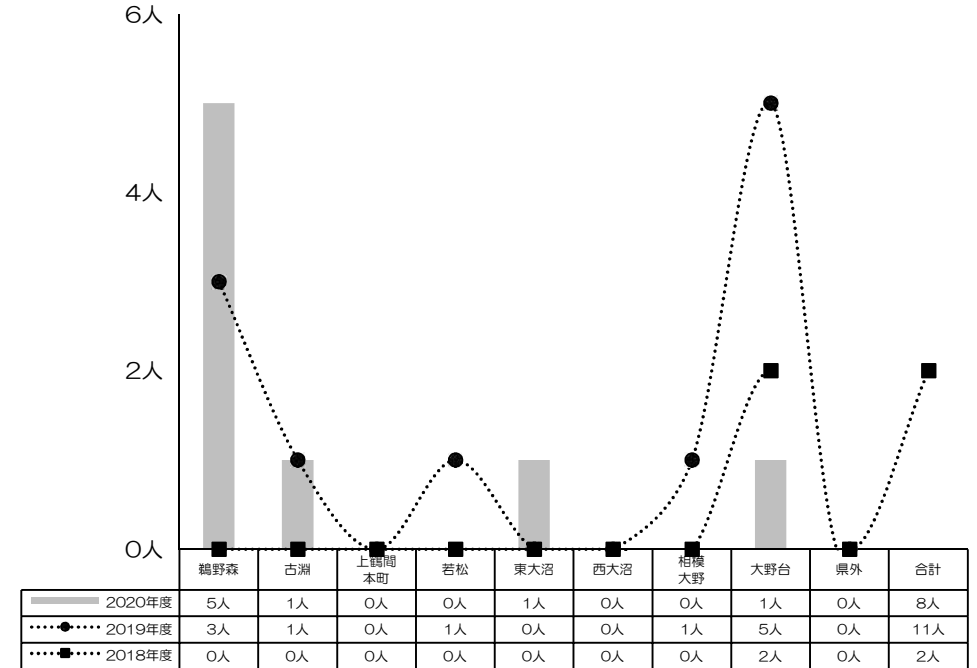
●地域 単位：人（延べ）

地域	男性	女性	合計
相模原 市南区	1 (0)	7 (1)	7 (1)
区外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
県外	0 (0)	0 (1)	0 (1)
合計	1 (0)	7 (2)	8 (2)

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	73歳 10ヶ月 (85歳 0ヶ月)	73歳 10ヶ月 (70歳 0ヶ月)	73歳 10ヶ月 (76歳 0ヶ月)
女性	93歳 2ヶ月 (85歳 0ヶ月)	81歳 2ヶ月 (67歳 0ヶ月)	85歳 8ヶ月 (78歳 5ヶ月)
全体	93歳 2ヶ月 (85歳 0ヶ月)	73歳 10ヶ月 (67歳 0ヶ月)	82歳 3ヶ月 (77歳 0ヶ月)

※解約日当日の年齢 / ( ) 内は前年度数値

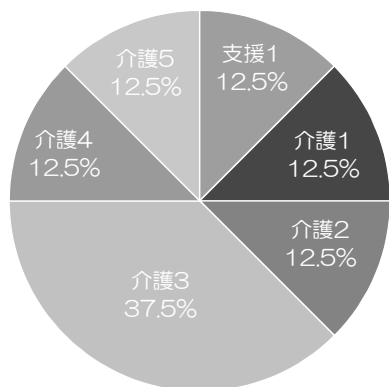
#### ●登録住所



終了者は「南区在住」の方で8名。

開設してから期間が短い為、終了者が少ないが、今後終了が増える可能性もあり、積極的に新規を獲得して、実績の低下を防ぐ必要がある。

b. 介護度別構成



- ① 要支援 1・2 合計  
1人 (12.50%)
- ② 要介護 1・2 合計  
2人 (25.00%)
- ③ 要介護 3・4・5 合計  
5人 (62.50%)

単位：人

介護度	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	平均
男性	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	2.00 (2.10)
女性	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (0)	1 (1)	1 (1)	3.86 (2.40)
合計	0 (0)	1 (2)	0 (2)	1 (1)	1 (3)	3 (0)	1 (3)	1 (1)	3.63 (2.31)

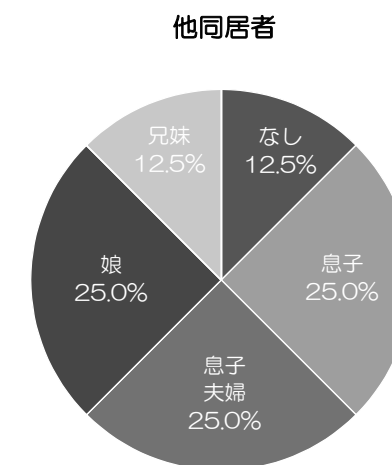
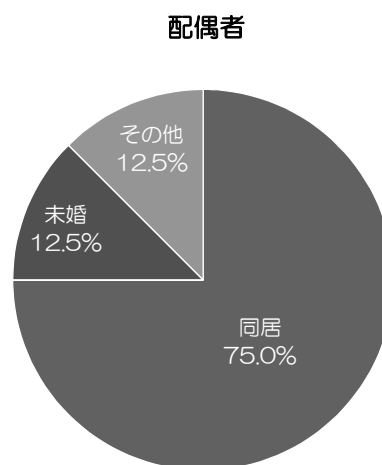
※ ( ) 内は前年度数値 / 平均：要支援1=0.25・要支援2=0.50 換算で算出

c. 介護保険負担限度額認定

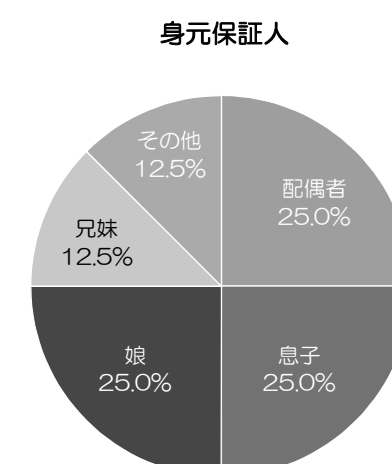
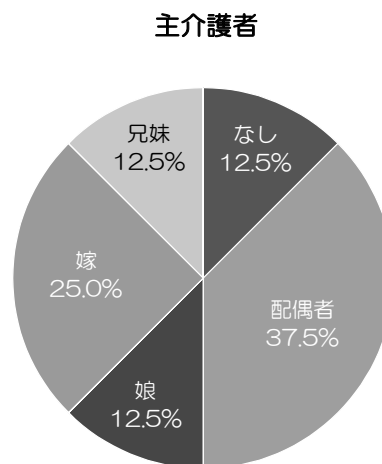
単位：人

第一段階	第二段階	第三段階	第四段階 (含：未申請)	合計
1 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (11)	8 (11)

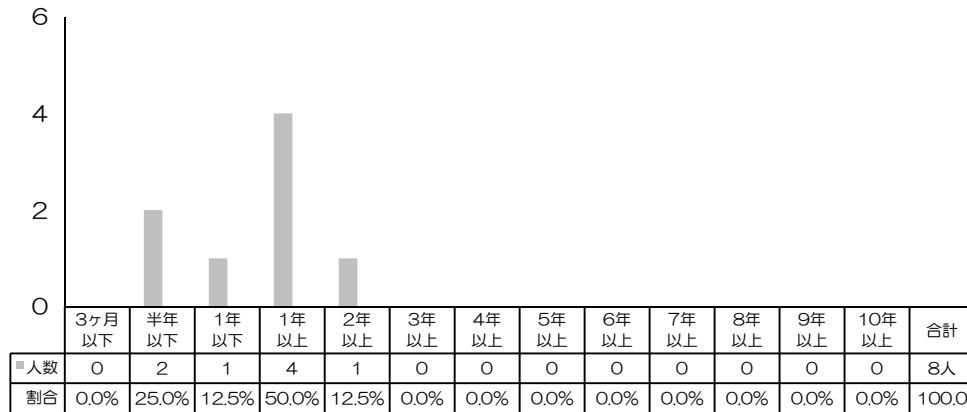
d. 世帯構成



e. 本人支援状況



#### f. 利用期間



#### g. 認知症の状況

単位：人

基準	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明	合計
男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女性	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7
合計	0	0	1	5	0	2	0	0	0	8

#### h. 日常生活動作状況

単位：人

基準	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
女性	0	1	0	2	2	1	0	1	0	0	7
合計	0	1	0	3	2	1	0	1	0	0	8

#### 4. 介護サービス展開状況 ※2020年度利用者延べ：53名に対する値

##### a. ケアプラン（居宅サービス計画書）作成

単位：件

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	4	2	6	5	3	4	5	7	4	5	3	53
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	4	2	6	5	3	4	5	7	4	5	3	53

##### b. サービス担当者会議

単位：回

職員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A	5	4	2	6	5	3	4	5	7	4	5	3	53
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5	4	2	6	5	3	4	5	7	4	5	3	53

新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者全員を招集しての開催にはリスクが伴うため、状況に合わせて照会などを交えながら実施した。

##### c. 関連事業所

単位：事業所（数）

	通所介護	福祉用具	訪問介護	短期入居	訪問看護	通所リハ	訪問入浴
事業所	18	18	9	5	3	1	0

d. 個人別契約事業所

単位：人

	利用なし	1事業所	2事業所	3事業所	4事業所	5事業所超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	0	3	0	0	0	0
支援2	0	8	2	2	1	0
介護1	0	9	8	3	1	0
介護2	0	4	1	1	0	0
介護3	0	1	0	0	0	0
介護4	0	2	3	1	0	0
介護5	0	0	0	2	0	0
合計	0	27	14	9	2	0

e. 複数サービス利用

単位：人

	利用なし	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類超
事業	0	0	0	0	0	0
支援1	0	3	0	0	0	0
支援2	0	8	3	1	1	0
介護1	0	9	8	2	1	0
介護2	0	4	1	1	0	0
介護3	0	1	0	0	0	0
介護4	0	2	3	2	0	0
介護5	0	0	2	0	0	0
合計	0	27	17	6	2	0

f. 自法人併設サービス利用（契約数）

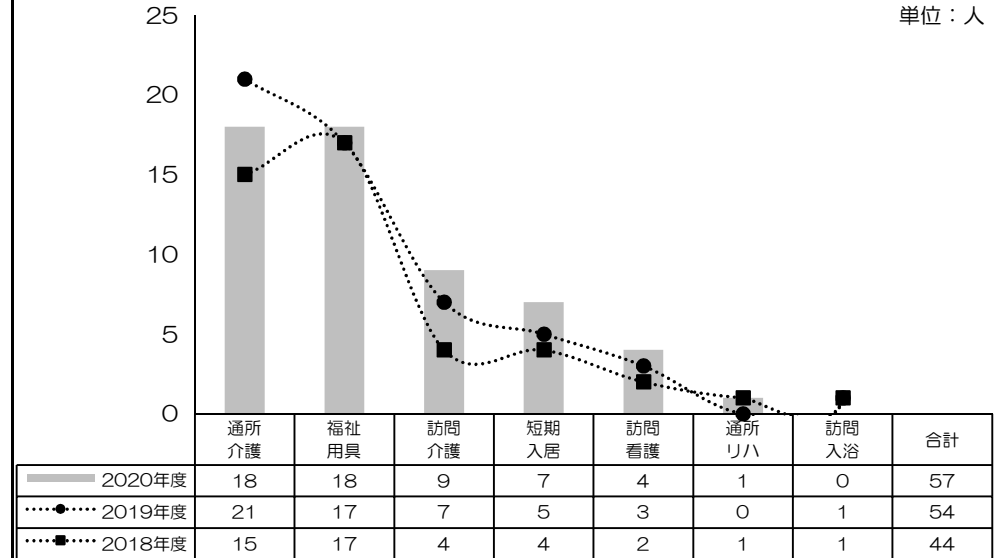
単位：人

種別	MOMO						PINO			
	特養		SS	DS	ケア		特養		SS	DS
	申	入			申	入	申	入		
2018年度	2	0	1	5	0	0	1	0	4	1
2019年度	1	1	0	6	1	0	3	0	4	1
2020年度	0	0	0	6	0	0	4	4	9	0

※申＝入居申込み ※入＝入居（特養の場合はそれを理由に契約終了となった者）

g. 種類別サービス利用件数

単位：人



h. 月別サービス利用

単位：人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	15	21	21	23	23	25	28	27	29	31	32	33	335
福祉用具	19	18	18	22	22	23	23	19	22	17	18	19	240
訪問介護	12	10	10	10	10	12	13	13	16	13	13	12	144
短期入居	5	2	4	4	2	3	3	4	3	4	4	6	44
訪問看護	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	47
通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

### i. 介護度別サービス利用

単位：人（延べ）

種類	総合事業	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
通所介護	0	1	12	10	1	0	2	1	27
福祉用具	0	0	7	3	3	0	2	1	18
訪問介護	0	1	4	8	1	0	0	1	15
短期入居	0	0	1	1	2	2	2	1	9
訪問看護	0	0	2	1	1	0	1	1	5
通所リハ	0	0	1	0	0	0	0	0	1
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修	0	0	1	1	0	0	0	0	2

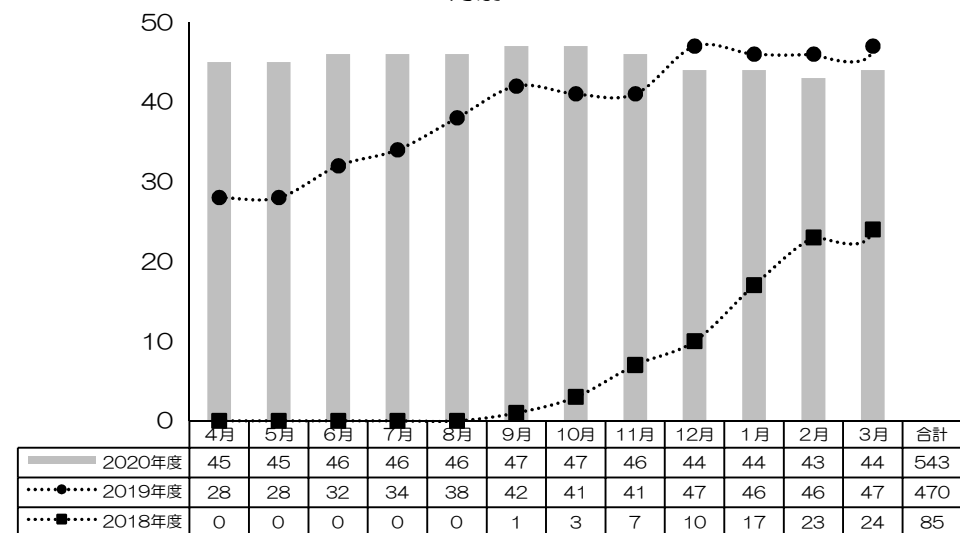
### j. 福祉用具品目別利用傾向

単位：人（延べ）

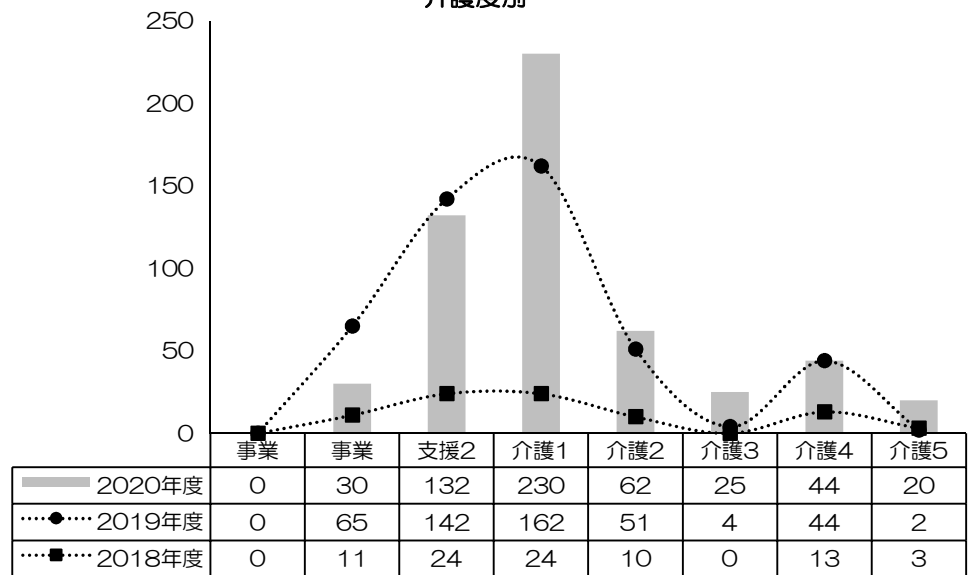
品目	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
車いす	0	0	3	2	0	2	1	8
車いす附属品	0	0	1	2	0	0	1	4
特殊寝台	0	4	5	1	0	1	1	12
特殊寝台附属品	0	4	5	1	0	1	1	12
床ずれ防止用具	0	0	0	0	0	0	2	2
体位変換器	0	0	0	0	0	0	0	0
手すり	0	4	9	1	0	1	0	15
スロープ	0	0	0	0	0	1	0	1
歩行器	0	3	2	1	0	0	0	6
歩行補助つえ	0	1	2	0	0	0	0	3
徘徊感知機器	0	0	0	0	0	0	0	0
移動用リフト	0	0	0	0	0	0	0	0
自動排泄処理装置	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	16	28	8	0	6	5	63

### k. 給付管理実績

月別



介護度別





自法人併設サービス別（利用実績単位数）

施設/月	4月	5月	6月	7月	第一期
DSモモ	37667	34751	33154	23582	129154
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	6610	5288	5288	6610	23796
SSピノ	18324	21868	36704	31424	108320
合計	62601	61907	75146	61616	261270
施設/月	8月	9月	10月	11月	第二期
DSモモ	42188	36732	47699	26370	152989
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	3966	0	0	0	3966
SSピノ	78361	60851	42547	40154	221913
合計	124515	97583	90246	66524	378868
施設/月	12月	1月	2月	3月	第三期
DSモモ	72761	42827	42302	51343	209233
SSモモ	0	0	0	0	0
DSピノ	0	0	0	0	0
SSピノ	22358	8608	25884	45178	102028
合計	95119	51435	68186	96521	311261

施設	年度合計	年度月平均
DSモモ	491376 単位 (×10.54 円)	40948 単位 (×10.54 円)
SSモモ	0 単位 (×10.66 円)	0 単位 (×10.66 円)
DSピノ	27762 単位 (×10.66 円)	2313 単位 (×10.66 円)
SSピノ	432261 単位 (×10.66 円)	36021 単位 (×10.66 円)
合計	951399 単位	79282 単位

●DSモモとショートステイピノの実績は安定して向上傾向が見られている。ピノのDSが安定していないので、施設外の垣根を越えて実績向上に繋げていけるように調整していく。

1. 緊急一時サービス利用

単位：人

	男性	女性	合計
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0

※月毎の申請件数は後述「8. 代行申請」項参照

m. 住宅改修実施

単位：人

	男性	女性	合計
2018年度	1	2	3
2019年度	1	1	2
2020年度	2	0	2

5. 苦情

2020年度の苦情は0件

6. 相談

新規担当希望は全て受諾。(入院中の死亡やキャンセルはあり)  
その他に大きな相談/支援実施は無し。

## 7. 認定調査

### a. 実施数

単位：人

	男性	女性	合計	前年比
2018年度	0	0	0	—
2019年度	0	0	0	0.0%
2020年度	0	0	0	0.0%

### b. 依頼保険者

単位：人

	県外	市外	市内	合計
2018年度	0	0	0	0
2019年度	0	0	0	0
2020年度	0	0	0	0

### c. 月毎の実施状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相模原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※公平性・中立性を保つ為、自事業所利用者の調査は行わない予定

### d. 実施者プロフィール

単位：人

介護度	性別	年齢（●●歳代）							合計	割合（%）
		50	60	70	80	90	100			
支援1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護3	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護4	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
介護5	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
割合（%）		0	0	0	0	0	0	0	0	

## 8. 代行申請

### a. 介護保険認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
更新	0	3	0	3	2	0	1	2	0	1	0	1
区変	0	0	2	1	0	0	0	1	2	1	3	0
転入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	4	2	0	2	3	2	2	3	1
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	3	2	4	2	0	1	3	2	2	3	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

※男性：9名・女性：17名・合計：26名

### b. 負担限度額認定

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再申	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：1名・女性：1名・合計：2名

## 以下は相模原市独自事業

### c. 緊急一時入所利用

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2~4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

### d. 紙おむつ支給

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

### e. 高齢者等移送サービス

単位：人（延）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※男性：0名・女性：0名・合計：0名

※介3：0名・介4：0名・介5：0名

# C ommittees

## 委員会活動

2020年度も、予定されていた委員会が一部開催出来ず、有意義な会議・委員会の開催には至らなかった。

その他、委員会活動及び社内研修会については、年間計画に基づき概ね予定通りの開催（実施）が出来たが、社外研修については新型コロナウイルス感染症の影響で、その殆どが中止または参加見送りとなった。

### 1. 高齢管理者会議

開 催：毎月第3金曜日（休日調整） 14：30～15：30

内 容：意見交換及び各部署課題に対する検討等

構成員：施設長・副施設長・特養課長・居宅課長・各介護リーダー職  
・看護師・相談員・介護支援専門員・栄養士

年度を通して安定した介護職員の確保が難しく、特に老人ホームの管理職がその穴埋めにシフトに入る頻度が高く、ほぼ未開催となってしまった。介護職員のみならず、看護師も含む現場の人材確保が今後も急務である。

## 2. 事故防止対策委員会

2020年度は事故総数212件で、前年比103.4%と増加している。

※行政機関への事故報告については相模原市指針に則り対応した

事故再発防止対策を密に行ない、心身状態から発生するインシデントの分析を確実に把握し、事故防止に役立てていく。

2020年度も事故防止の基本である見守り・巡回の徹底・職員の意識改革を通して、未然に防ぐことの出来る事故の発生減少に努める。

### 特別養護老人ホームモモ

事故総数：97件（前年比105.4%：増加）

インシデント：208件（前年比150.7%：増加）

2020年度は、前年度と比較すると16時～19時の間の自力移動時に伴う転倒事故が26件あり、前年比173.3%と増加している。

前年度多く見られた食事介助時の事故に関しては、前年度8件だったものが1件となっており減少されている。

介助中の骨折事故1件・誤薬事故2件と相模原市に報告義務のある重度な事故が3件発生している。未然に防ぐ事の出来る事故もある為、インシデントを活用しながら事故防止対策を行なっていく必要がある。

### デイサービスセンターモモ

事故総数：6件（前年比150.0%：増加）

インシデント：20件（前年比90.9%：減少）

2020年度は、事故総数・インシデント数共に大きな変化は見られないが、救急搬送を伴う骨折事故が2件発生している。内1件は施設内でリハビリ実施中に職員が支えきれず後方に転倒された事による骨折事故の為防げる事の出来た可能性のある事故であり、もう1件は自力移動時に転倒し骨折となっている。利用者のADLの低下も顕著に見られている事もあり、インシデントの活用をしながら利用者のADL状態把握・介助方法の検討を都度行っていく必要があると思われる。

### ケアハウスモモ

事故総数：23件（前年比153.3%：増加）

利用者のADLの低下から事故増加しており、23件の事故中20件は自力移動時の転倒事故となっている。

外出時の転倒による救急搬送やケガによる病院受診も増加傾向にある。ケアハウスの性質上、全てを把握することは困難であるが、外出時の事故に関しては大きな事故に繋がる恐れもある為、利用者の状態を検討し円滑な対応をしなければならないと思われる。

### コミュニティホームピノ

事故総数：82件（前年比78.0%：減少）

インシデント：17件（前年比170.0%：増加）

同じ方の骨折事故が2件発生してしまった。独歩の方が歩行中にバランスを崩しての転倒であったが、骨折手術～リハビリ入院後、帰園されてから5日目に再転倒より骨折を繰り返す事があった。

インシデントの数は相変わらず少ない。書式を簡易なものに変更し、インシデントをあげる流れを簡素化しても報告は少なかった。職員がインシデントとして捉えるかどうかの意識の問題が大きく関わっている。限られた環境の中で、リスクとなる要因を見つけ出し、早期に対応へと繋げられる様な意識改革が必要となってくる。

### コミュニティセンターピノ

事故総数：4件（前年比100.0%：増減なし）

4件とも安全面の確保の不足から起きてしまった事故であり、防止できた事故であった。

認知症の利用者を対象としたデイサービスの活動において、起こりうる様々なリスクを職員内で共有し安心且つ安全な居場所を利用者に提供することが大きな課題となる。利用者一人ひとりに関わる家族・介護支援専門員・他事業所含め連携を密にとり、情報を共有することでより良い環境を提供できるようにしていく。

a. 特別養護老人ホームモモ（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時	1			1						1	2			
自力移動時	3	2	6	4	3	2	2	2	6	5	9	6	2	
排泄介助時								1						
自力排泄時														
食事介助時											1			
自力摂取時						1		2		1	1			
入浴介助時														
自力入浴時			1											
誤 薬	1										1			
原因不明														
そ の 他							1	1	1		2			
合 計	5	2	7	5	3	3	3	6	7	7	16	6	2	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'20年	'19年	'18年
移動介助時							1		1		7	4	4
自力移動時			2			2	1	3	3	3	66	43	78
排泄介助時						1	1		1		4	7	3
自力排泄時											0	0	0
食事介助時											1	7	4
自力摂取時										1	6	0	6
入浴介助時											0	1	6
自力入浴時											1	0	0
誤 薬										1	3	1	10
原因不明											0	0	0
そ の 他		1				1			1	1	9	21	7
合 計	0	1	2	0	0	4	3	3	6	6	97	77	118

インシデント集計（短期入所含む）

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連	1	3	6	2	1		3	1	3		4	7	1	5
移乗関連		1									2	3	1	
排泄関連	1	1		1				2		2	1			1
食事関連	2		2	1	2			3		3	2	1		
入浴関連					1	1				1				
その他	5	1				1	4	6	3		6	10	2	3
環境不備	1	2	2				1		1			4	3	1
薬関連	6				1		1	1			2	3		1
合 計	16	8	10	4	5	2	9	13	7	6	17	28	7	11

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'20年	'19年	'18年
移動関連	4		1	2		2	3	4	3		56	29	187
移乗関連		1						1			9	14	37
排泄関連	2						1		3		15	10	37
食事関連								1	1	3	21	23	103
入浴関連											3	0	3
その他	4	2	1	2	3	1	2	4	2	2	64	31	70
環境不備		3		1			2	2	2		25	19	81
薬関連											15	12	35
合 計	10	6	2	5	3	3	8	12	11	5	208	138	553

b. コミュニティホームピノ (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動介助時		1	2				1	1				1		
自力移動時		1				1	2	1	1		3	7	1	
排泄介助時	1	1										2		
自力排泄時														
食事介助時														
自力摂取時														
入浴介助時		1				1	2							
自力入浴時														
誤 薬	1				1									
原因不明			2			1								
そ の 他	2		2		4		1			1	4	4		1
合 計	4	4	6	0	5	3	6	2	1	1	7	14	1	1

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'20年	'19年	'18年
移動介助時						1					6	2	7
自力移動時	6	2	1	1	2	2		2	3		36	52	35
排泄介助時								1			5	7	2
自力排泄時											0	0	1
食事介助時											0	0	0
自力摂取時											0	0	3
入浴介助時											4	4	7
自力入浴時											0	0	0
誤 薬										1	3	2	5
原因不明										2	5	5	5
そ の 他	2								1	1	23	33	33
合 計	8	2	1	1	2	3	0	3	3	4	82	105	98

インシデント集計 (短期入所含む)

単位：回

時 間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
移動関連		1							1					
移乗関連														
排泄関連														
食事関連	1				1									
入浴関連														
その他			1				1							
環境不備								1						
薬関連	2		1		2	1					1			
合 計	3	1	2	0	3	1	1	1	1	0	1	0	0	0

時 間	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	'20年	'19年	'18年
移動関連									1		3	3	3
移乗関連											0	1	0
排泄関連											0	0	0
食事関連											2	0	0
入浴関連											0	1	3
その他											2	2	4
環境不備										2	3	0	2
薬関連											7	3	3
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	17	10	15

### c. デイサービスセンターモモ

単位：回

時間		9	10	11	12	13	14	15	16	'20年	'19年	'18年
施設内	転倒		2		1	1	1			5	1	2
	その他									0	1	2
送迎時	転倒									0	1	0
	その他	1								1	1	2
合計		1	2	0	1	1	1	0	0	6	4	6

※事故内訳（施設内転倒 5 件・送迎時車輛事故 1 件）

### d. コミュニティセンターピノ

単位：回

時間		9	10	11	12	13	14	15	16	'20年	'19年	'18年
施設内	転倒			1	1					2	3	1
	その他									0	1	1
送迎時	転倒								1	1	0	0
	その他								1	1	0	0
合計				1	1				2	4	4	2

軽微な事故ではあるが、職員の対応次第で防止できた事故が大半である。

### e. ケアハウス

2020 年度の事故は 23 件である。

施設内：17 件 施設外：6 件

転倒事故：20 件

救急搬送：3 件

1 件目：外出中に転倒。

頭部腫脹と額からの出血により救急搬送。

2 件目：施設内 1F 浴室前にて転倒。

頭部を打っており、高熱・嘔吐診られたため、救急搬送。

3 件目：外出中に転倒。

顔面強打による、出血・打撲痕あり救急搬送。

2019 年度よりも事故件数が増大している様子あり。継続して転倒による事故が殆どであり、入居者の ADL の低下が顕著である。

施設外での事故が 6 件となっており、特定の入居者による事故（再発）が目立っている。

職員の介入が困難な施設形態となっているが、施設外での事故は重大事故に繋がりがかねない為、日頃からコミュニケーションによる入居者の状態把握等を強化し努める必要があるかと思われる。

## 3. 拘束検討委員会

特別養護老人ホームモモでは、2020 年度は身体拘束実施者（4 点柵による身体拘束）が 1 名継続となっている。

現在も家族の強い希望があり即時解除は困難なケースであるが、本人の状態等を十分に考慮し、家族への説明を経て解除できるようにする。

コミュニティホームピノでは、2019 年 12 月下旬より、転倒骨折からの退院者 2 名に対する身体拘束（車椅子乗車時のベルト装着）の必要性が生じており、うち 1 件は解除に至るも、残る 1 件は 2021 年 3 月末時点でも継続中となっている。



#### 4. 感染症対策委員会

感染症の一般的基礎知識や高齢者施設におけるリスク、新型コロナ感染症を中心に、季節に応じた感染対策を実行出来るよう、委員会では各事業所担当者から各職員へ周知し、職員全体研修では全職員を対象に年間を通じて実施した。また、新型コロナ対策として、各部署への対応方法などを周知した。

##### ○検討 / 研修会

- 2020年 7月 「食中毒・新型コロナ感染症について」
- 2020年10月 「食中毒・感染症について」

#### 5. 褥瘡対策委員会

2020年度は特養課会議内にて褥瘡対策委員会を行ない、利用者の褥瘡予防対策を排泄形態・体位交換・栄養・対処療法等あらゆる角度から検討し、発症者の経過や対策を検討することを実施した。

##### ○褥瘡発症者

- ・モモ ----- 1名（2021年3月病院より新規入所された際にすでに褥瘡が出来ている状態。※2021年4月現在も処置中。軽減は見られてきている。病院受診までではないが、要観察が必要）
  - 2名（軽度の褥瘡。病院受診が必要なレベルではないが、注意が必要。体位交換や処置を行ない現在は改善）
  - 3名（褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル）
- ・ピノ ----- 2名（病院受診を必要とするレベルの褥瘡。1名は完治）
  - 2名（褥瘡まではいかないが、そのままでは褥瘡になってしまう危険性のある状態や、表皮剥離レベル）

#### 6. 食中毒対策委員会

栄養士が中心となり、関係職において下記の内容について予防策の周知、徹底を図った。（給食会議代替の場合もあり）

##### ○検討 / 講習会

- 2020年 5月 「最近の食中毒発生状況」  
「施設での食中毒対策」
- 2020年 8月 「最近の食中毒発生事例」  
「施設での食中毒対策」
- 2020年11月 「最近の食中毒発生事例」  
「施設での食中毒対策」
- 2021年 2月 「最近の食中毒発生事例」  
「施設での食中毒対策」

#### 7. 看取り実施委員会

2019年度より看取り介護がスタートし、2020年度末までで16名の方をお見送りさせて頂いた事により、主な流れや各職員の役割は定着しつつあり、呼吸停止発見から葬儀場搬送まで円滑に進める事が出来ている。

2020年度は、特別養護老人ホームモモ及びコミュニティホームピノの入居者のうち終末期の13名（モモ8名・ピノ5名）に対して看取り対応を行なったが、看取り計画書の作成をはじめとした諸条件を満たすまでには至らず、加算取得に繋げる事が出来なかった。

## 8. 運営推進会議（地域密着型施設）

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、出席予定者の招集開催を見送り、議事録に「施設の現況報告」のみ記述し、送付にて代替えとした。

開催目的：地域との連携を確保し、地域に開かれた運営をする。

対象施設：地域密着型施設（ピノ拠点）

開催頻度：2ヶ月に1回以上

※通所介護は6ヶ月に1回以上で可だが同頻度に調整。

出席予定者：利用者および利用者家族代表

地域住民の代表者（自治会長・長寿会長）

地域包括支援センター職員

施設職員

（施設長・副施設長・施設ケアマネジャー

・生活相談員・認知症対応型通所介護管理者）

### ○議事録送付実績

2020年 5月

2020年 7月

2020年 9月

2020年11月

2021年 1月

2021年 3月

## ●苦情相談件数集計

各部署の苦情件数を一覧化

※件数＝報告書作成数

施設	部署	件数	概要
モモ	特養	0	
	S S	0	
	ケア	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
	居宅	0	
ピノ	特養	0	
	S S	0	
	D S	0	
	栄養室	0	
	事務室	0	
ナナ	サ高	0	
	居宅	0	
	栄養室	0	

## ●実習生受入れ及び研修実施状況

### a. 実習生受入れ（モモ）

日程	研修内容	団体名	実習者数
新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を目的とし、2020年度通して実習生の受入れは中止する。			

### b. 社外研修（モモ）①

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症の影響から、例年より幅に研修件数が減少。ネット環境の整備が構築され、Zoom等のオンライン研修を実施。				
11月25日	(外国人)技能実習責任者講習	神奈川県労働安全衛生協会	神奈川県労働安全衛生協会	1
03月18日	地域ケアマネ会	シルバータウン大野台ケアセンター	モモ1F 面接室 (Zoom)	1

### b. 社外研修（ピノ）①

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症蔓延予防の観点から実績なし				

### b. 社外研修（フレイグラントオリブナナ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
9月16日	食品衛生責任者講習会	相模原市保健所	視聴 (相模原チャンネル)	1
3月19日	介護サービス集団指導講習会	相模原市福祉基盤課	視聴 (相模原チャンネル)	1

### b. 社外研修（ケアステーションナナ）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
新型コロナウイルス感染症蔓延予防の観点から実績なし				

### c. 社内研修（全体）

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
5月15日	第111回 蒼生塾 「事故対策・身体拘束について」	(福) 蒼生会 事故対策委員長	デイサービスセンターモモ活動室	15
6月26日	第112回 蒼生塾 「令和元年度事業報告」※全体会議	(福) 蒼生会 管理職/各担当		14
7月17日	第113回 蒼生塾 「食中毒・新型コロナ対策について」	(福) 蒼生会 講師 (株)花王プロフェッショナルサービス		13
8月21日	第114回 蒼生塾 「褥瘡について」	(福) 蒼生会 講師 パラマウントベット		10
10月16日	第115回 蒼生塾 「食中毒/感染症」	(福) 蒼生会 講師 栄養士 大熊		9
11月20日	第116回 蒼生塾 「褥瘡について」	(福) 蒼生会 講師 デイ看護師 池田		11
12月18日	第117回 蒼生塾 事故対策について	(福) 蒼生会 事故対策委員長		11
2月19日	第118回 蒼生塾 虐待について	(福) 蒼生会 居宅課長		8
3月26日	第119回 蒼生塾 「2021年度事業計画」※全体会議	(福) 蒼生会 管理職/各担当		18
3月30日	介護報酬改定講座	(福) 蒼生会		8

### d. 海外研修

日程	研修内容	主催者	研修場所	受講者数
実績なし				

# P ublic Relations

## パブリック・リレーション

新型コロナウイルス感染症の影響で、カシオペア祭のみならず、ボランティアの受入れも含め、外部との関わりを見送らざるを得ない状況が続いた年度であった。

また、地域行事もその殆どが中止となった。

カシオペア祭をはじめとした外部・施設間交流を伴う活動の再開可能基準（目安）として、2020年4月の運営会議にて以下方針が決定となる。

### ●再開可能の基準（目安）

- ・特効薬や有効なワクチンが完成している事
- ・上記薬品やワクチンが一般的に入手可能で、医師により処置される状況になっている事

1. 近隣小中学校の総合学習、PTA イベントなどへの協力  
中止

2. 介護・看護実習など受け入れ  
中止

### 3. 他施設との交流

交流施設：「モモ/ピノ合同」「東橋本ひまわりホーム」「中の郷」

- ① 風船バレー交流試合：中止
- ② 施設対抗運動会：中止

### 4. 地域との交流

- ① 鶴野森日枝神社大祭「神酒所」会場貸出  
中止
- ② 近隣自治会の盆踊り大会などへの参加 ※ケアハウス入居者  
中止

備考：「カシオペア祭」実績は、法人本部事業報告に記述。



